

第4期瑞穂市障がい者総合支援プラン 策定に関するアンケート調査

調査結果報告書

令和8年3月

瑞穂市

- 目次 -

I. 調査の概要	1
調査の目的	1
調査対象及び調査方法	1
回収結果	1
報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 対象者の属性	2
1-1 調査票の記入者	2
1-2 年齢	3
1-3 性別	3
1-4 配偶者の有無	4
1-5 障がい者団体等への加入状況	4
1-6 現在の生活場所	5
1-7 自身の障がいの原因等	6
2 自身の障がいの状態などについて	7
2-1 障害者手帳の等級等	7
2-2 要介護認定の状況	10
2-3 「共生型サービス」の認知度	11
3 医療機関への通院・入院の状況などについて	12
3-1 医療機関の利用状況	12
3-2 医療についてふだん感じていること	17
3-3 医療について困ったり不便に思うこと	18
4 日常生活について	19
4-1 日常生活動作の状況	19
4-2 障がい者に対する差別や偏見について	25
4-3 ヘルプマークの認知度	29
5 就労・就学状況などについて	30
5-1 就労・就学の状況	30
5-2 避難行動要支援者名簿への登録の状況	36
6 サービスの利用について	39
6-1 現在利用しているサービス	39
6-2 今後も利用したい、利用量を増やしたいサービス	41
6-3 現在利用していないが今後利用したいサービス	43
7 今後の生活と必要な支援について	45
7-1 将来の生活を過ごしたい場所	45
7-2 日常生活に必要な支援やサービス	47
8 日中の過ごし方と働くために必要な環境について	50
8-1 今後希望する日中の過ごし方	50
8-2 働くために必要な環境の整備	51

9	相談ごとについて	52
9-1	悩みごとの相談相手	52
9-2	相談したいと思うこと	53
9-3	相談体制の整備について	54
9-4	将来のことで特に不安に感じていること	57
10	情報収集とコミュニケーション手段について	59
10-1	市政情報の収集方法	59
10-2	インターネットの利用状況	60
10-3	意思疎通の状況について	62
10-4	福祉に関する情報入手について困っていること	65
11	外出の状況について	66
11-1	外出の頻度	66
11-2	外出の際に困ったり不便に感じる事	67
11-3	近所付き合いの程度について	69
11-4	趣味や地域の活動への参加状況	69
11-5	福祉タクシーの利用意向	73
12	まちづくりについて	74
12-1	瑞穂市は障がい者にとって暮らしやすいまちか	74
12-2	暮らしやすくなるためにさらに充実してほしいこと	75
12-3	市の窓口対応への評価	76
12-4	知らない人から手助けされた経験の有無	76
12-5	医療的ケアに関して必要な支援の充実	77
12-6	障がい者が暮らしやすくなるために望ましい市の姿	78
12-7	市が障がい者施策を充実させるために注力すべきこと	79
12-8	障がい者支援への総合満足度	81
12-9	市の障がい者施策に対する意見・要望等（自由回答）	82

I. 調査の概要

調査の目的

この調査は、市内の障害者手帳所持者等を対象として、生活の実態やサービスの利用意向、市の関連施策に対する要望等を把握し、「第4期瑞穂市障がい者総合支援プラン」策定のための基礎資料を得る目的で実施するものです。

調査対象及び調査方法

対象者		実施時期	調査方法
身体障がい者（児）	市内在住の身体障害者手帳所持者	令和7年 12月3日 ～12月24日	郵送配布、 郵送回収
知的障がい者（児）	市内在住の療育手帳所持者		
精神障がい者（児）	市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者		

回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
身体障がい者（児）	1,440	744	51.7%
知的障がい者（児）	550	232	42.2%
精神障がい者（児）	620	252	40.6%

※白紙回答は無効としました。

報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」「件数」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ 本文中で、回答率等の割合（％）については「高い」「低い」、件数等の実数については「多い」「少ない」の表現を使用しています。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略している場合があります。また、選択肢の文言を簡略化してある場合もあります。
- ・ 本文及びグラフ・表において、「身体障がい者」を【身体】、「知的障がい者」を【知的】、「精神障がい者」を【精神】と簡略化して表記しています。

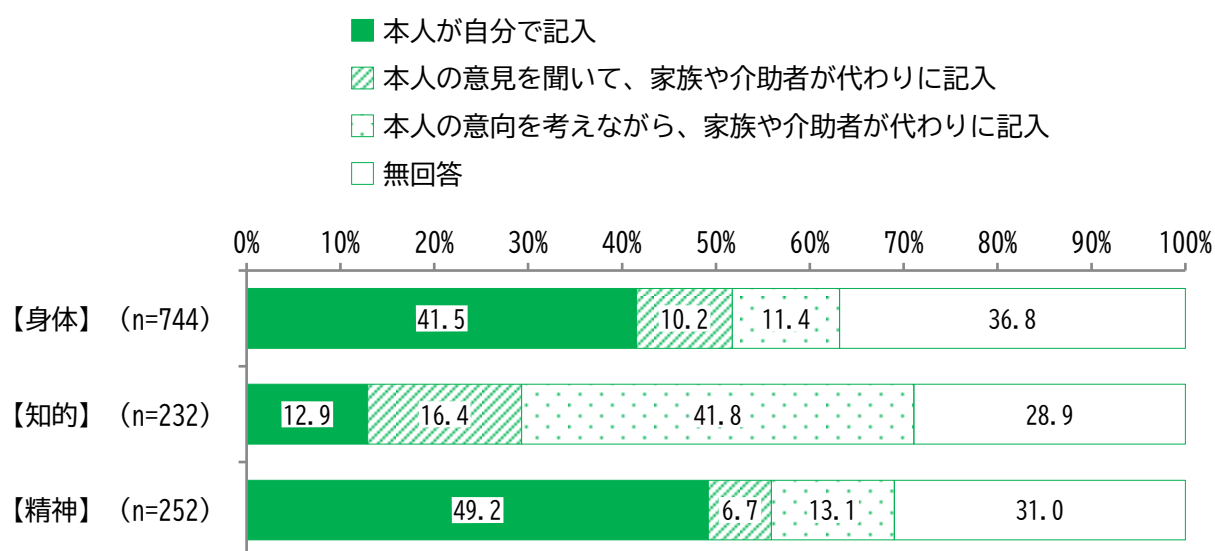
II. 調査結果

1 対象者の属性

1-1 調査票の記入者……………

◎このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。あてはまる番号に○をつけてください。【身体・知的・精神】

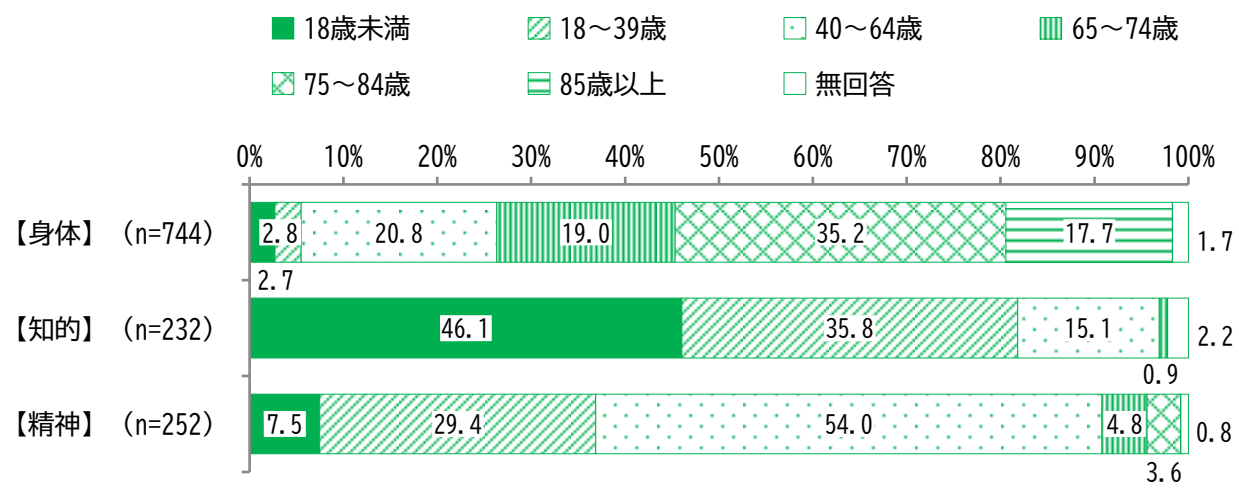
- 【身体】では「本人が自分で記入」(41.5%)、【知的】では「本人の意向を考えながら、家族や介護者が代わりに記入」(41.8%)、【精神】では「本人が自分で記入」(49.2%)がそれぞれ最も高くなっています。



1-2 年齢

問 あなたの年齢は満何歳ですか。(数字を記入)【身体・知的・精神】

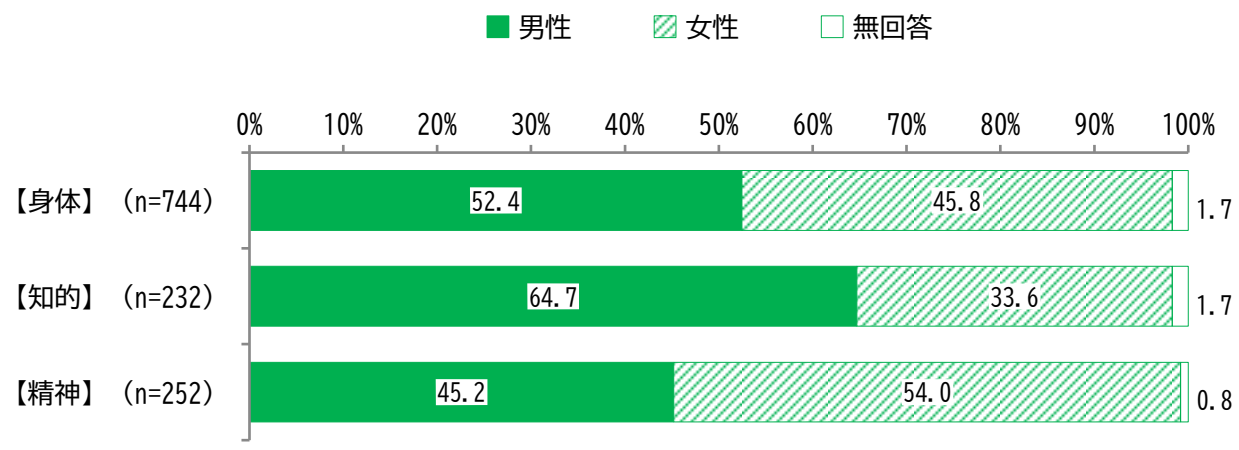
➤ 【身体】では「75～84歳」(35.2%)、【知的】では「18歳未満」(46.1%)、【精神】では「40～64歳」(54.0%)がそれぞれ最も高くなっています。



1-3 性別

問 あなたの性別を教えてください。(1つに○)【身体・知的・精神】

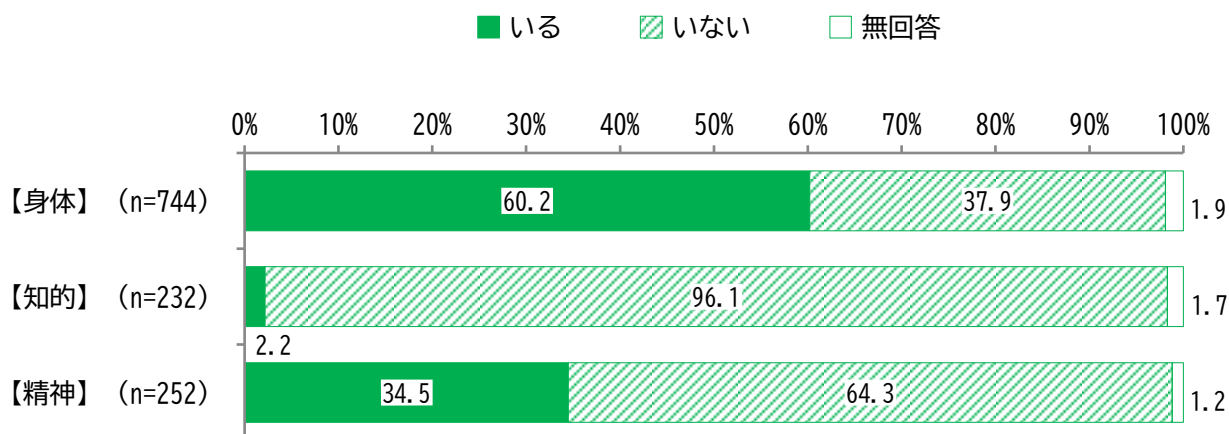
➤ 【身体】では「男性」(52.4%)、【知的】では「男性」(64.7%)、【精神】では「女性」(54.0%)がそれぞれ高くなっています。



1-4 配偶者の有無

問 配偶者（夫・妻）はいますか。（1つに○）【身体・知的・精神】

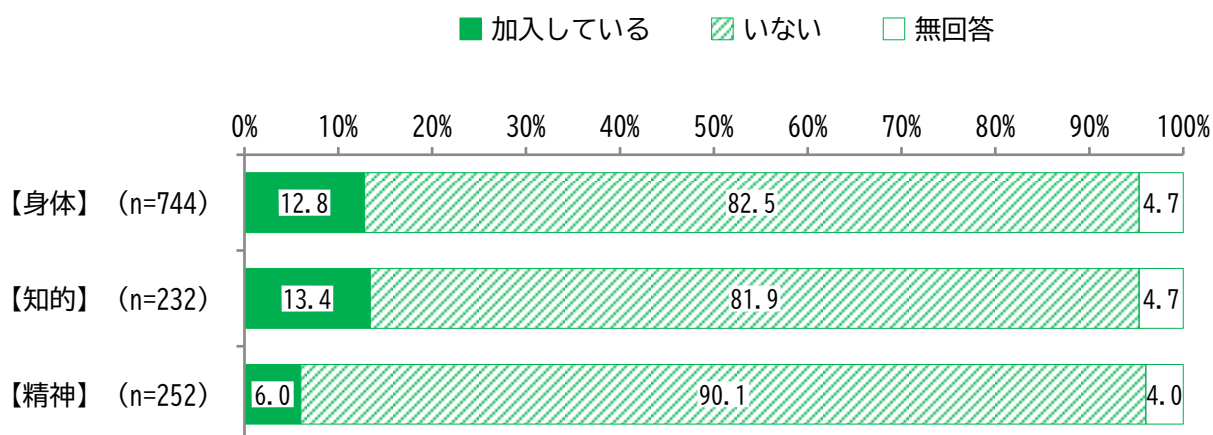
➤ 「いる」は、【身体】で60.2%、【知的】で2.2%、【精神】で34.5%となっています。



1-5 障がい者団体等への加入状況

問 あなたは、障がい者の団体などに加入していますか。（1つに○）【身体・知的・精神】

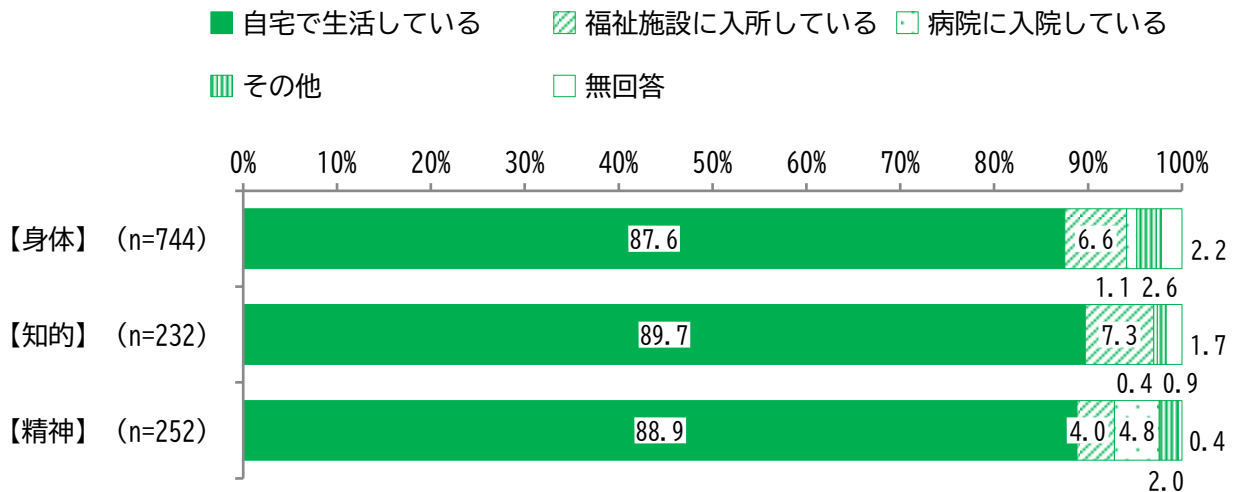
➤ 「加入している」は、【身体】で12.8%、【知的】で13.4%、【精神】で6.0%となっています。



1-6 現在の生活場所

問 現在、生活しているところは、どちらですか。(1つに○)【身体・知的・精神】

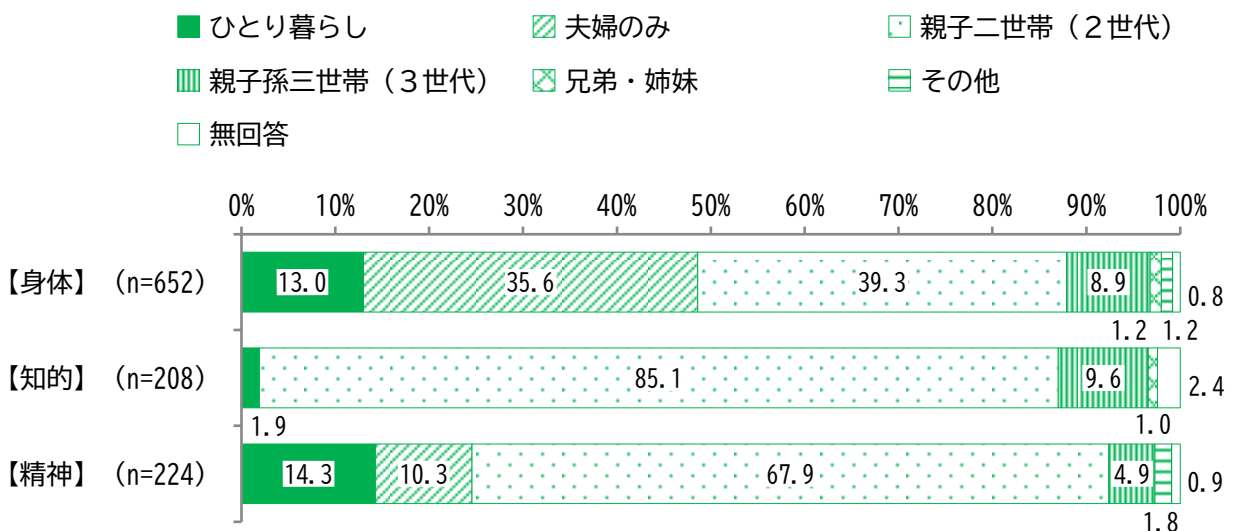
- いずれの障がい区分においても、「自宅で生活している」が9割弱を占めて最も高くなっています。次いで【身体】では「福祉施設に入所している」(6.6%)、【知的】では「福祉施設に入所している」(7.3%)、【精神】では「病院に入院している」(4.8%)がそれぞれ高くなっています。



前問で「自宅で生活している」に○をつけた方のみ

問 あなたの世帯の家族構成を教えてください。(1つに○)【身体・知的・精神】

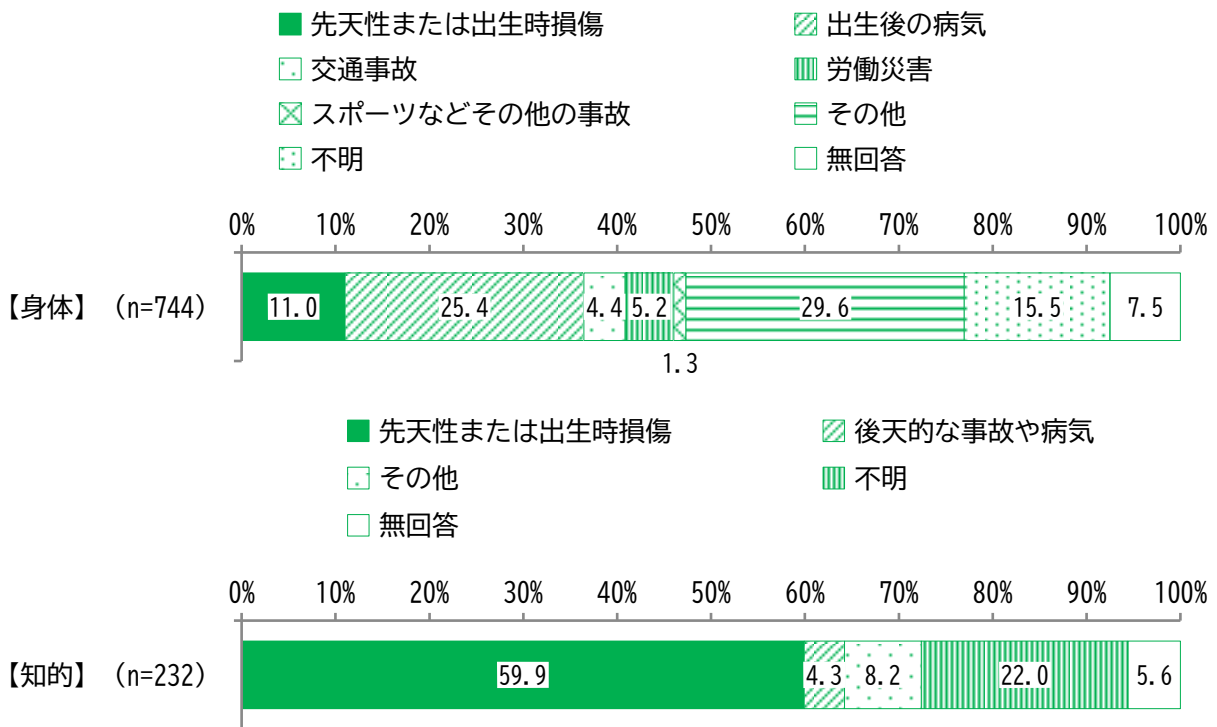
- いずれの障がい区分においても「親子二世帯(2世代)」が最も高く、【身体】で39.3%、【知的】で85.1%、【精神】で67.9%となっています。
- 「ひとり暮らし」は【身体】で13.0%、【知的】で1.9%、【精神】で14.3%となっています。



1-7 自身の障がいの原因等

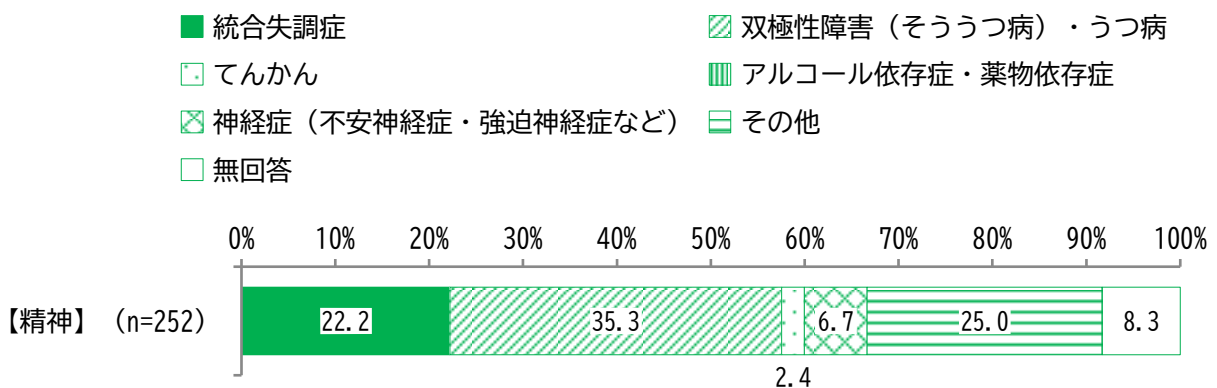
問 あなたの障がいの主な原因は何ですか。(1つに○)【身体・知的】

- 【身体】では「その他」(29.6%)が最も高く、次いで「出生後の病気」(25.4%)、「不明」(15.5%)、「先天性または出生時損傷」(11.0%)が高くなっています。
- 【知的】では「先天性または出生時損傷」(59.9%)が最も高くなっています。



問 あなたの病気についておたずねします。重複している場合は、主な方に○をつけてください。(1つに○)【精神】

- 【精神】では、「双極性障害・うつ病」(35.3%)が最も高く、次いで「その他」(25.0%)、「統合失調症」(22.2%)が高くなっています。

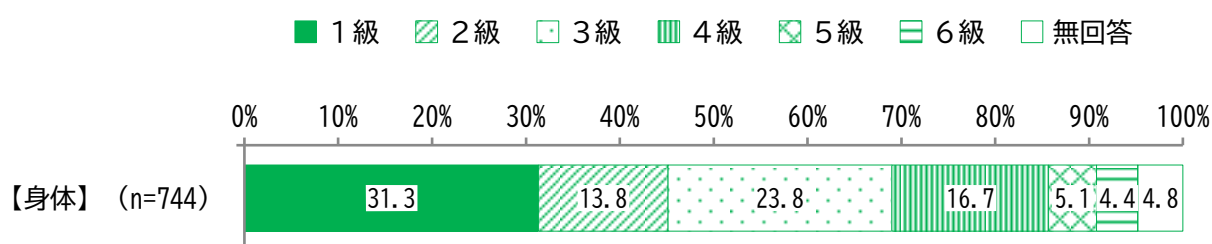


2 自身の障がいの状態などについて

2-1 障害者手帳の等級等

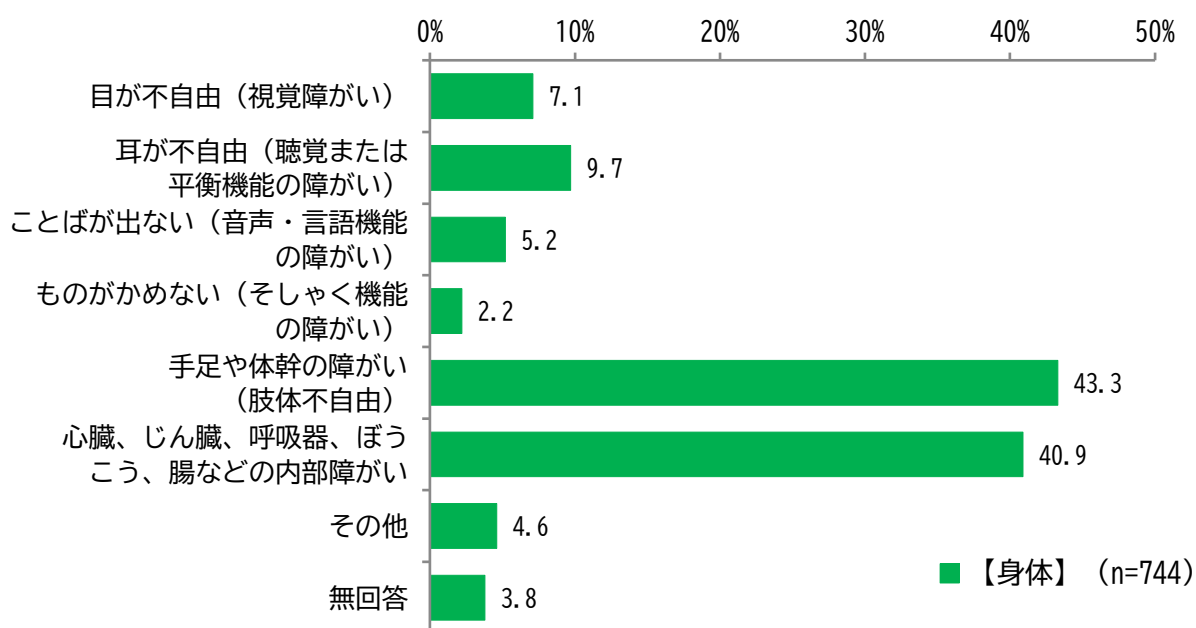
問 あなたの身体障害者手帳の総合等級は何級ですか。ご自身の手帳をご確認ください。
(1つに○)【身体】

- 身体障害者手帳の総合等級は、「1級」(31.3%)が最も高く、次いで「3級」(23.8%)、「4級」(16.7%)が高くなっています。



問 どのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体】

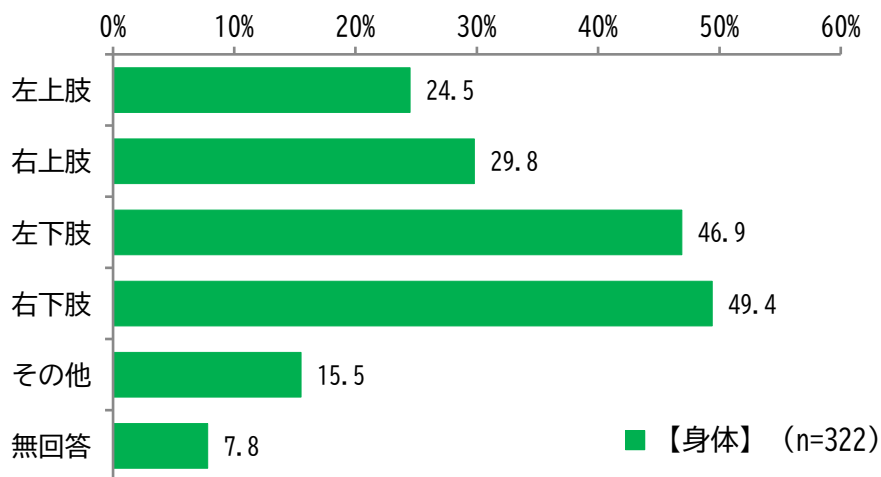
- 「手足や体幹の障がい(肢体不自由)」(43.3%)が最も高く、次いで「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、腸などの内部障がい」(40.9%)、「耳が不自由(聴覚または平衡機能の障がい)」(9.7%)が高くなっています。



前問で「手足や体幹の障がい」に○をつけた方のみ

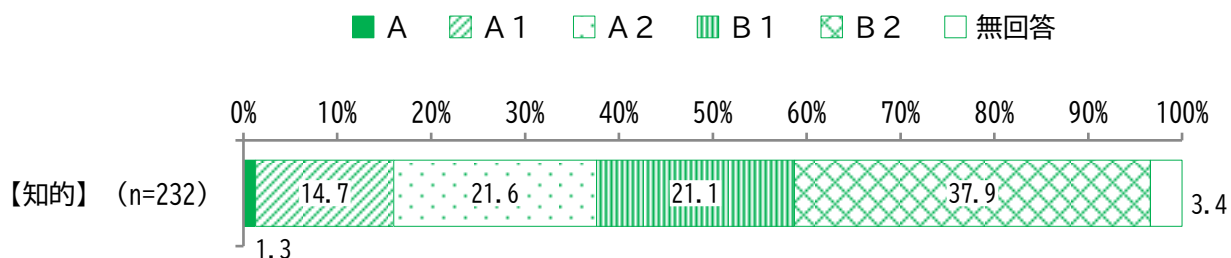
問 麻痺などの有無についてお答えください。ご自分の手帳をご確認ください。(あてはまるものすべてに○)【身体】

➤ 麻痺の有無については、「右下肢」(49.4%)が最も高く、次いで「左下肢」(46.9%)が高くなっています。



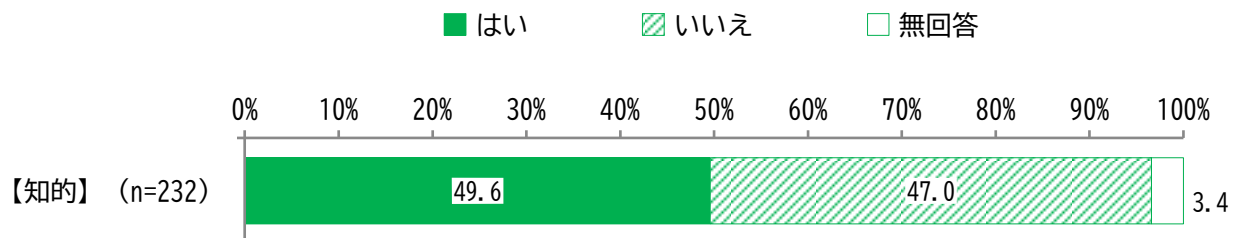
問 あなたの療育手帳の判定は何ですか。ご自身の手帳をご確認ください。(1つに○)【知的】

➤ 療育手帳の判定は、「B2」(37.9%)が最も高く、次いで「A2」(21.6%)、「B1」(21.1%)が高くなっています。



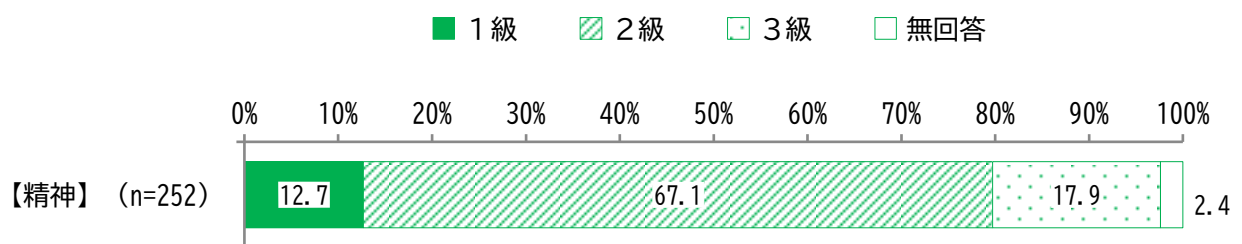
問 あなたは自閉スペクトラム症（ASD）や、注意欠如・多動症（ADHD）と診断されていますか。（1つに○）【知的】

➤ 「はい」（診断されている）が49.6%、「いいえ」（診断されていない）が47.0%となっています。



問 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級は何級ですか。ご自身の手帳をご確認ください。（1つに○）【精神】

➤ 精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」（67.1%）が最も高く、次いで「3級」（17.9%）が高くなっています。

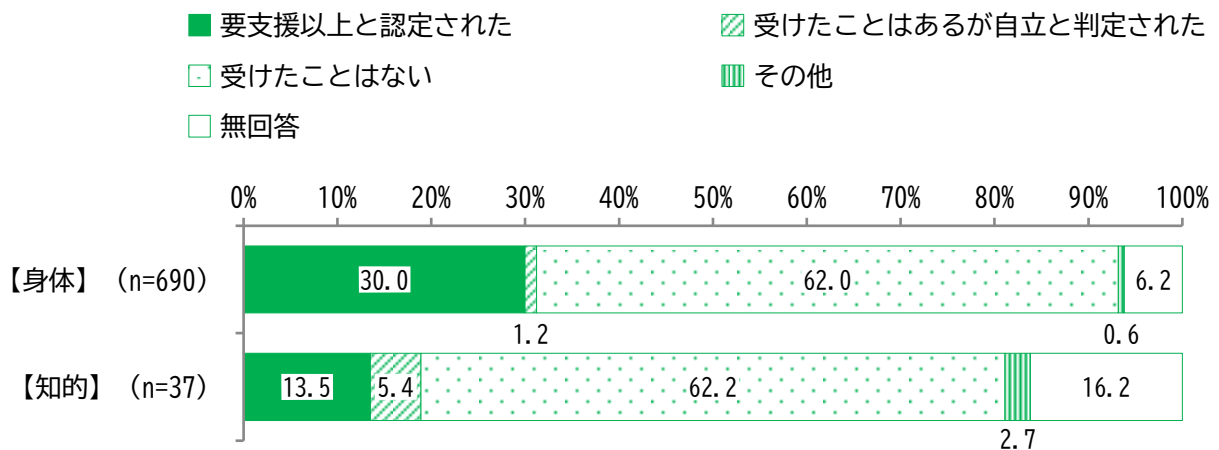


2-2 要介護認定の状況

40歳以上の方のみ

問 介護保険制度の要介護認定を受けたことがありますか。現在の状態をお答えください。(1つに○)【身体・知的】

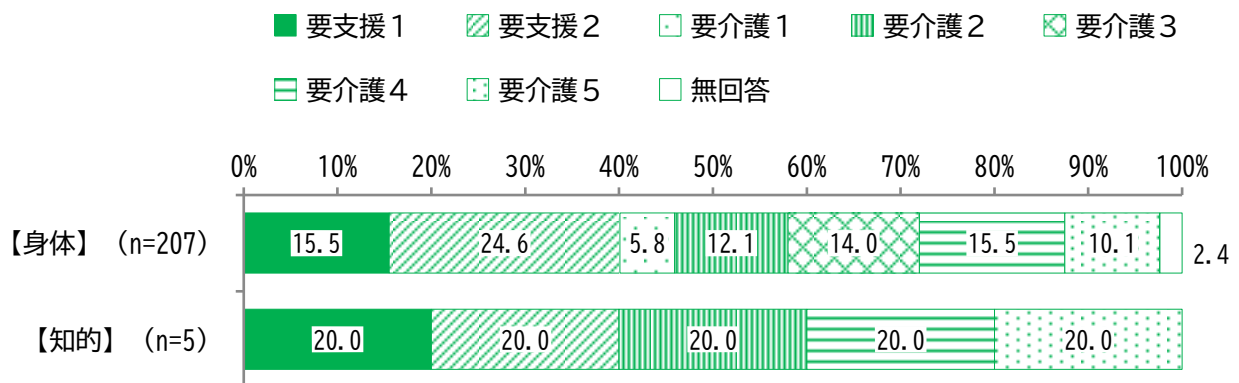
- 【身体】【知的】ともに「受けたことはない」が約6割で最も高く、「要支援以上と認定された」は【身体】で30.0%、【知的】で13.5%となっています。



前問で「要支援以上と認定された」に○をつけた方のみ

問 要介護度について教えてください。(1つに○)【身体・知的】

- 【身体】では「要支援2」(24.6%)が最も高くなっています。
 ➤ 『要介護3以上』は、【身体】で39.6%、【知的】で40.0%となっています。

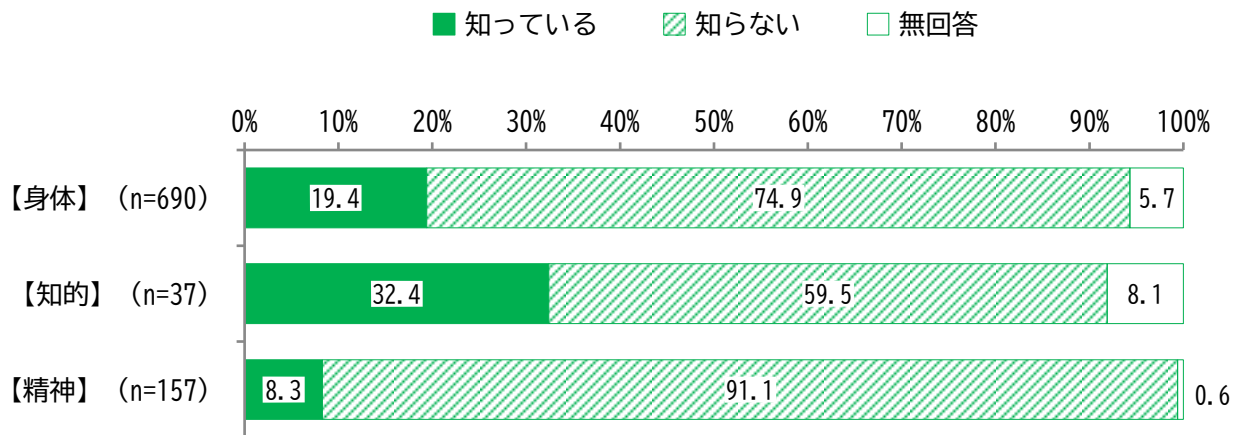


2-3 「共生型サービス」の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・

40歳以上の方のみ

問 「共生型サービス」について知っていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「知らない」が過半数を占めており、「知っている」は【身体】で19.4%、【知的】で32.4%、【精神】で8.3%となっています。

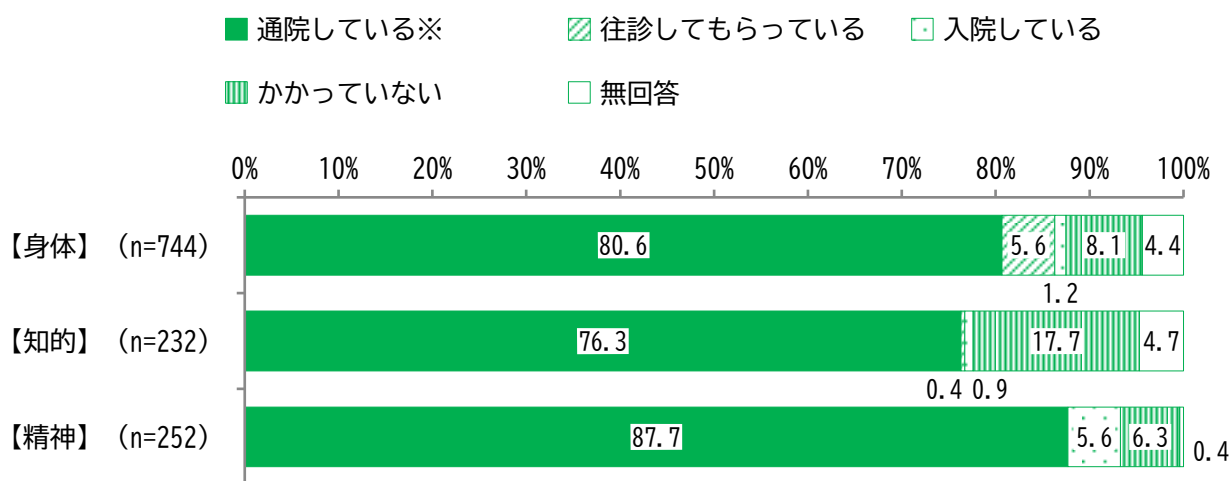


3 医療機関への通院・入院の状況などについて

3-1 医療機関の利用状況

問 あなたは現在、医療機関にかかっていますか。(1つに○)【身体・知的】
 問 あなたは現在、医療機関(精神科、心療内科)にかかっていますか。(1つに○)【精神】

- 『通院(または往診)している』(【身体】【知的】では「通院している」「往診してもらっている」の計)は、【身体】で86.2%、【知的】で76.7%、【精神】で87.7%となっています。
- 『医療機関にかかっている』(「通院している」「往診してもらっている」「入院している」の計)は、【身体】で87.4%、【知的】で77.6%、【精神】で93.3%となっています。



※【精神】では「通院している」は「通院(または往診)している」で、「往診してもらっている」の選択肢はなし。

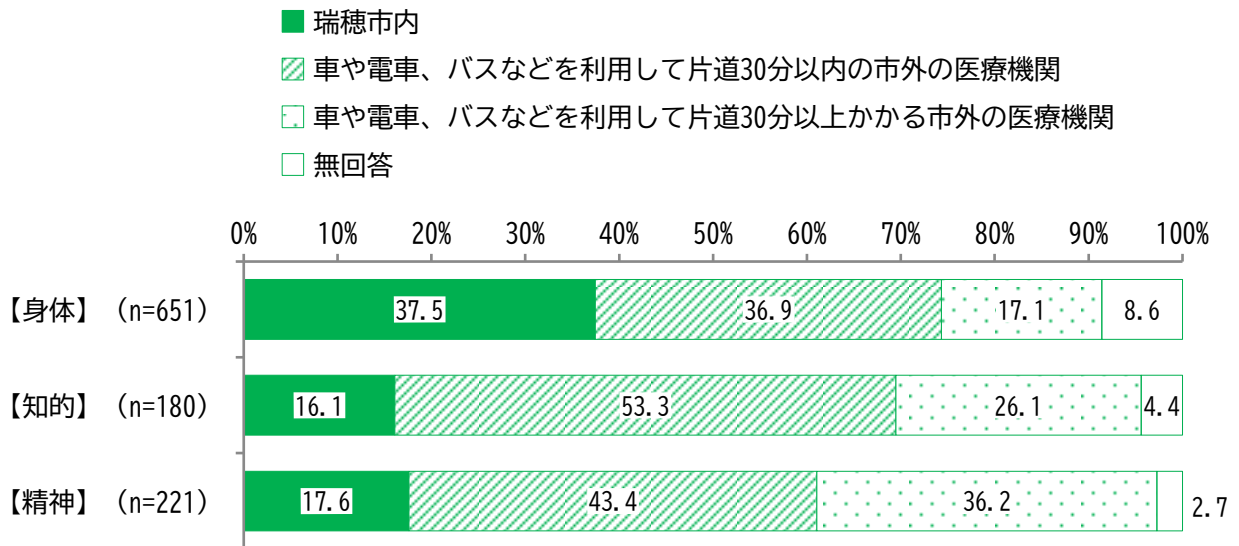
問「あなたは現在、医療機関にかかっていますか。」で「通院している」「入院している」「往診してもらっている」に○をつけた方のみ

問 主な医療機関の場所はどこですか。(1つに○)【身体・知的】

問「あなたは現在、医療機関(精神科、心療内科)にかかっていますか。」で「通院(または往診)している」に○をつけた方のみ

問 通院している医療機関の場所はどこですか。(1つに○)【精神】

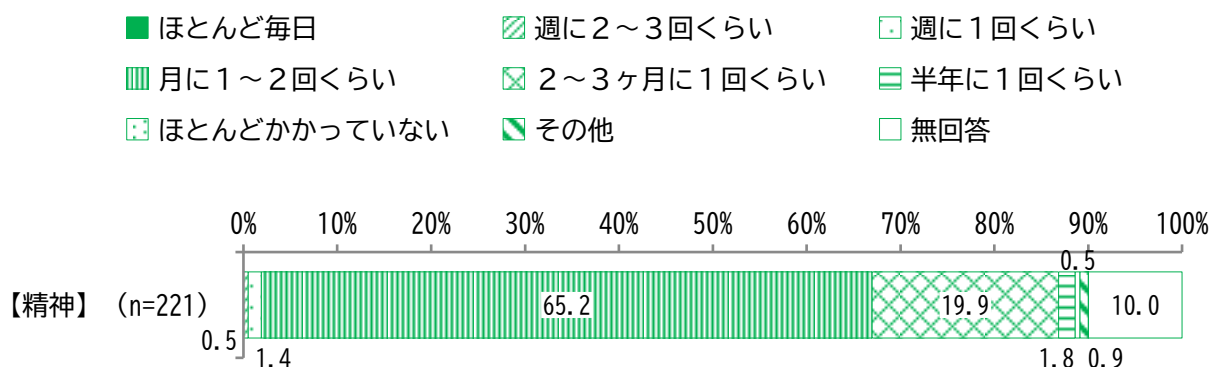
- 【身体】では「瑞穂市内」(37.5%)、【知的】では「片道30分以内の市外の医療機関」(53.3%)、【精神】では「片道30分以内の市外の医療機関」(43.4%)がそれぞれ最も高くなっています。



問「あなたは現在、医療機関(精神科、心療内科)にかかっていますか。」で「通院(または往診)している」に○をつけた方のみ

問 通院の頻度はどれくらいですか。(1つに○)【精神】

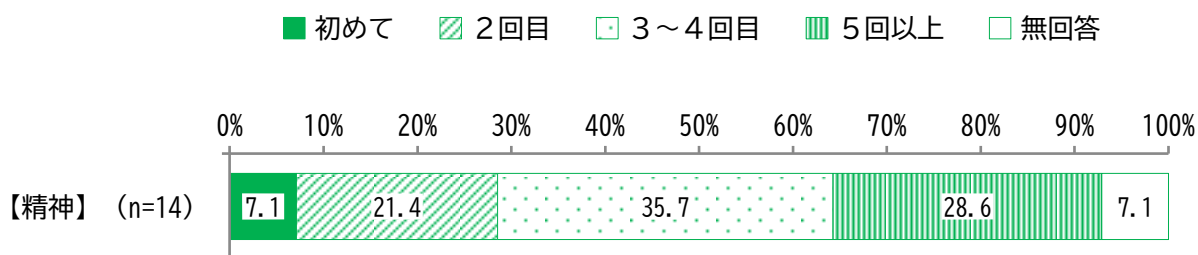
- 【精神】では「月に1~2回くらい」(65.2%)が最も高く、次いで「2~3ヶ月に1回くらい」(19.9%)が高くなっています。



問「あなたは現在、医療機関（精神科、心療内科）にかかっていますか。」で「入院している」に○をつけた方のみ

問 入院の回数は何回目ですか。（1つに○）【精神】

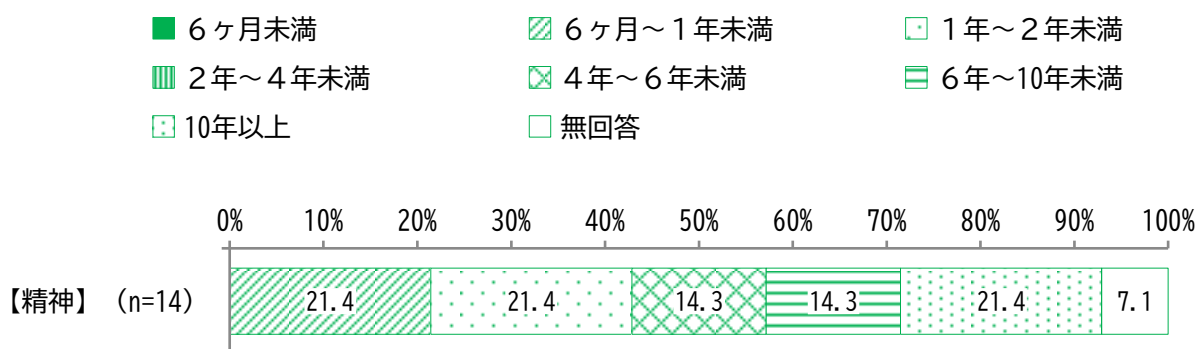
➤ 「3～4回目」（35.7%）が最も高く、次いで「5回以上」（28.6%）が高くなっています。また、「初めて」は7.1%となっています。



問「あなたは現在、医療機関（精神科、心療内科）にかかっていますか。」で「入院している」に○をつけた方のみ

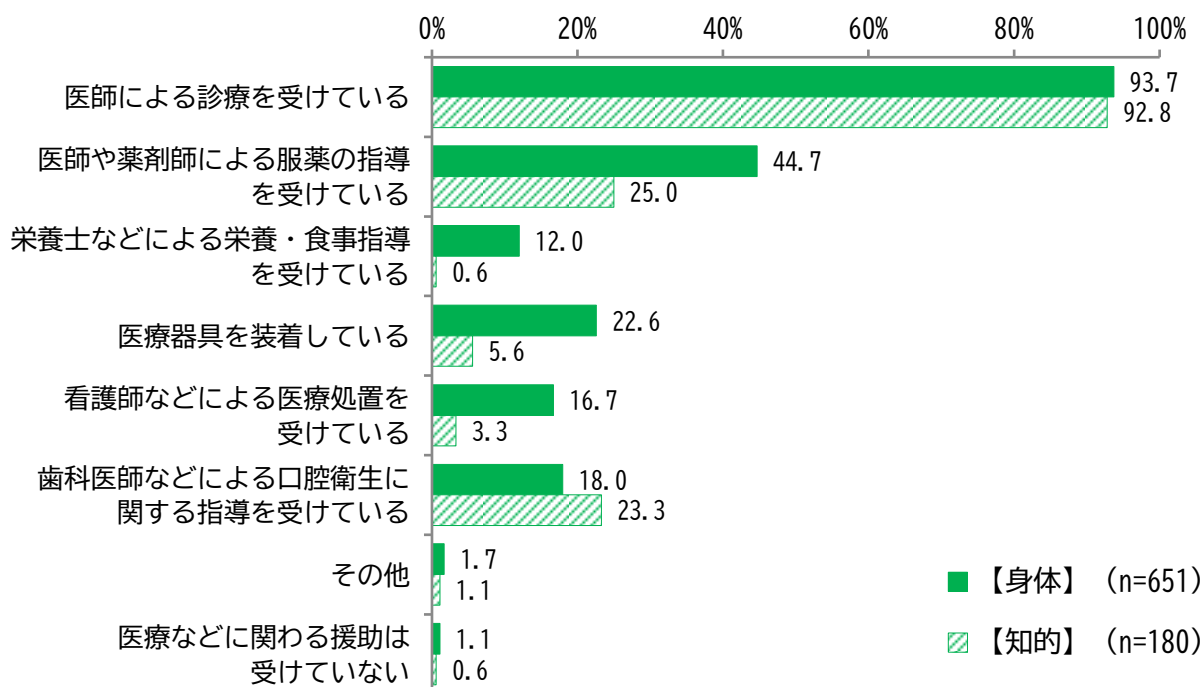
問 これまでに入院した期間をあわせると、どれくらいになりますか。（1つに○）【精神】

➤ 「6ヶ月～1年未満」「1年～2年未満」「10年以上」（いずれも21.4%）が最も高くなっています。



問「あなたは現在、医療機関にかかっていますか。」で「通院している」「入院している」「往診してもらっている」に○をつけた方のみ
 問 医療などに関わる援助で受けているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)
 【身体・知的】

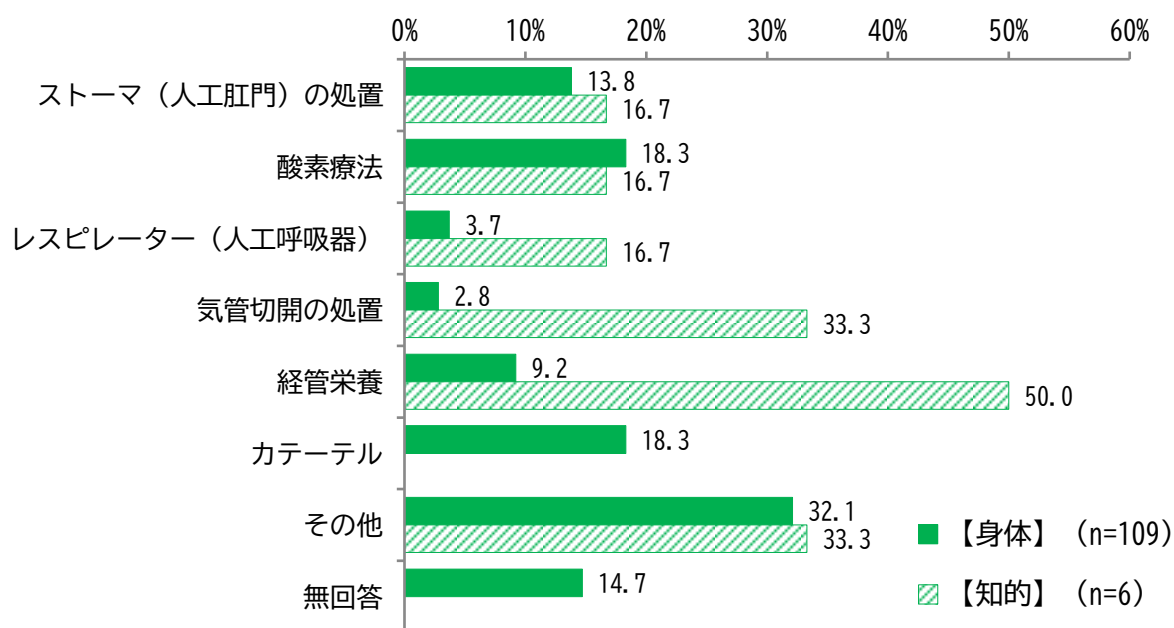
➤ 【身体】【知的】ともに「医師による診療を受けている」が9割以上で最も高くなっています。次いで【身体】では「医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」(44.7%)、「医療器具を装着している」(22.6%)が高く、【知的】では「医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」(25.0%)、「歯科医師などによる口腔衛生に関する指導を受けている」(23.3%)が高くなっています。



問「医療などに関わる援助で受けているものはありますか。」で「看護師などによる医療処
置を受けている」に○をつけた方のみ

問 過去2週間に受けた医療は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的】

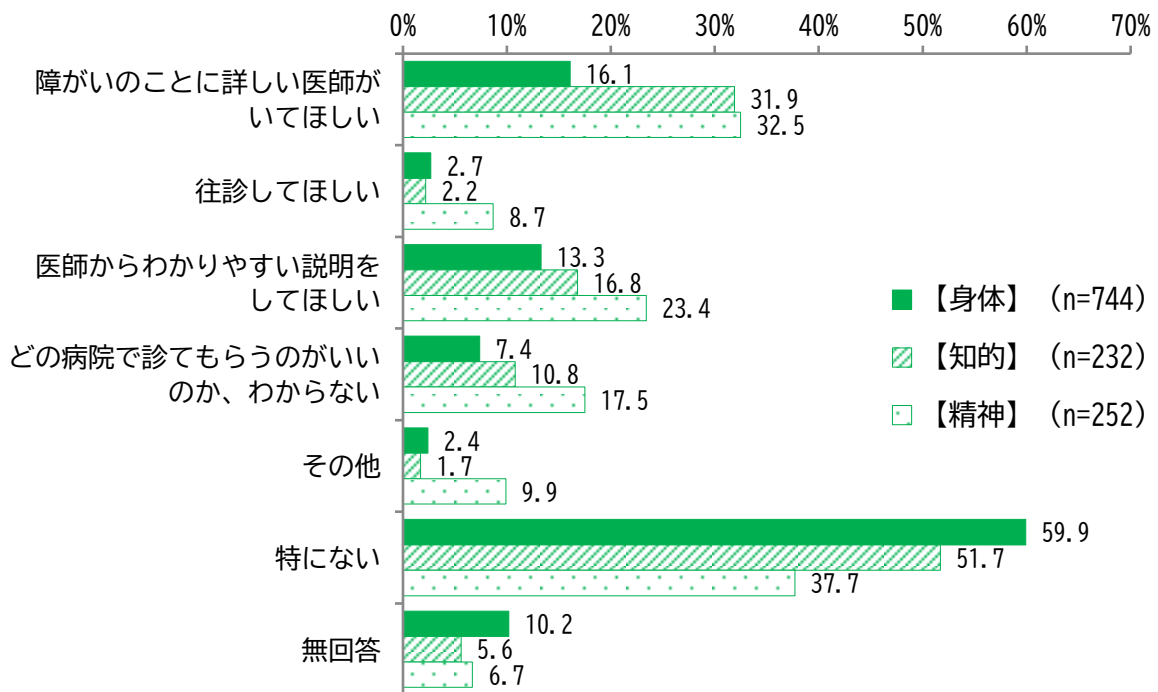
➤ 【身体】では「その他」(32.1%)が最も高く、次いで「酸素療法」「カテーテル」(と
ともに18.3%)、「ストーマの処置」(13.8%)が高くなっています。【知的】では「経管栄
養」(50.0%)が最も高く、次いで「気管切開の処置」「その他」(ともに33.3%)が高
くなっています。



3-2 医療についてふだん感じていること……………

問 医療について、ふだん感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

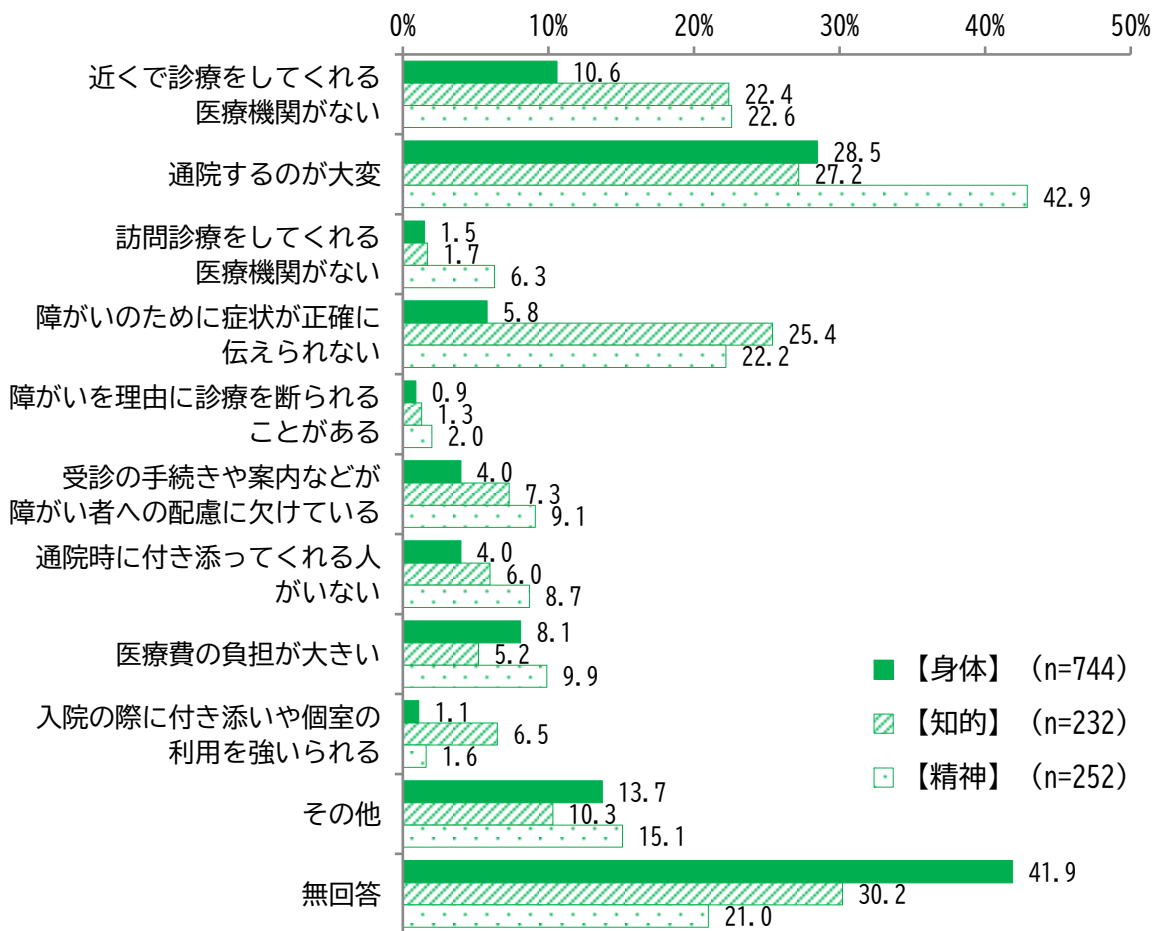
- いずれの障がい区分においても「特にない」が最も高く、全体から「特にない」と無回答を除いた『感じていることがある』は、【身体】で29.9%、【知的】で42.7%、【精神】で55.6%となっています。
- 感じていることは、いずれの障がい区分においても「障がいのことに詳しい医師がいてほしい」が最も高く、次いで「医師からわかりやすい説明をしてほしい」「どの病院で診てもらおうのがいいのか、わからない」「往診してほしい」の順で高くなっています。



3-3 医療について困ったり不便に思うこと……………

問 医療について、困ったり、不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)
【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「通院するのが大変」が最も高く、次いで【身体】では「その他」(13.7%)、【知的】では「障がいのために症状が正確に伝えられない」(25.4%)、【精神】では「近くで診療をしてくれる医療機関がない」(22.6%)がそれぞれ高くなっています。



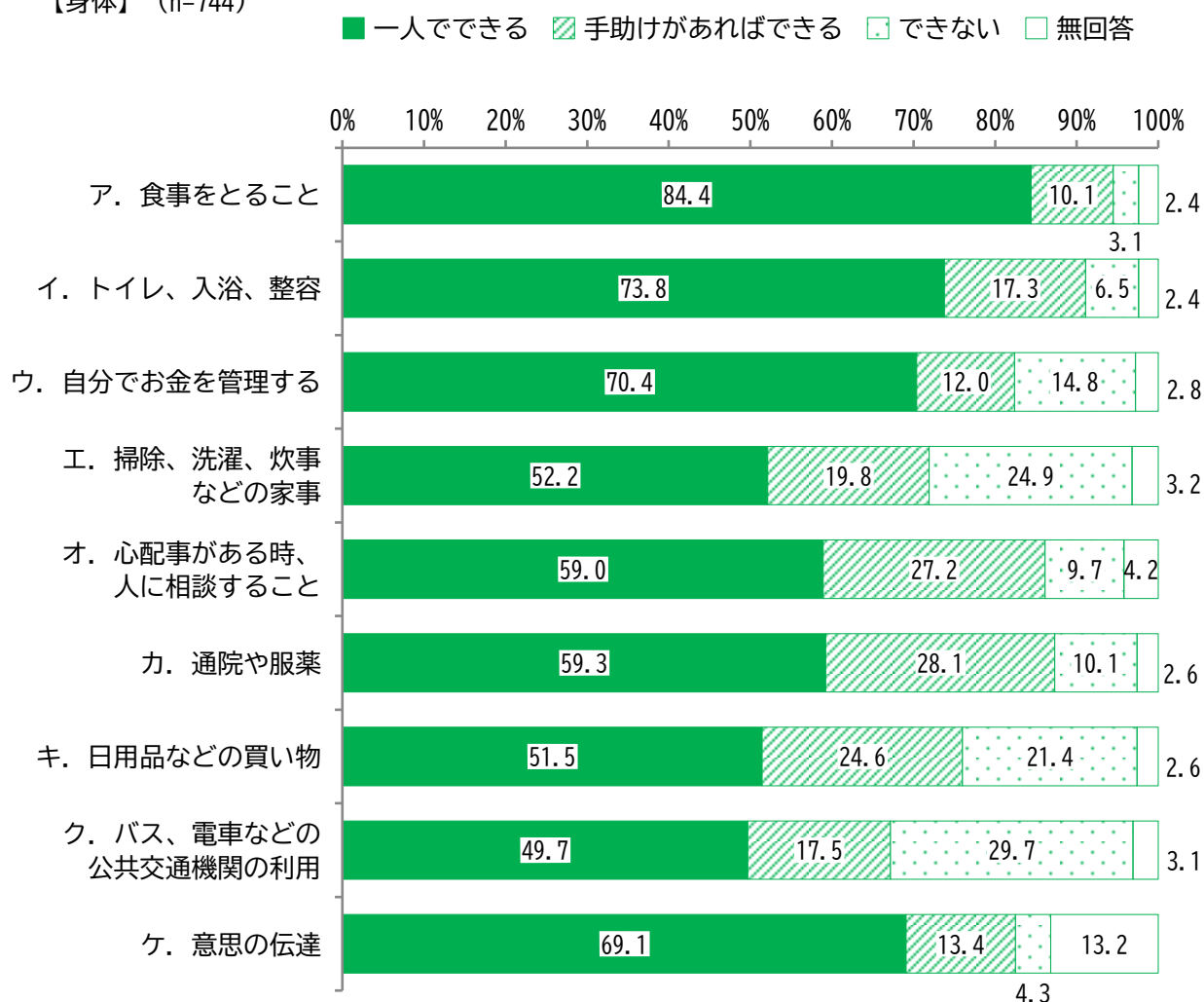
4 日常生活について

4-1 日常生活動作の状況

問 あなたの普段の生活についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)【身体・知的・精神】

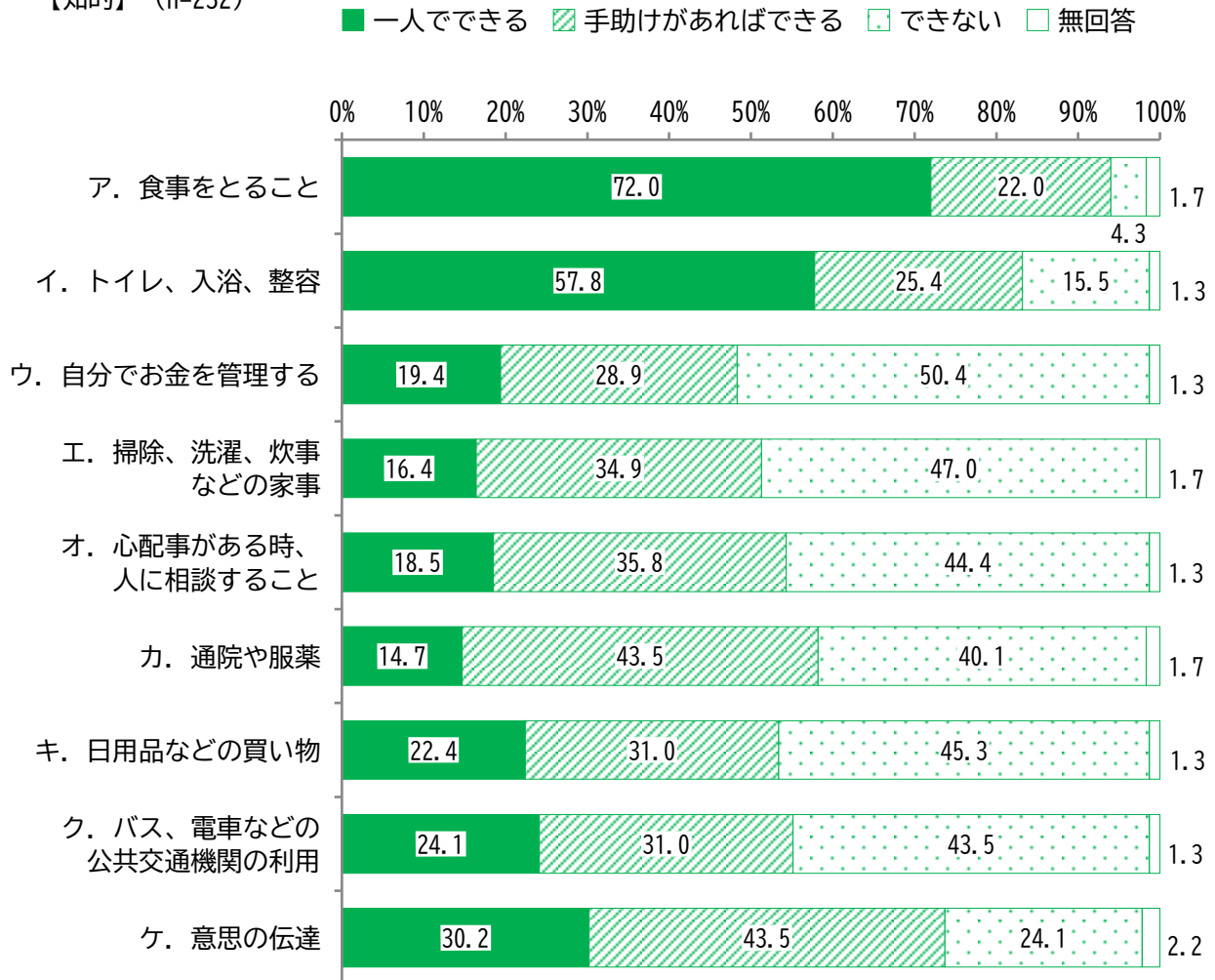
- 【身体】では、「できない」は「バス、電車などの公共交通機関の利用」(29.7%)で最も高く、次いで「掃除、洗濯、炊事などの家事」(24.9%)、「日用品などの買い物」(21.4%)、「自分でお金を管理する」(14.8%)で高くなっています。

【身体】 (n=744)



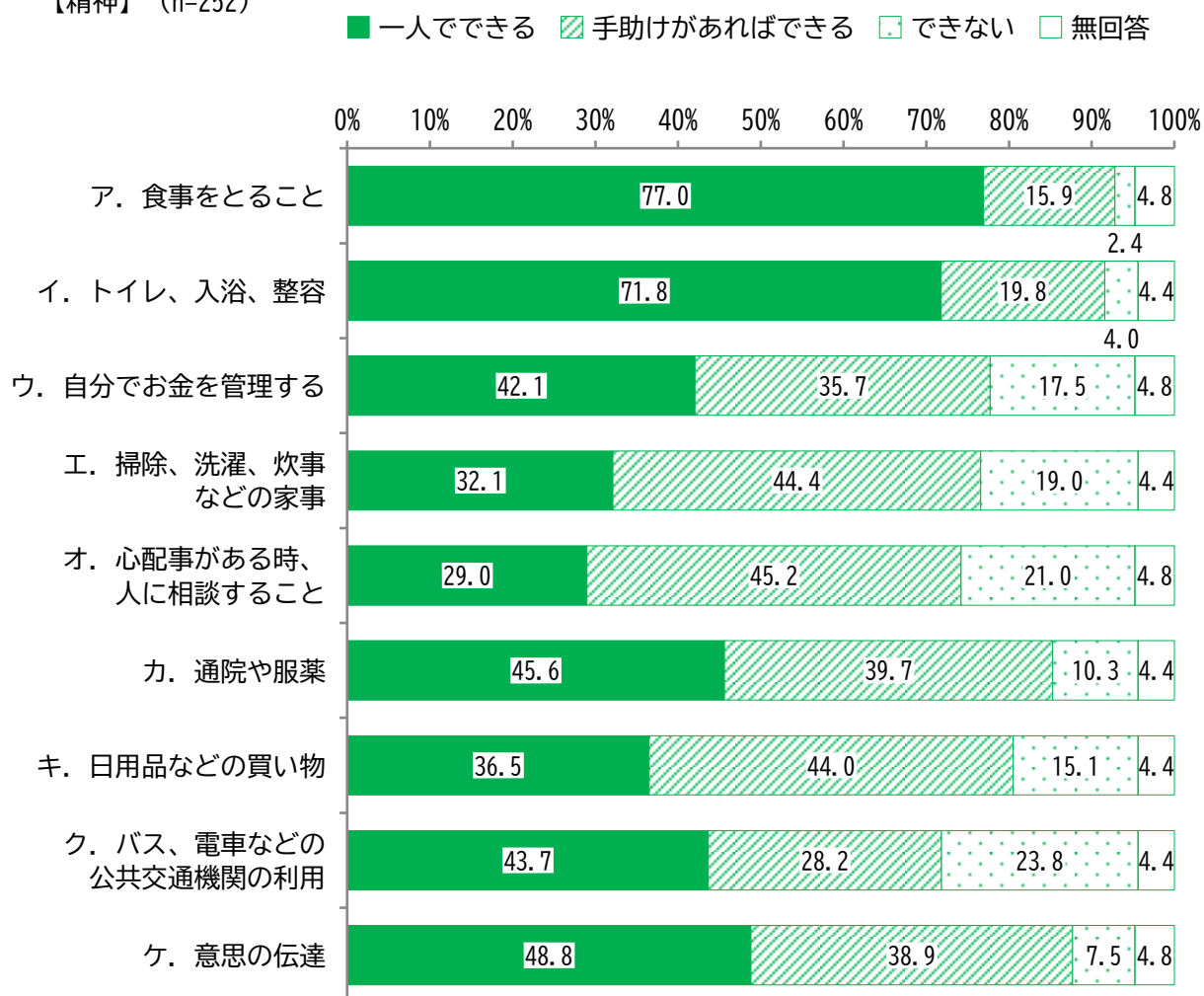
➤ 【知的】では、「できない」は「自分でお金を管理する」(50.4%)で最も高く、次いで「掃除、洗濯、炊事などの家事」(47.0%)、「日用品などの買い物」(45.3%)、「心配事がある時、人に相談すること」(44.4%)で高くなっています。18歳未満の障がい児が多いため、「できない」の割合が【身体】【精神】に比べて全項目で高くなっています。

【知的】 (n=232)



➤ 【精神】では、「できない」は「バス、電車などの公共交通機関の利用」(23.8%)で最も高く、次いで「心配事がある時、人に相談すること」(21.0%)、「掃除、洗濯、炊事などの家事」(19.0%)、「自分でお金を管理する」(17.5%)で高くなっています。

【精神】 (n=252)



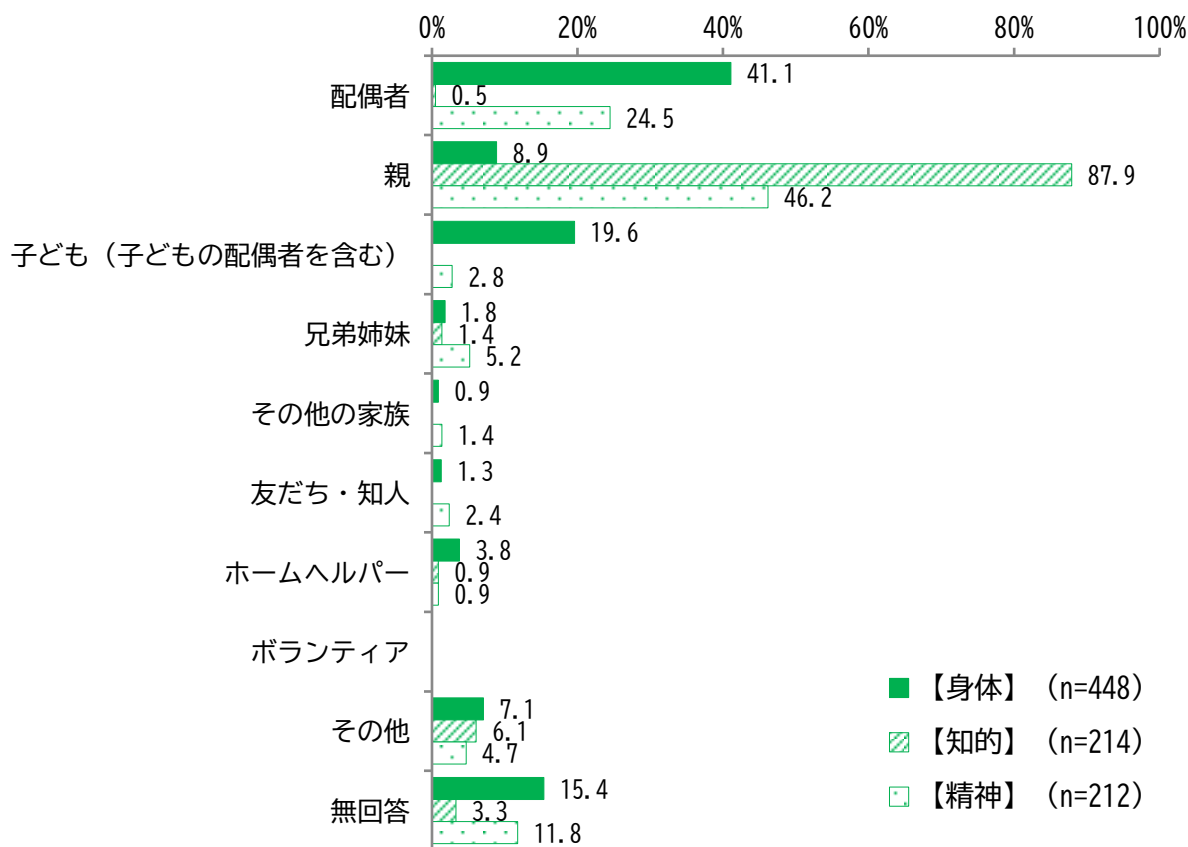
問「あなたの普段の生活についてお答えください。」で1つでも「手助けがあればできる」
または「できない」に○をつけた方のみ

問 心だん家ではどなたが介助をしていますか。あなたからみた関係であてはまる番号に
○をつけてください。【身体・知的・精神】

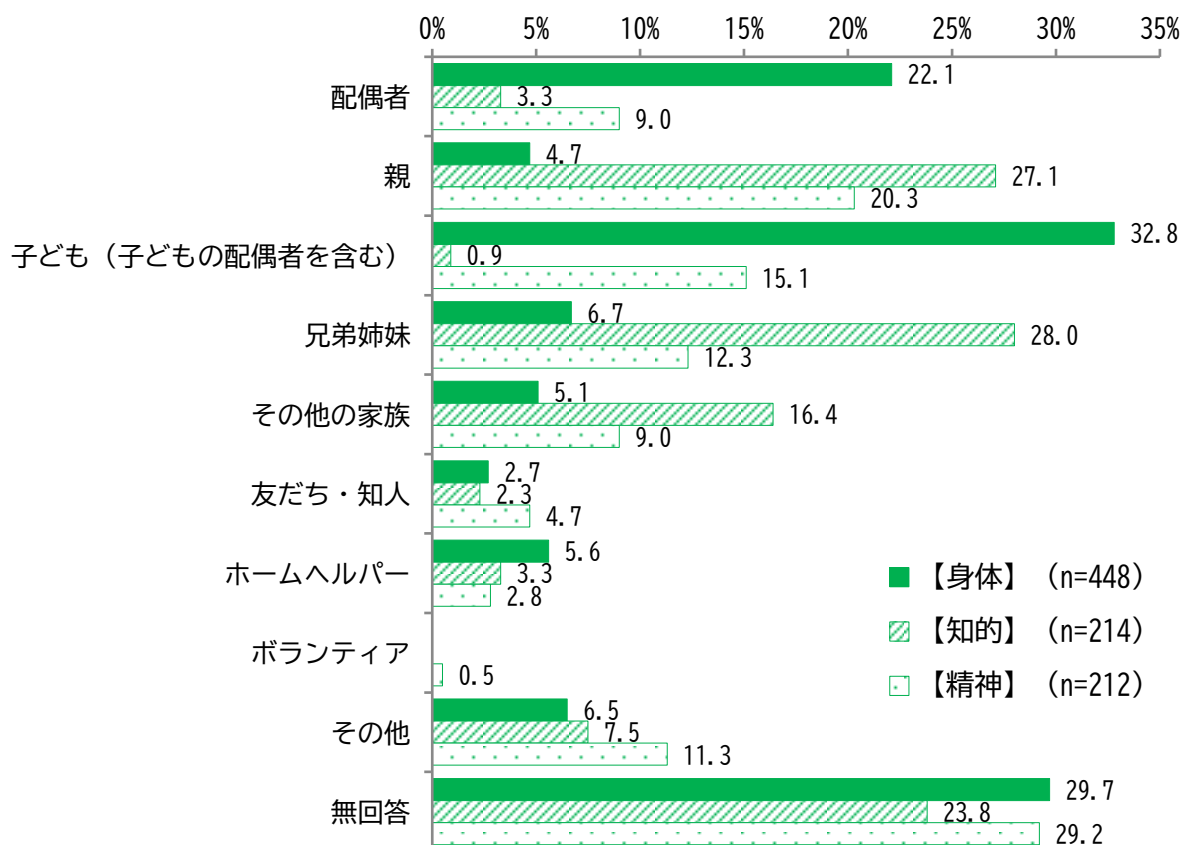
(1) 主に介助している方 (1つに○)

(2) (1)の方と一緒に、協力して介助している方 (あてはまるものすべてに○)

▶ 主な介助者は、【身体】では「配偶者」(41.1%)が最も高く、次いで「子ども(子どもの配偶者を含む)」(19.6%)が高くなっています。【知的】では「親」(87.9%)が最も高く、次いで「その他」(6.1%)が高くなっています。【精神】では「親」(46.2%)が最も高く、次いで「配偶者」(24.5%)が高くなっています。

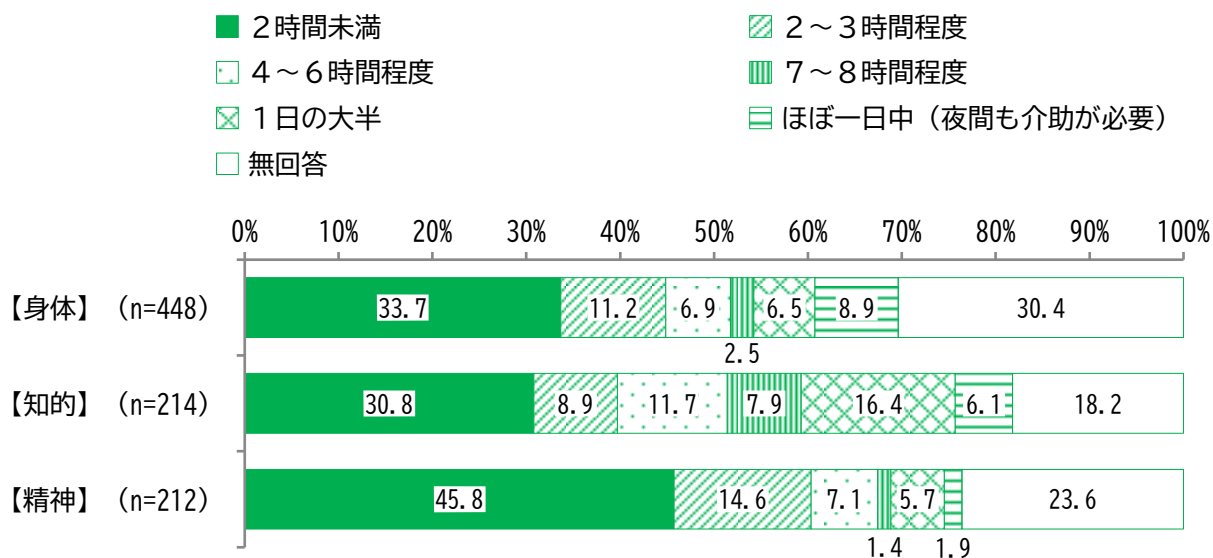


▶ 協力してくれる介助者は、【身体】では「子ども（子どもの配偶者を含む）」（32.8%）が最も高く、次いで「配偶者」（22.1%）が高くなっています。【知的】では「兄弟姉妹」（28.0%）が最も高く、次いで「親」（27.1%）が高くなっています。【精神】では「親」（20.3%）が最も高く、次いで「子ども（子どもの配偶者を含む）」（15.1%）が高くなっています。



問「あなたの普段の生活についてお答えください。」で1つでも「手助けがあればできる」
 または「できない」に○をつけた方のみ
 問 主な介助者の介助時間はどのくらいですか。(1つに○)【身体・知的・精神】

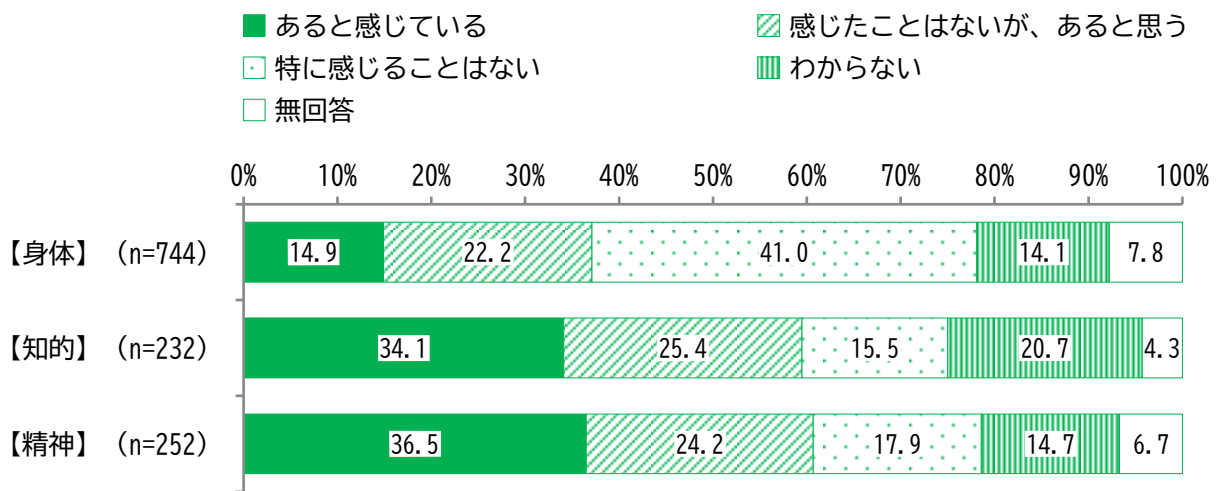
- いずれの障がい区分においても「2時間未満」が最も高くなっています。
- 『1日の大半以上』（「1日の大半」「ほぼ一日中（夜間も介助が必要）」の計）は、【身体】で15.4%、【知的】で22.5%、【精神】で7.6%となっています。



4-2 障がい者に対する差別や偏見について

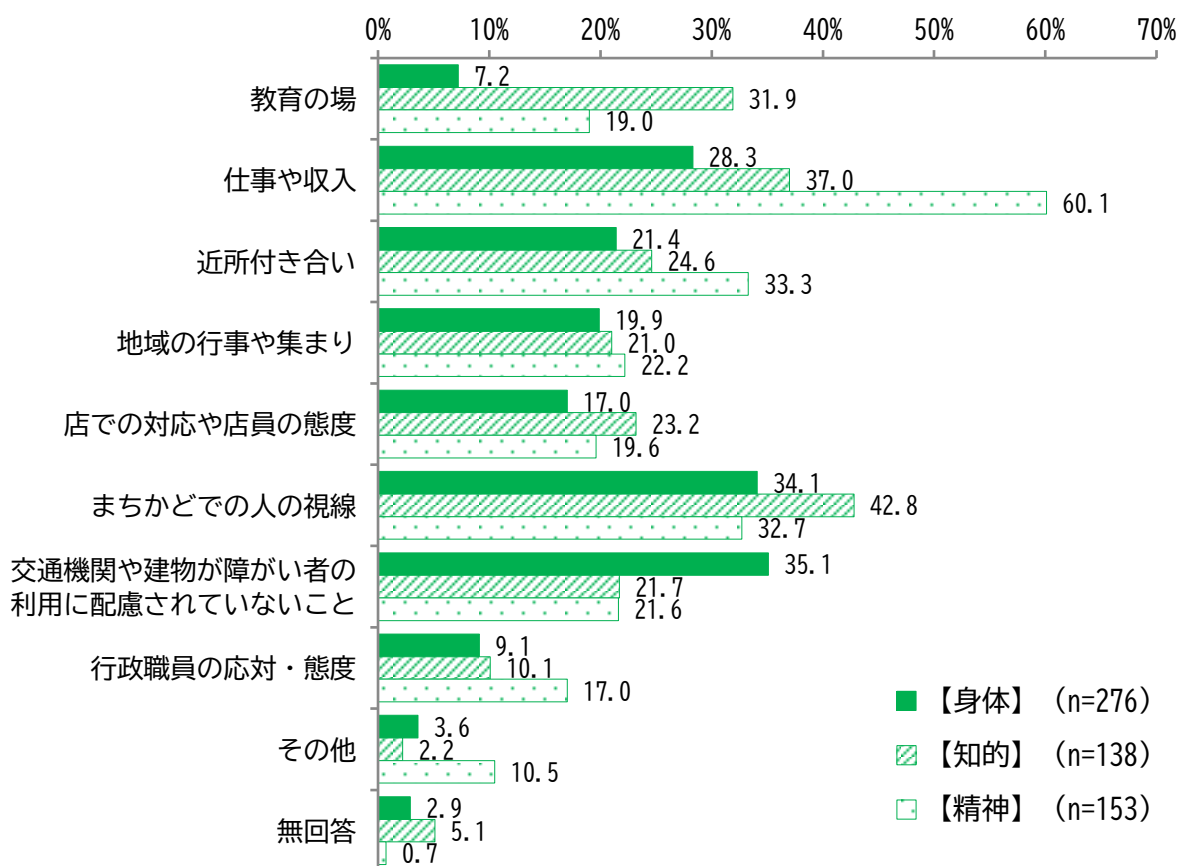
問 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】では「特に感じることはない」(41.0%)が最も高く、【知的】【精神】では「あると感じている」がともに3割以上で最も高くなっています。
- 『あると思う』(「あると感じている」「感じたことはないが、あると思う」の計)は、【身体】で37.1%、【知的】で59.5%、【精神】で60.7%となっています。



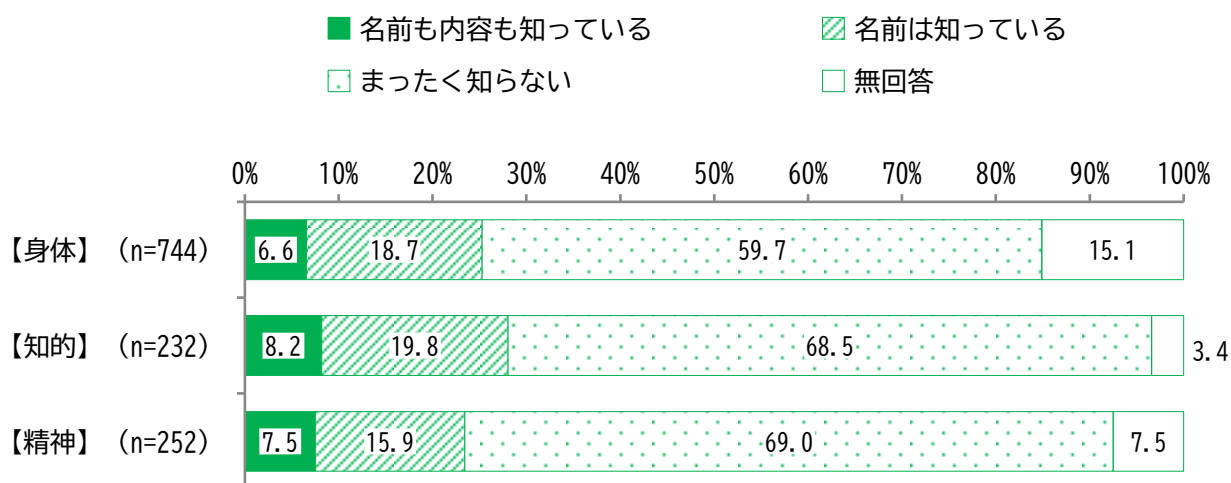
問「あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。」
 で「あると感じている」、「感じたことはないが、あると思う」に○をつけた方のみ
 問 差別や偏見をどのような時に感じますか（あると思いますか）。（あてはまるものすべてに○）【身体・知的・精神】

- 【身体】では「交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていないこと」（35.1%）、
 【知的】では「まちかどでの人の視線」（42.8%）、【精神】では「仕事や収入」（60.1%）
 がそれぞれ最も高くなっています。



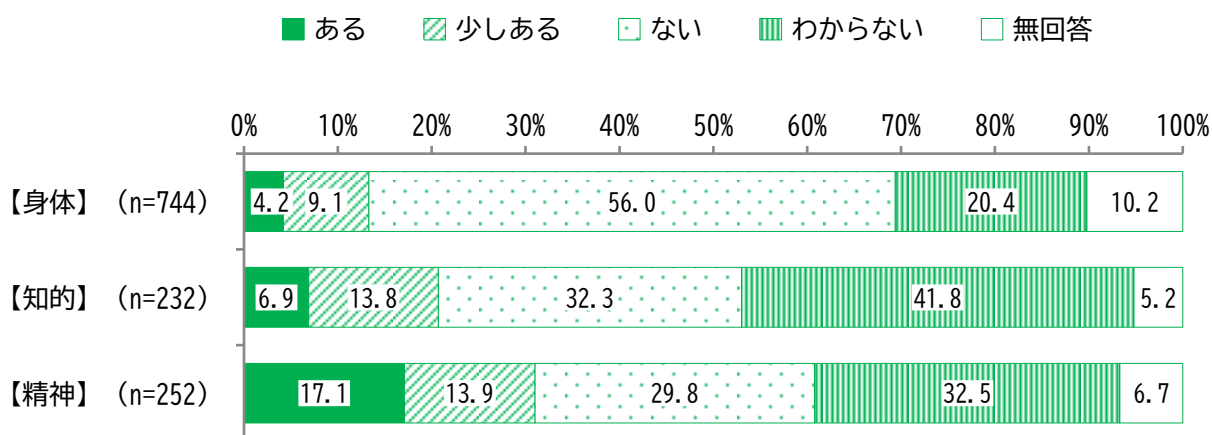
問 あなたは、障がい者に対する「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮の不提供」の禁止について規定した「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- いずれの障がい区分においても「まったく知らない」が6～7割を占めて最も高くなっています。
- 『知っている』(「名前も内容も知っている」「名前は知っている」の計)は、【身体】で25.3%、【知的】で28.0%、【精神】で23.4%となっています。



問 あなたは、不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供を感じたことがありますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

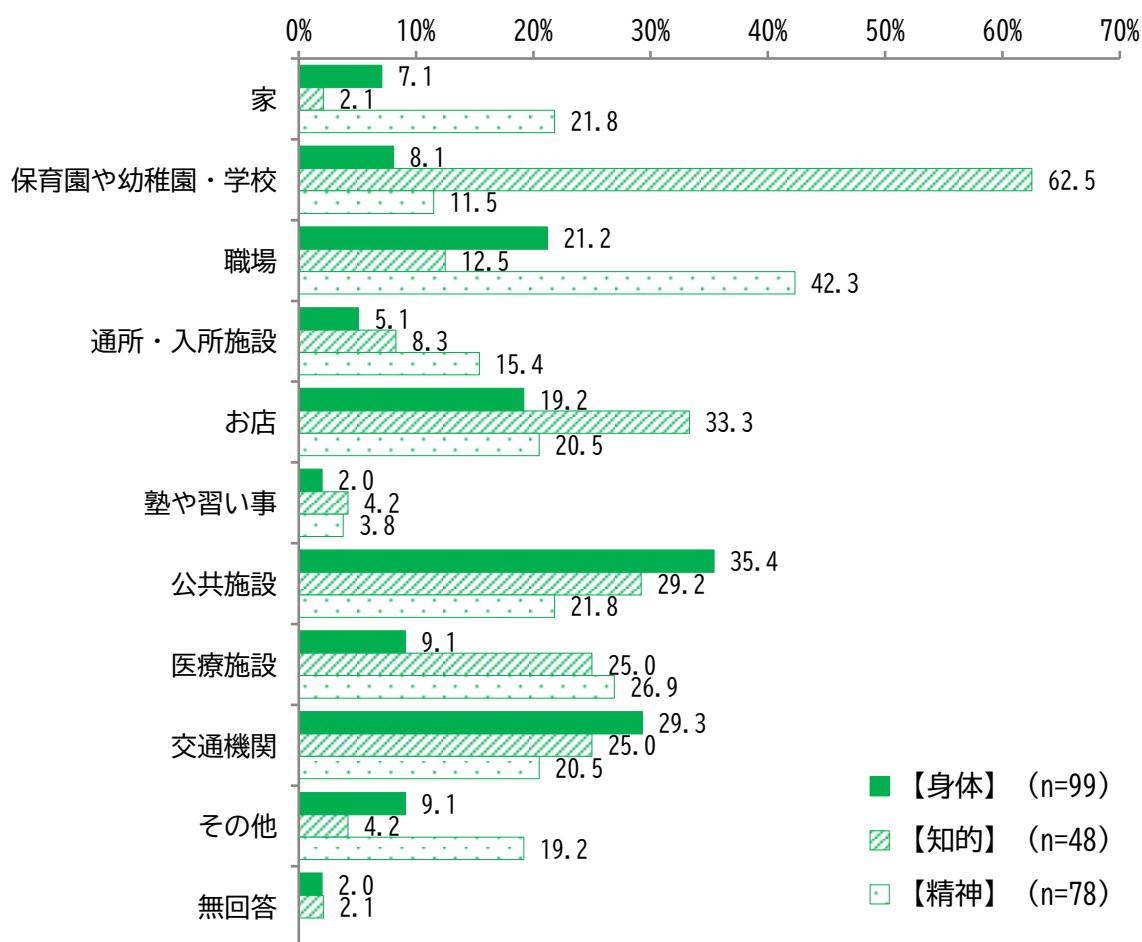
- 【身体】では「ない」(56.0%)、【知的】【精神】では「わからない」がそれぞれ最も高くなっています。
- 『感じたことがある』(「ある」「少しある」の計)は、【身体】で13.3%、【知的】で20.7%、【精神】で31.0%となっています。



問「あなたは、不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供を感じたことがありますか。」で「ある」、「少しある」に○をつけた方のみ

問 どのような場所で不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

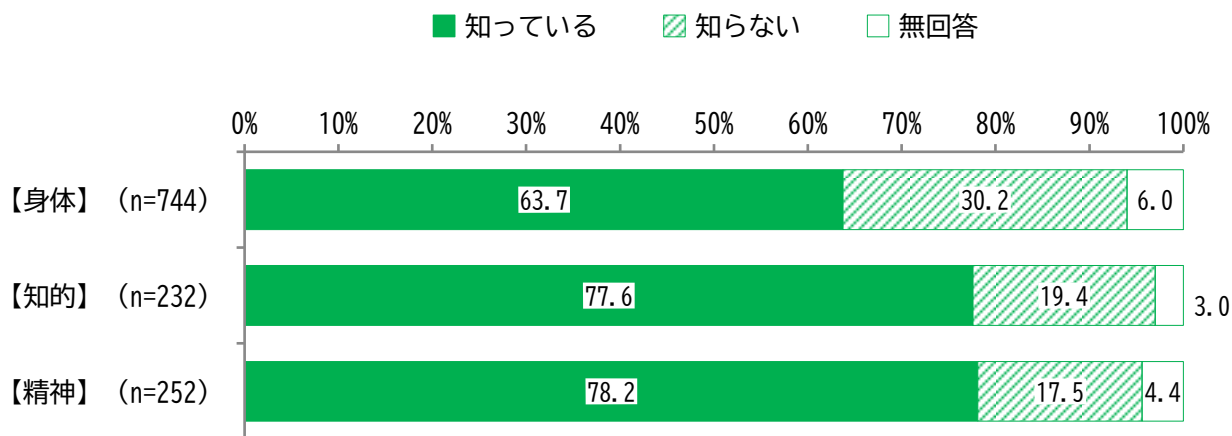
- 【身体】では「公共施設」(35.4%)、【知的】では「保育園や幼稚園・学校」(62.5%)、【精神】では「職場」(42.3%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 「公共施設」は【身体】で第1位、【知的】【精神】でともに第3位と、いずれの障がい区分においても割合が上位となっています。



4-3 ヘルプマークの認知度

問 あなたはヘルプマークを知っていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「知っている」が過半数を占めており、【身体】で63.7%、【知的】で77.6%、【精神】で78.2%となっています。

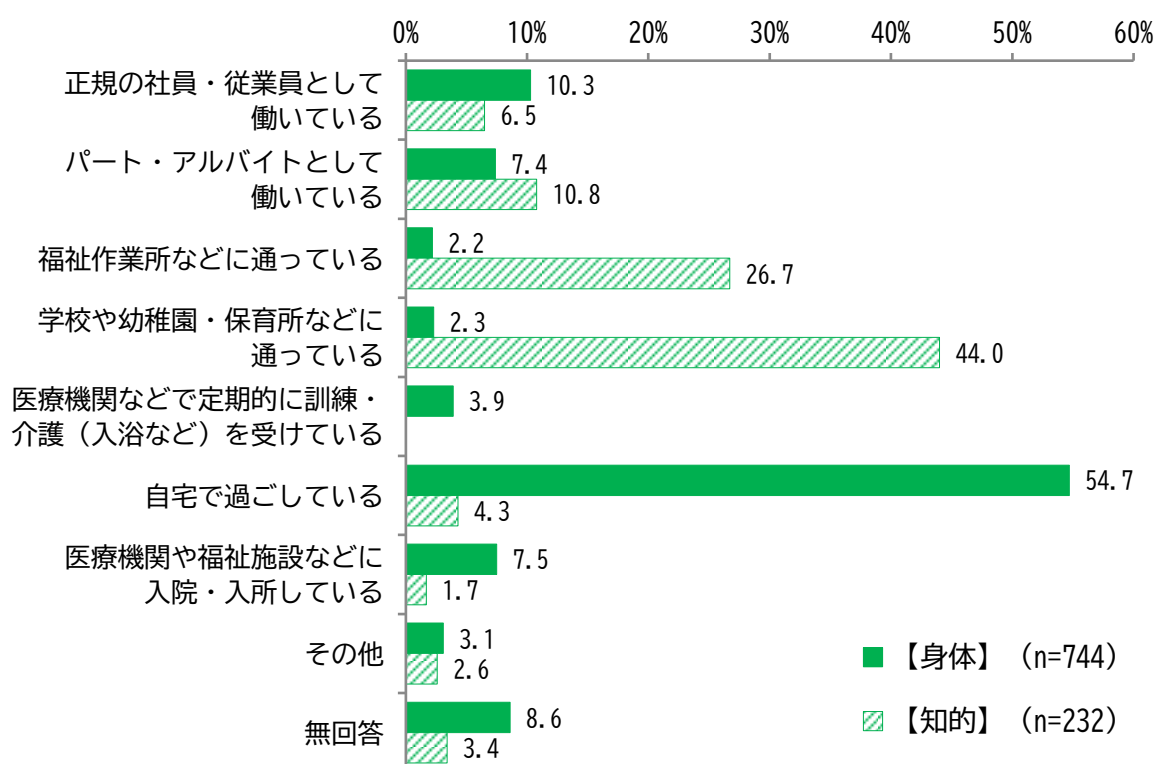


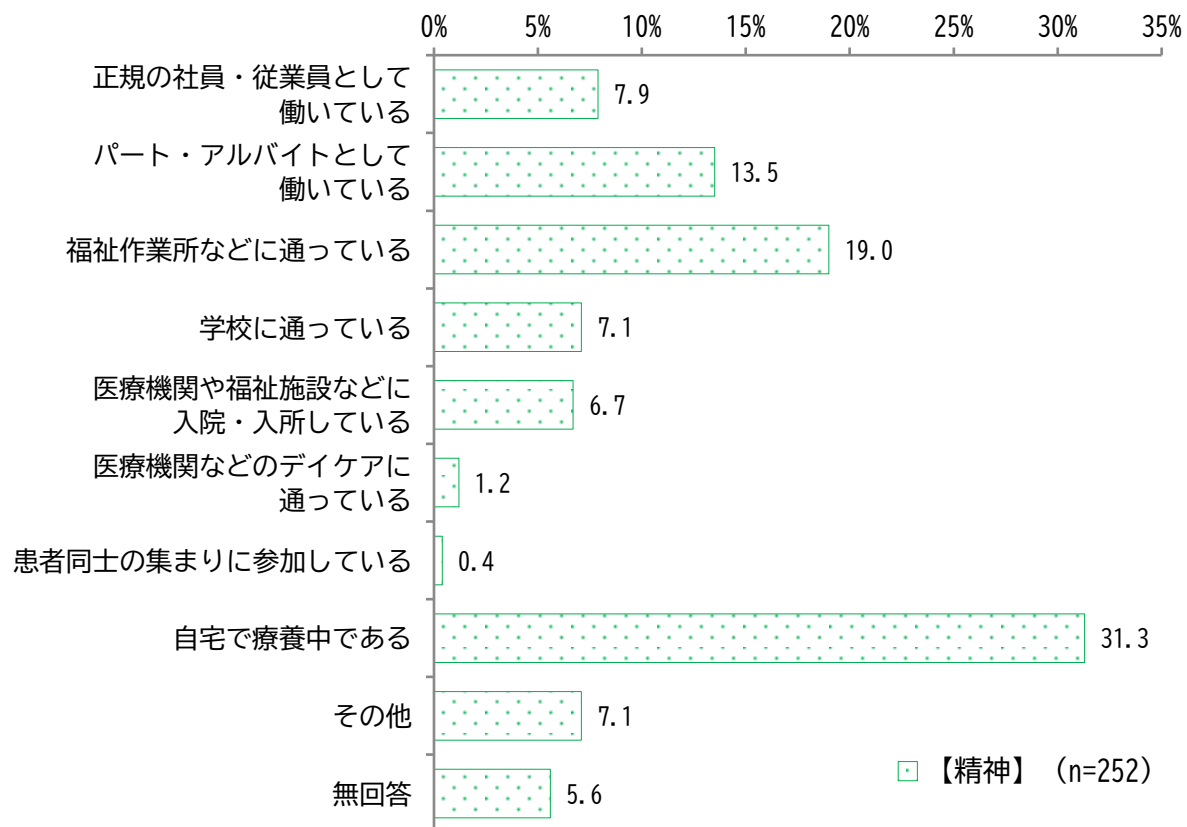
5 就労・就学状況などについて

5-1 就労・就学の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 あなたは、ふだんどのようにして過ごしていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】では「自宅で過ごしている」(54.7%)が最も高く、次いで「正規の社員・従業員として働いている」(10.3%)、「医療機関や福祉施設などに入院・入所している」(7.5%)が高くなっています。
- 【知的】では「学校や幼稚園・保育所などに通っている」(44.0%)が最も高く、次いで「福祉作業所などに通っている」(26.7%)、「パート・アルバイトとして働いている」(10.8%)が高くなっています。
- 【精神】では「自宅で療養中である」(31.3%)が最も高く、次いで「福祉作業所などに通っている」(19.0%)、「パート・アルバイトとして働いている」(13.5%)が高くなっています。

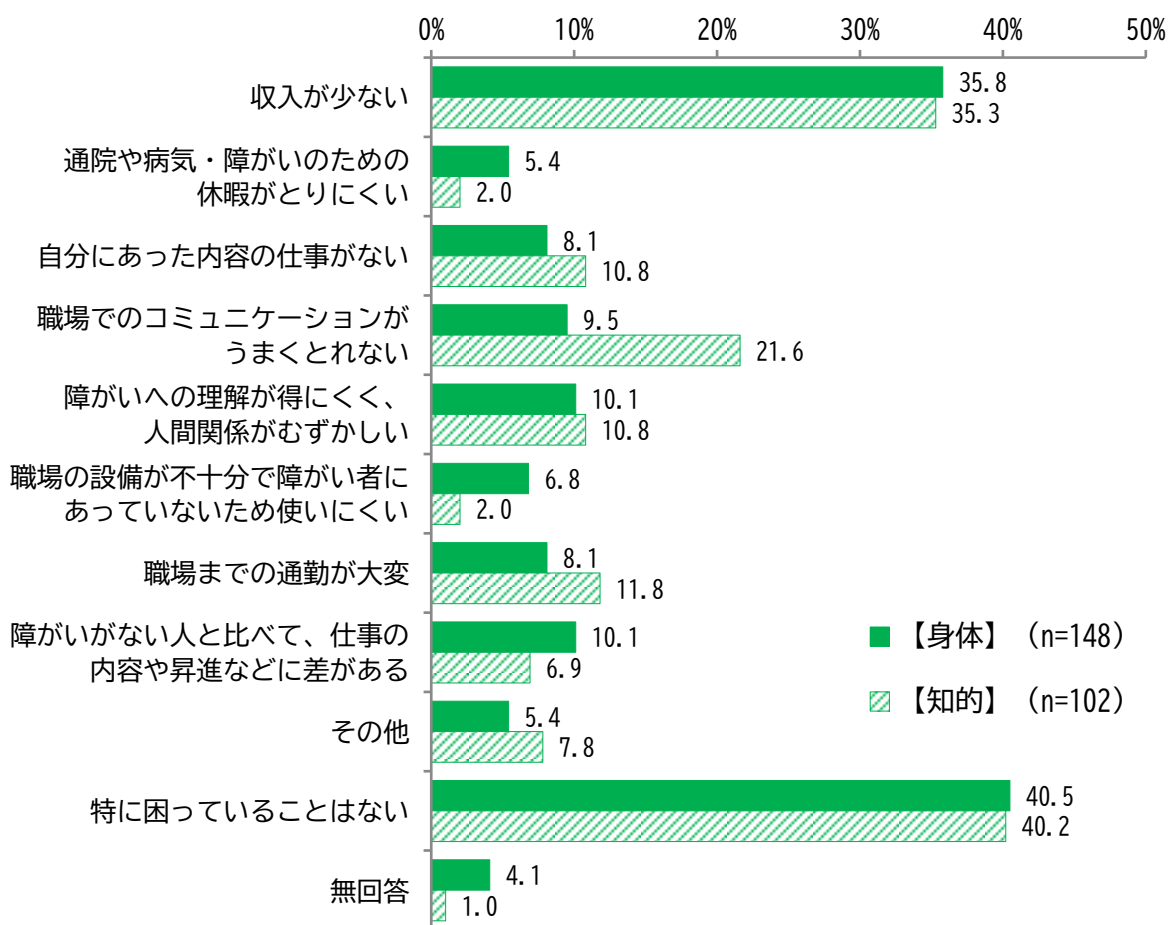


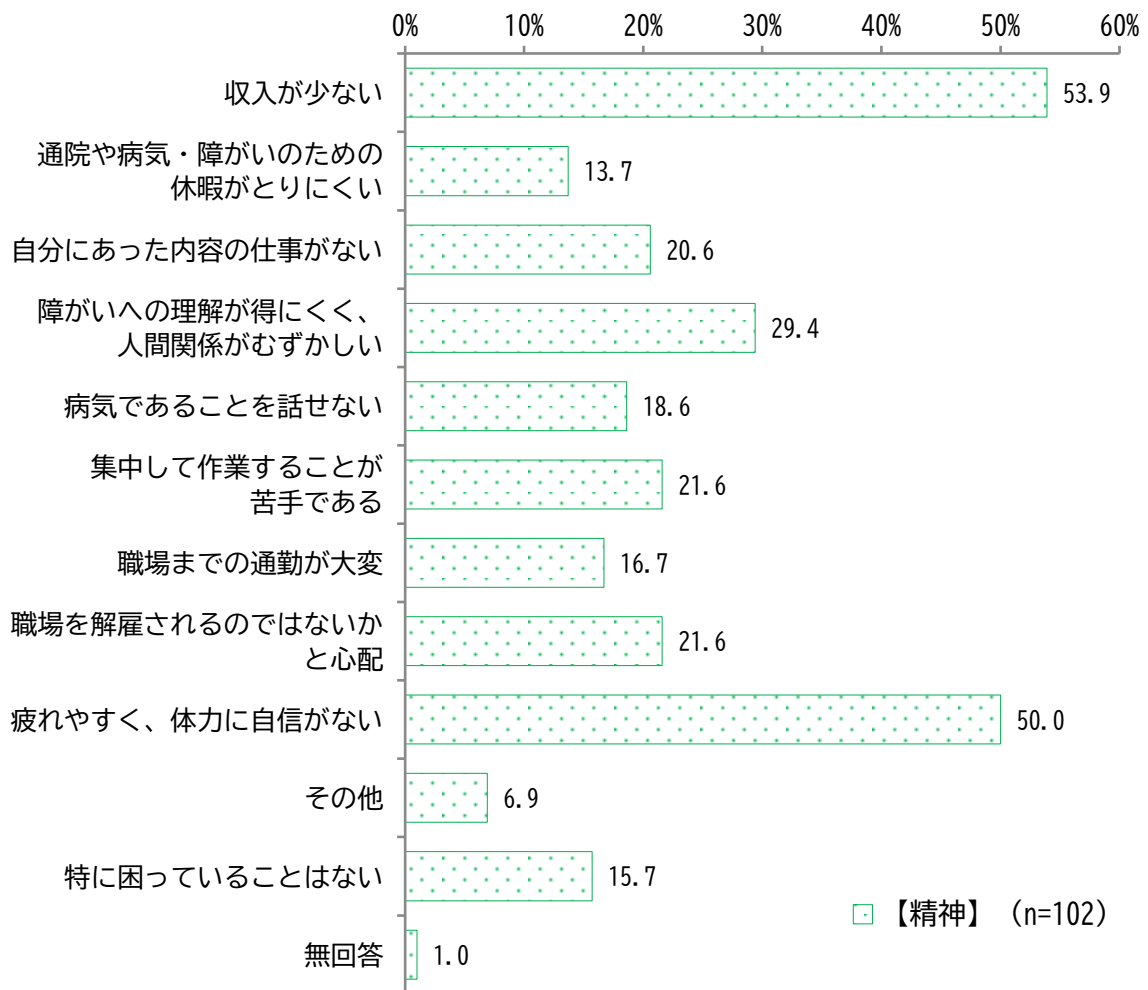


問「あなたは、ふだんどのようにして過ごしていますか。」で「正規の社員・従業員として働いている」、「パート・アルバイトとして働いている」、「福祉作業所などに通っている」のいずれかに○をつけた方のみ

問 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】では「特に困っていることはない」(40.5%)が最も高く、次いで「収入が少ない」(35.8%)、「障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい」「障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」(ともに10.1%)が高くなっています。
- 【知的】では「特に困っていることはない」(40.2%)が最も高く、次いで「収入が少ない」(35.3%)、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(21.6%)、「職場までの通勤が大変」(11.8%)が高くなっています。
- 【精神】では「収入が少ない」(53.9%)が最も高く、次いで「疲れやすく、体力に自信がない」(50.0%)、「障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい」(29.4%)、「集中して作業することが苦手である」「職場を解雇されるのではないかと心配」(ともに21.6%)が高くなっています。

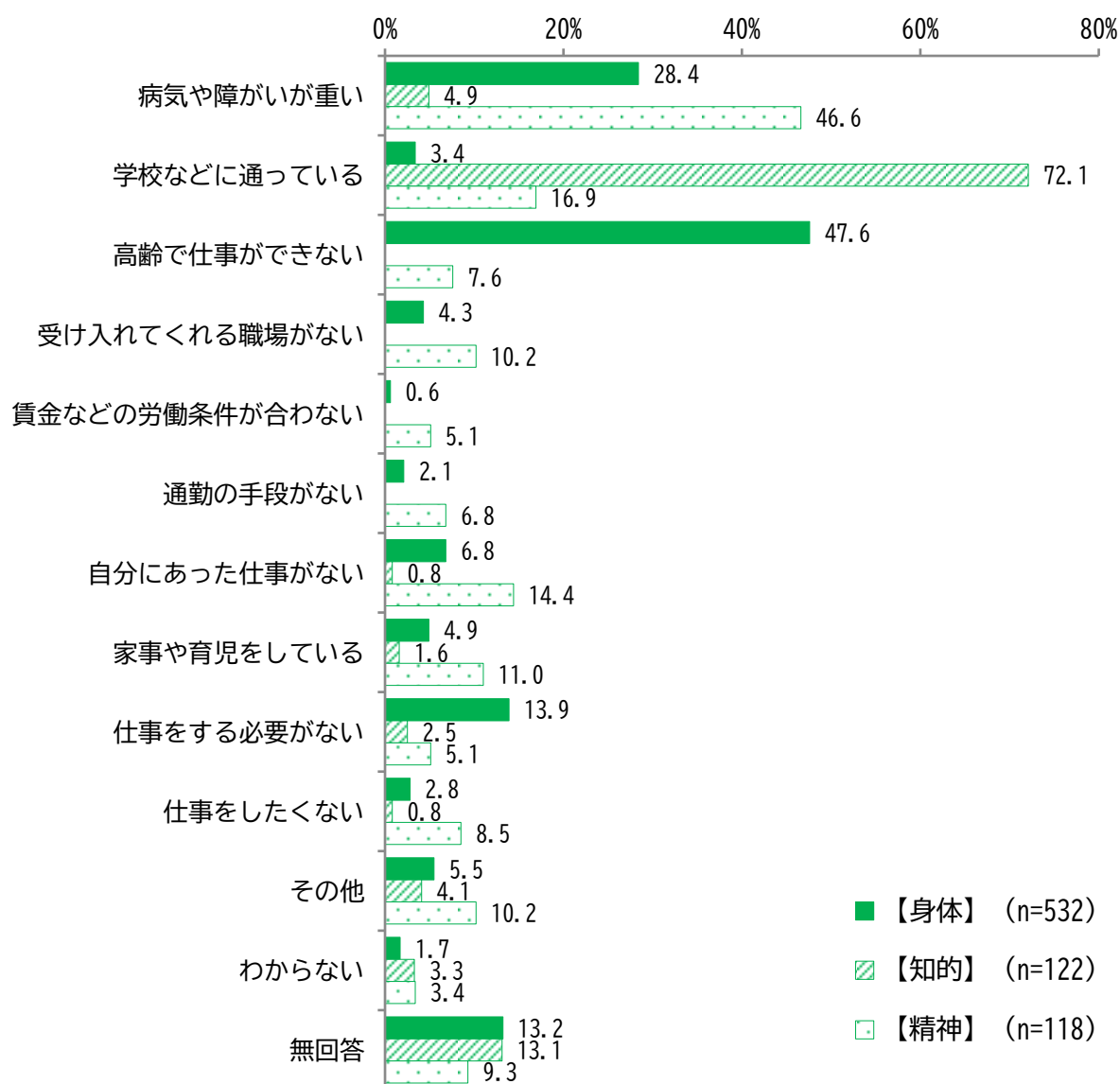




現在、企業や施設等で就労をしていない方のみ

問 あなたが現在、働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

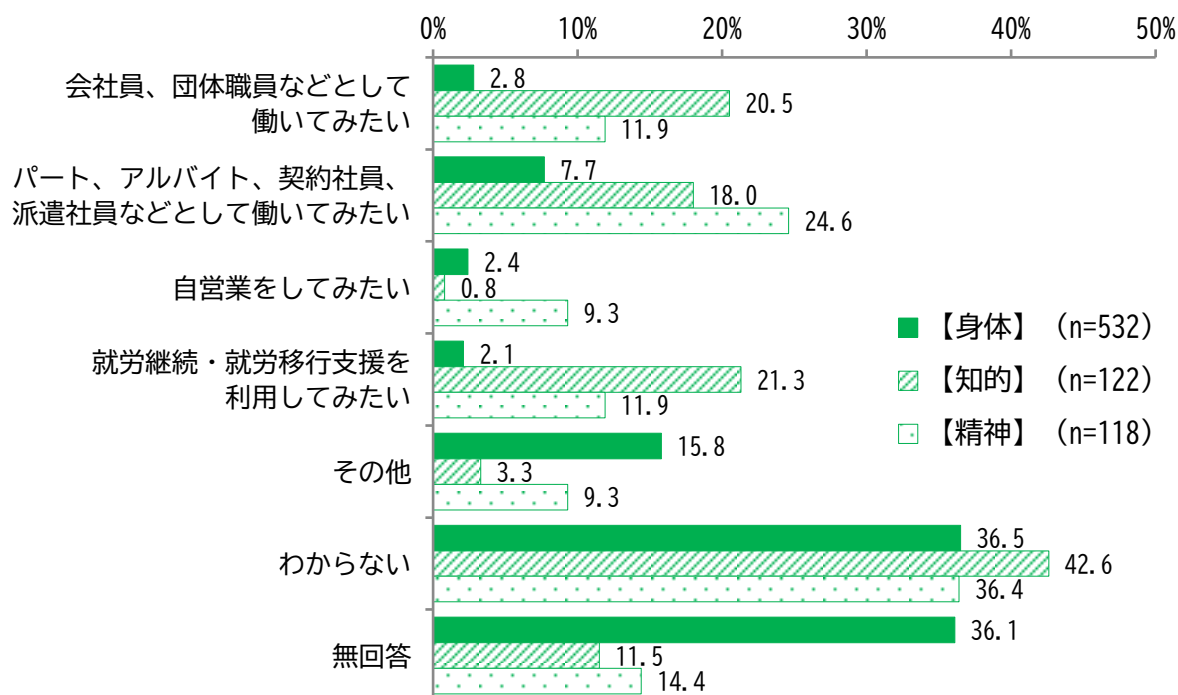
- 【身体】では「高齢で仕事ができない」(47.6%)が最も高く、次いで「病気や障がい重い」(28.4%)、「仕事をする必要がない」(13.9%)が高くなっています。
- 【知的】では「学校などに通っている」(72.1%)が最も高く、次いで「病気や障がい重い」(4.9%)が高くなっています。
- 【精神】では「病気や障がい重い」(46.6%)が最も高く、次いで「学校などに通っている」(16.9%)、「自分にあった仕事がない」(14.4%)が高くなっています。



現在、企業や施設等で就労をしていない方のみ

問 あなたは今後、どこかで働いてみたいと思いますか。(主にあてはまるもの3つまで)
○)【身体・知的・精神】

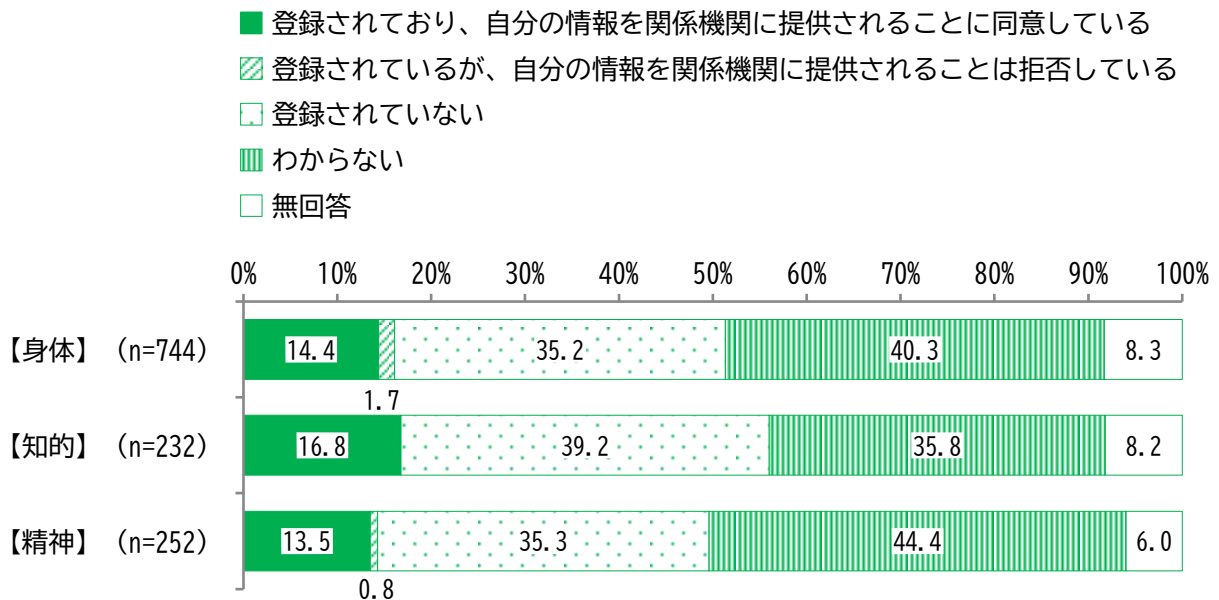
➤ いずれの障がい区分においても「わからない」が最も高く、次いで【身体】では「その他」(15.8%)、「パート、アルバイトなどとして働いてみたい」(7.7%)、【知的】では「就労継続・就労移行支援を利用してみたい」(21.3%)、【精神】では「パート、アルバイトなどとして働いてみたい」(24.6%)がそれぞれ高くなっています。



5-2 避難行動要支援者名簿への登録の状況……………

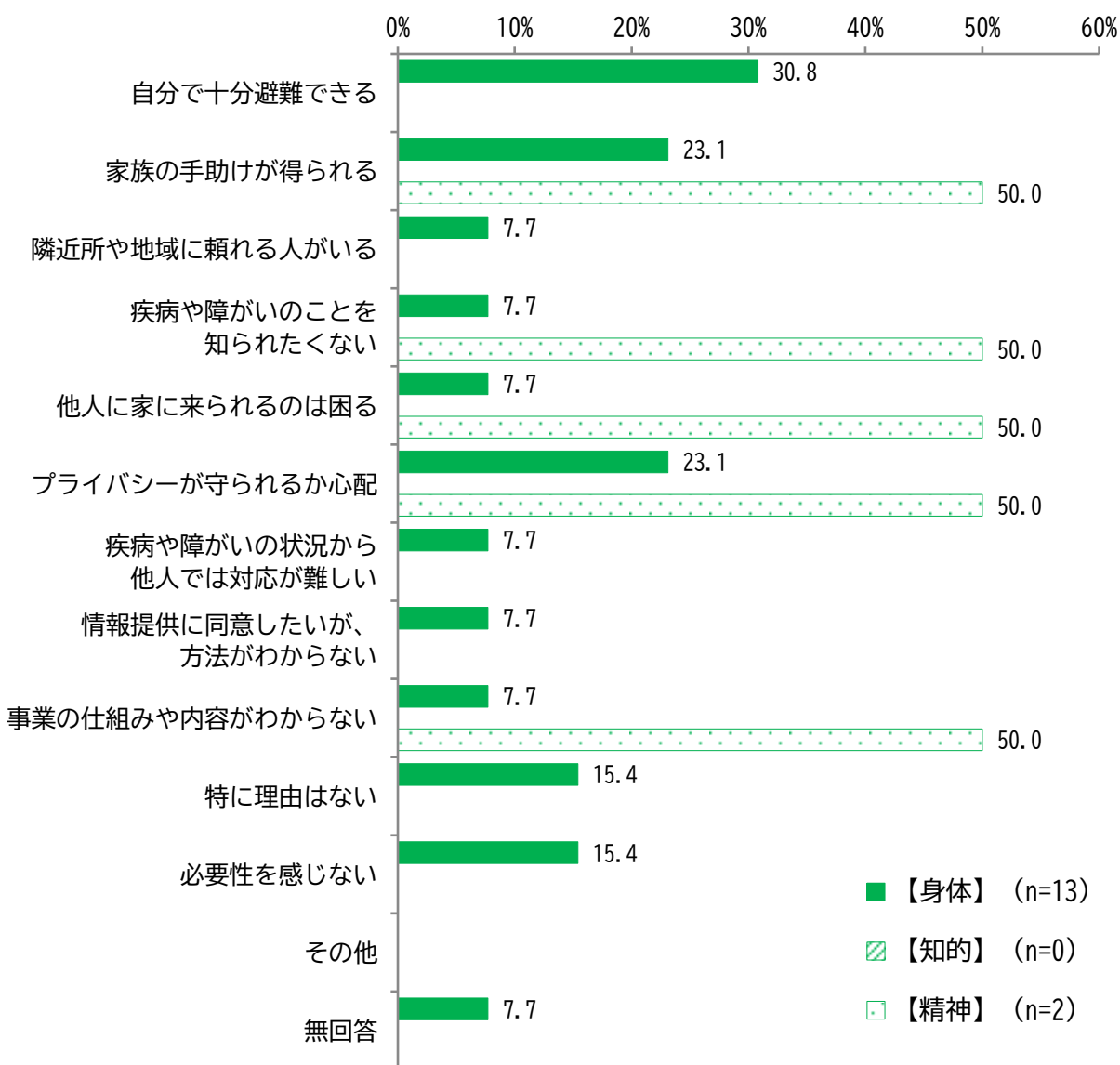
問 あなたは、避難行動要支援者名簿に登録されていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】【精神】では「わからない」が4割以上で最も高く、【知的】では「登録されていない」(39.2%)が最も高くなっています。
- 『登録されている』(「登録されており、自分の情報を関係機関に提供されることに同意している」「登録されているが、自分の情報を関係機関に提供されることは拒否している」の計)は、【身体】で16.1%、【知的】で16.8%、【精神】で14.3%となっています。



問「あなたは、避難行動要支援者名簿に登録されていますか。」で「登録されているが、自分の情報を関係機関に提供されることは拒否している」に○をつけた方のみ
 問 情報の提供を拒否している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

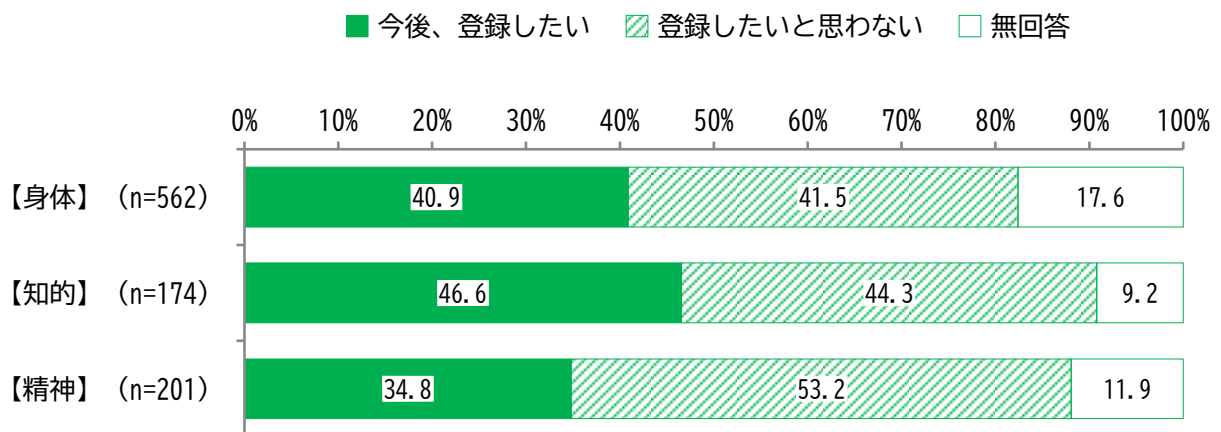
➤ 【身体】では「自分で十分避難できる」(30.8%)が最も高く、【精神】では「家族の手助けが得られる」「疾病や障がいのことを知られたくない」「他人に家に来られるのは困る」「プライバシーが守られるか心配」「事業の仕組みや内容がわからない」に回答がありました。(【知的】については該当者がいませんでした。)



問「あなたは、避難行動要支援者名簿に登録されていますか。」で「登録されていない」、
「わからない」に○をつけた方のみ

問 避難行動要支援者名簿に登録したいと思いますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】【精神】では「登録したいと思わない」が高く、【知的】では「今後、登録したい」が高くなっています。
- 「今後、登録したい」は【身体】で40.9%、【知的】で46.6%、【精神】で34.8%となっています。

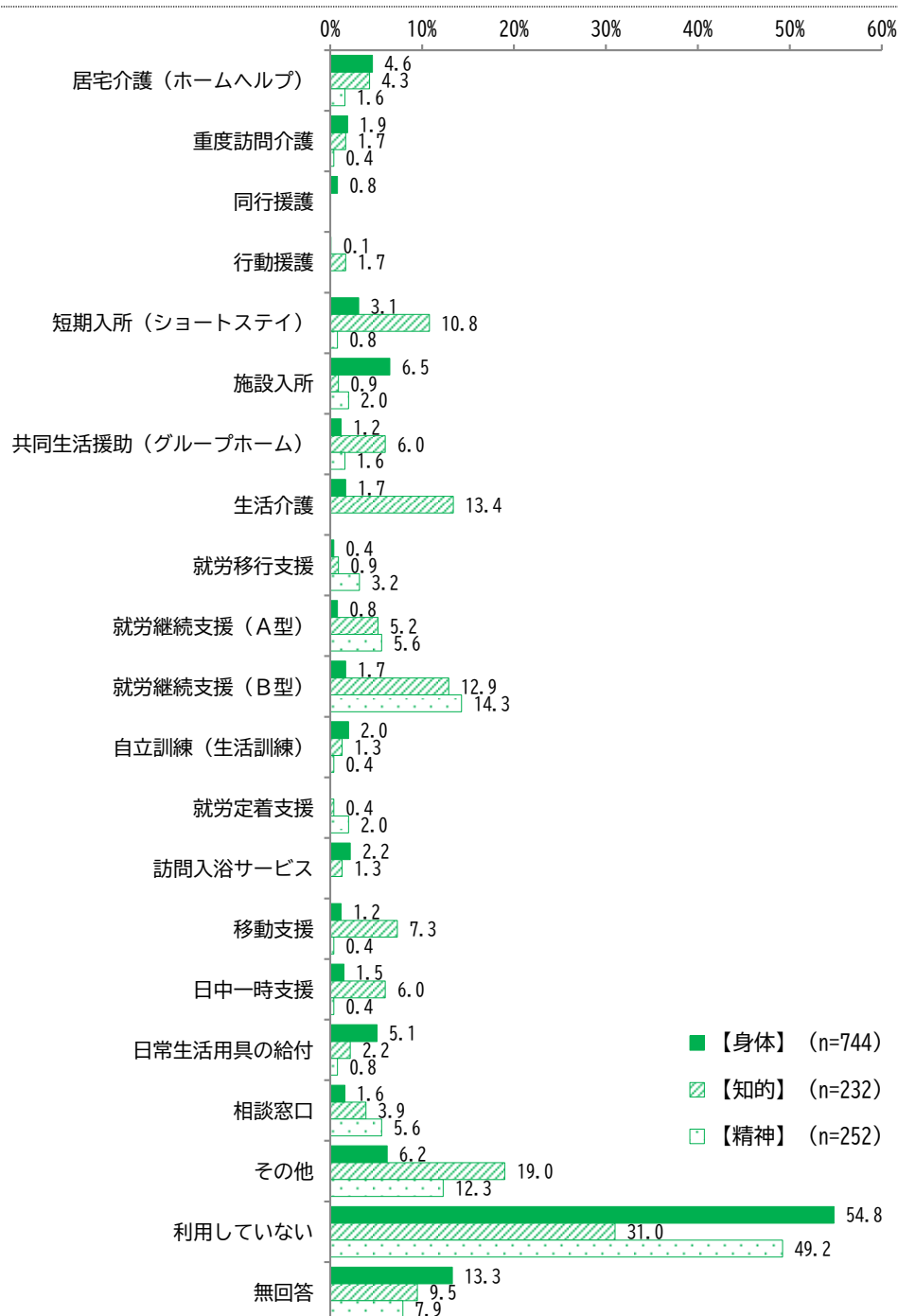


6 サービスの利用について

6-1 現在利用しているサービス……………

問 あなたが現在利用しているサービスは何ですか。利用しているサービス量（時間・日数）もお答えください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）【身体・知的・精神】

- ▶ 何らかのサービスを利用している人の割合（全体から「利用していない」と無回答を除いた割合）は【身体】で31.9%、【知的】で59.5%、【精神】で42.9%となっています。
- ▶ 利用しているサービスは、【身体】では「施設入所」（6.5%）、【知的】では「その他」（19.0%）、【精神】では「就労継続支援（B型）」（14.3%）がそれぞれ最も高くなっています。



- 利用しているサービス量（時間・日数）の平均は、【身体】では「日中一時支援」（41.6時間）、「移動支援」（14.8時間）、「共同生活援助（グループホーム）」（30.3日）、「施設入所」（26.6日）、【知的】では「日中一時支援」（34.3時間）、「重度訪問介護」（21時間）、「施設入所」（31日）、「共同生活援助」（26.3日）、【精神】では「移動支援」（20時間）、「居宅介護（ホームヘルプ）」（19.7時間）、「施設入所」（30.4日）、「共同生活援助」「自立訓練（生活訓練）」（ともに23日）がそれぞれ多くなっています。

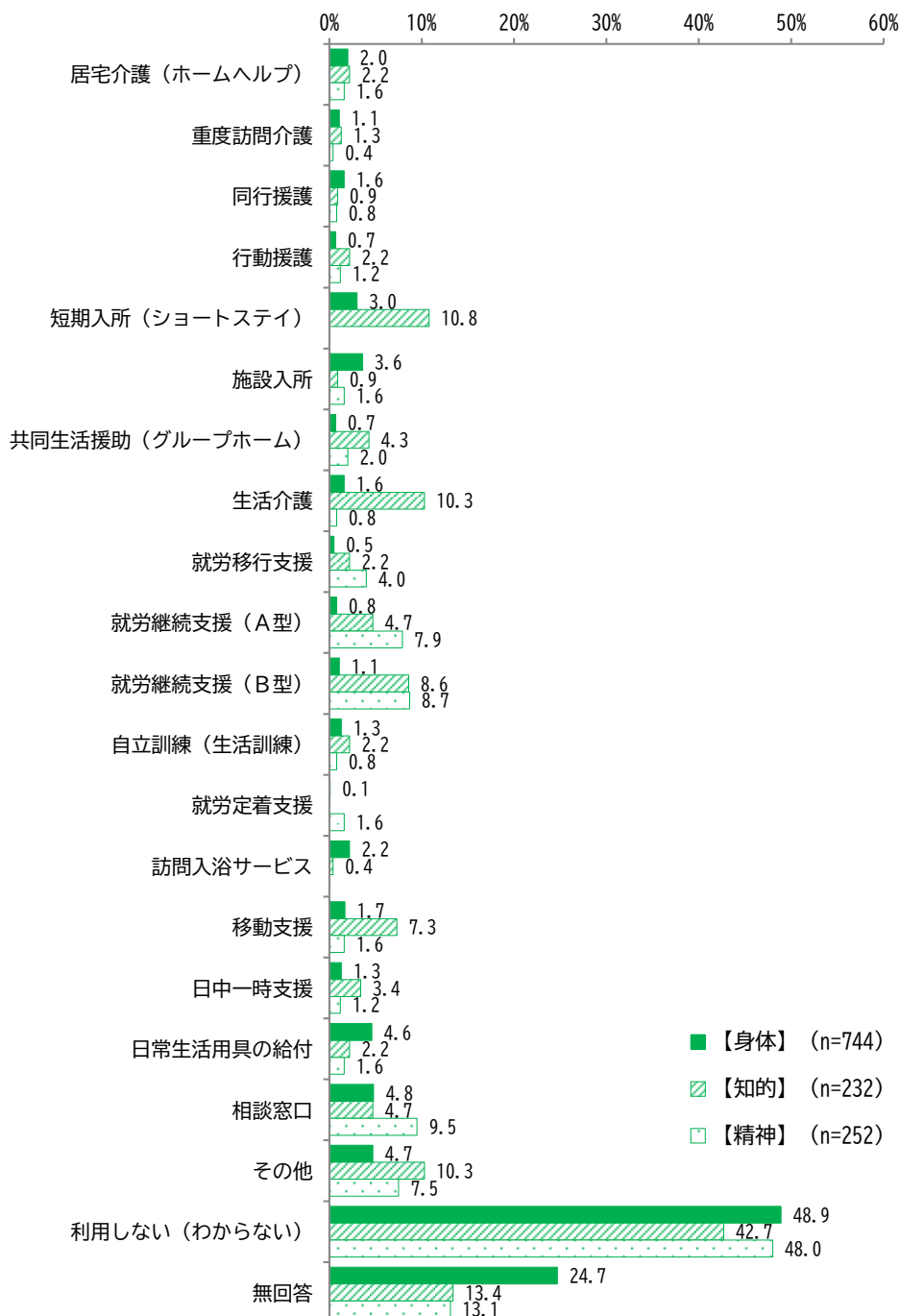
現在利用しているサービス

	単位 ／月	【身体】		【知的】		【精神】	
		件数	平均	件数	平均	件数	平均
居宅介護（ホームヘルプ）	時間	31	12.2	9	19.1	3	19.7
重度訪問介護	時間	10	7.7	4	21.0	1	4.0
同行援護	時間	6	8.3	-	-	-	-
行動援護	時間	1	4.0	4	14.8	-	-
短期入所（ショートステイ）	日	22	7.2	22	6.9	2	13.5
施設入所	日	31	26.6	1	31.0	5	30.4
共同生活援助（グループホーム）	日	7	30.3	12	26.3	4	23.0
生活介護	日	11	22.2	25	20.8	-	-
就労移行支援	日	1	1.0	2	14.5	8	15.4
就労継続支援（A型）	日	5	18.8	12	19.9	11	18.1
就労継続支援（B型）	日	12	19.3	24	19.9	31	18.1
自立訓練（生活訓練）	日	13	10.1	3	14.0	1	23.0
就労定着支援	日	-	-	-	-	4	2.5
訪問入浴サービス	日	13	8.6	3	5.0	-	-
移動支援	時間	6	14.8	12	17.7	1	20.0
日中一時支援	時間	11	41.6	12	34.3	-	-

6-2 今後も利用したい、利用量を増やしたいサービス ……………

問 現在利用しているサービスのうち、今後も利用したいもの、あるいはサービスの量を増やしたいと考えているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)【身体・知的・精神】

- ▶ 何らかのサービスを利用したい（利用量を増やしたい）人の割合（全体から「利用しない（わからない）」と無回答を除いた割合）は【身体】で26.4%、【知的】で43.9%、【精神】で38.9%となっています。
- ▶ 利用したいサービスは、【身体】では「相談窓口」（4.8%）、【知的】では「短期入所（ショートステイ）」（10.8%）、【精神】では「相談窓口」（9.5%）がそれぞれ最も高くなっています。



▶ 利用したい（利用を増やしたい）サービス量（時間・日数）の平均は、【身体】では「日中一時支援」（34.3時間）、「同行援護」（21.8時間）、「共同生活援助（グループホーム）」（30.5日）、「施設入所」（28日）、【知的】では「日中一時支援」（35時間）、「重度訪問介護」（26時間）、「施設入所」（31日）、「共同生活援助」（28.7日）、【精神】では「居宅介護（ホームヘルプ）」（18.7時間）、「重度訪問介護」（4時間）、「施設入所」「共同生活援助」（ともに30.3日）がそれぞれ多くなっています。

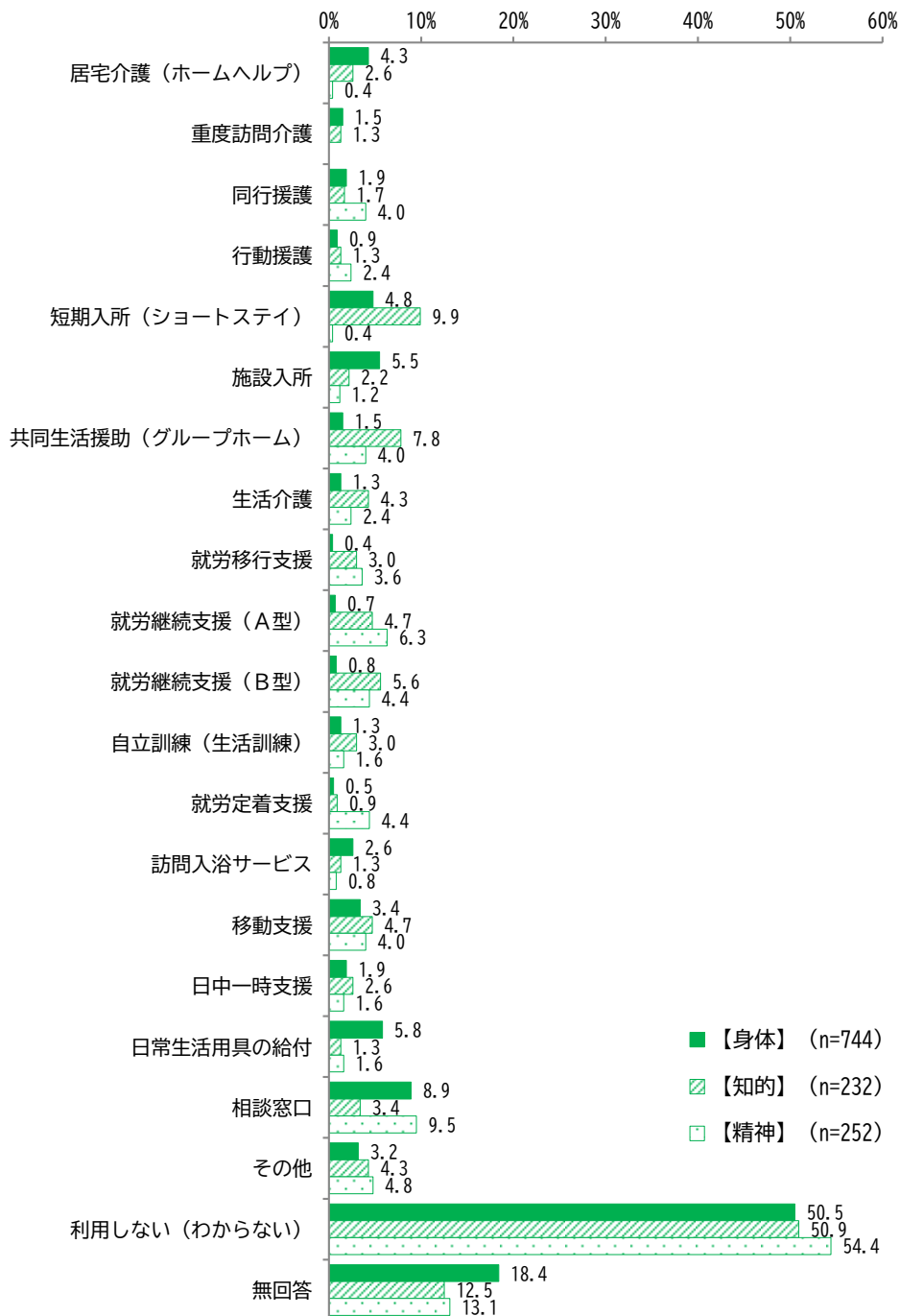
今後も利用したい、利用量を増やしたいサービス

	単位 ／月	【身体】		【知的】		【精神】	
		件数	平均	件数	平均	件数	平均
居宅介護（ホームヘルプ）	時間	12	8.2	5	24.4	3	18.7
重度訪問介護	時間	3	10.7	2	26.0	1	4.0
同行援護	時間	9	21.8	1	4.0	-	-
行動援護	時間	2	12.0	4	14.8	1	2.0
短期入所（ショートステイ）	日	16	8.6	17	7.3	-	-
施設入所	日	21	28.0	1	31.0	3	30.3
共同生活援助（グループホーム）	日	2	30.5	6	28.7	3	30.3
生活介護	日	10	20.0	17	21.7	2	2.5
就労移行支援	日	1	2.0	3	13.7	6	14.3
就労継続支援（A型）	日	4	16.8	8	22.3	11	18.4
就労継続支援（B型）	日	3	19.3	12	22.5	16	18.4
自立訓練（生活訓練）	日	6	15.0	3	9.7	2	19.0
就労定着支援	日	-	-	-	-	2	1.0
訪問入浴サービス	日	13	8.2	1	10.0	-	-
移動支援	時間	2	2.0	13	16.5	3	3.0
日中一時支援	時間	9	34.3	4	35.0	-	-

6-3 現在利用していないが今後利用したいサービス……………

問 現在は利用していないが、将来（5年後までに）利用したいと考えているサービスは何ですか。また、希望するサービス量もお答えください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）【身体・知的・精神】

- ▶ 何らかのサービスを今後新規に利用したい人の割合（全体から「利用しない（わからない）」と無回答を除いた割合）は【身体】で31.1%、【知的】で36.6%、【精神】で32.5%となっています。
- ▶ 新規に利用したいサービスは、【身体】では「相談窓口」（8.9%）、【知的】では「短期入所（ショートステイ）」（9.9%）、【精神】では「相談窓口」（9.5%）がそれぞれ最も高くなっています。



- 今後新規に利用したいサービス量（時間・日数）の平均は、【身体】では「居宅介護（ホームヘルプ）」（18.2時間）、「重度訪問介護」（17.3時間）、「施設入所」（27.2日）、「就労継続支援（A型）」（19日）、【知的】では「居宅介護」（21.2時間）、「日中一時支援」（18.5時間）、「施設入所」（25.5日）、「共同生活援助（グループホーム）」（21.9日）、【精神】では「日中一時支援」（60時間）、「同行援護」（18時間）、「施設入所」（31日）、「共同生活援助」（30.6日）がそれぞれ多くなっています。

現在利用していないが今後利用したいサービス

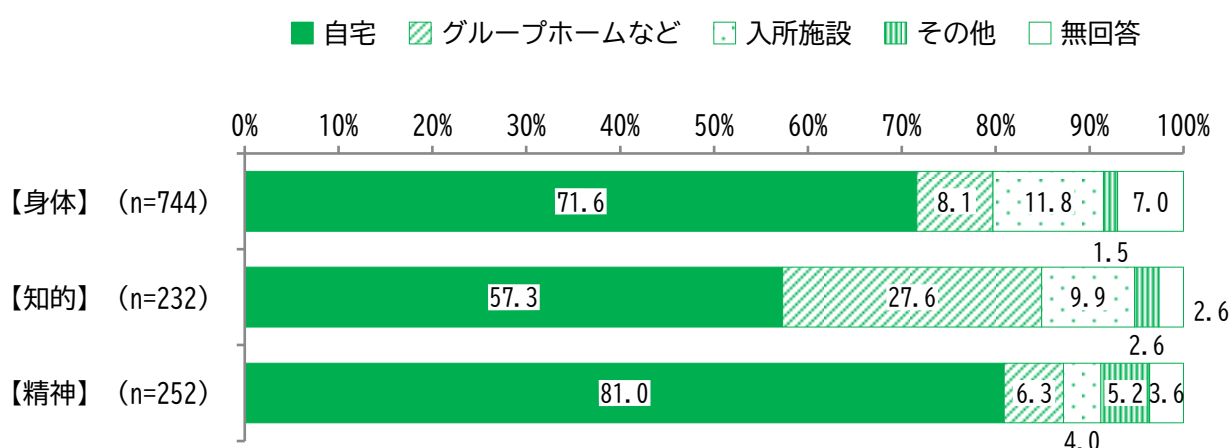
	単位 ／月	【身体】		【知的】		【精神】	
		件数	平均	件数	平均	件数	平均
居宅介護（ホームヘルプ）	時間	23	18.2	6	21.2	1	10.0
重度訪問介護	時間	7	17.3	3	16.0	-	-
同行援護	時間	11	13.9	2	3.5	2	18.0
行動援護	時間	5	15.0	2	13.5	2	15.5
短期入所（ショートステイ）	日	19	7.0	15	5.5	1	4.0
施設入所	日	17	27.2	2	25.5	1	31.0
共同生活援助（グループホーム）	日	5	10.4	10	21.9	5	30.6
生活介護	日	5	18.0	8	19.8	3	11.7
就労移行支援	日	-	-	2	16.0	5	18.6
就労継続支援（A型）	日	2	19.0	5	20.0	12	17.8
就労継続支援（B型）	日	2	17.5	6	19.2	7	14.6
自立訓練（生活訓練）	日	3	14.3	3	9.7	2	9.0
就労定着支援	日	3	10.7	1	2.0	7	5.0
訪問入浴サービス	日	14	7.5	2	10.0	1	4.0
移動支援	時間	11	16.7	8	10.0	4	8.5
日中一時支援	時間	9	15.7	4	18.5	1	60.0

7 今後の生活と必要な支援について

7-1 将来の生活を過ごしたい場所……………

問 あなたは、将来の生活をどこで過ごしたいとお考えですか。(1つに○)【身体・知的・精神】

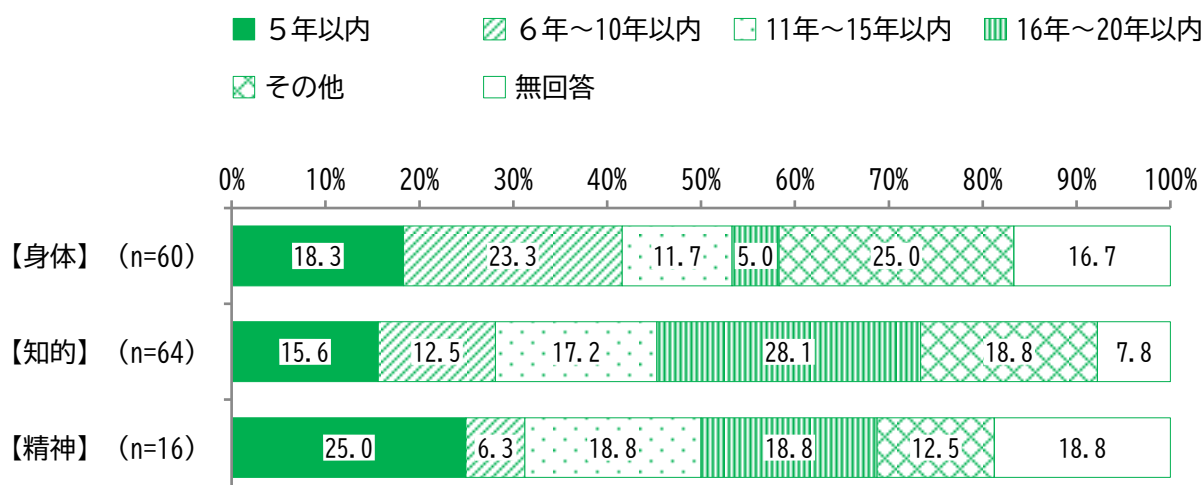
➤ いずれの障がい区分においても「自宅」が過半数で最も高く、次いで【身体】では「入所施設」(11.8%)、【知的】では「グループホームなど」(27.6%)、【精神】では「グループホームなど」(6.3%)が高くなっています。



問「あなたは、将来の生活をどこで過ごしたいとお考えですか。」で「グループホームなど」に○をつけた方のみ

問 いつごろにグループホームなどを利用したいですか。(1つに○)【身体・知的・精神】

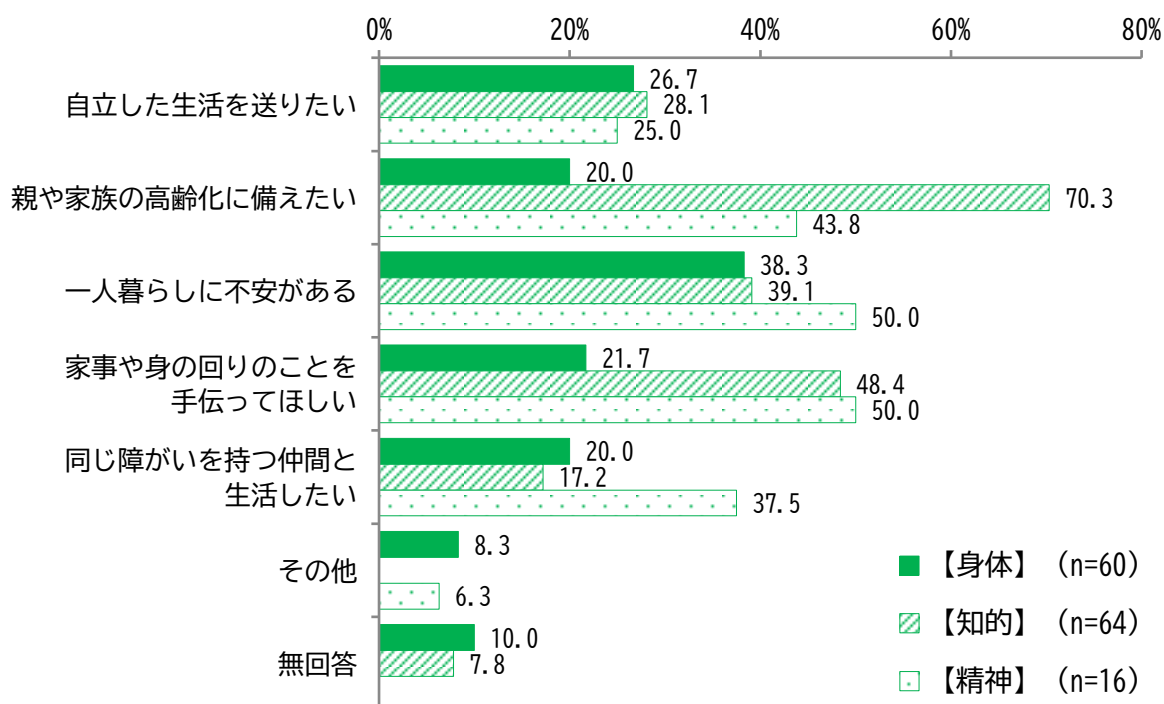
➤ 【身体】では「その他」(25.0%)、【知的】では「16年～20年以内」(28.1%)、【精神】では「5年以内」(25.0%)がそれぞれ最も高くなっています。



問「あなたは、将来の生活をどこで過ごしたいとお考えですか。」で「グループホームなど」に○をつけた方のみ

問 グループホームなどの利用を希望する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
【身体・知的・精神】

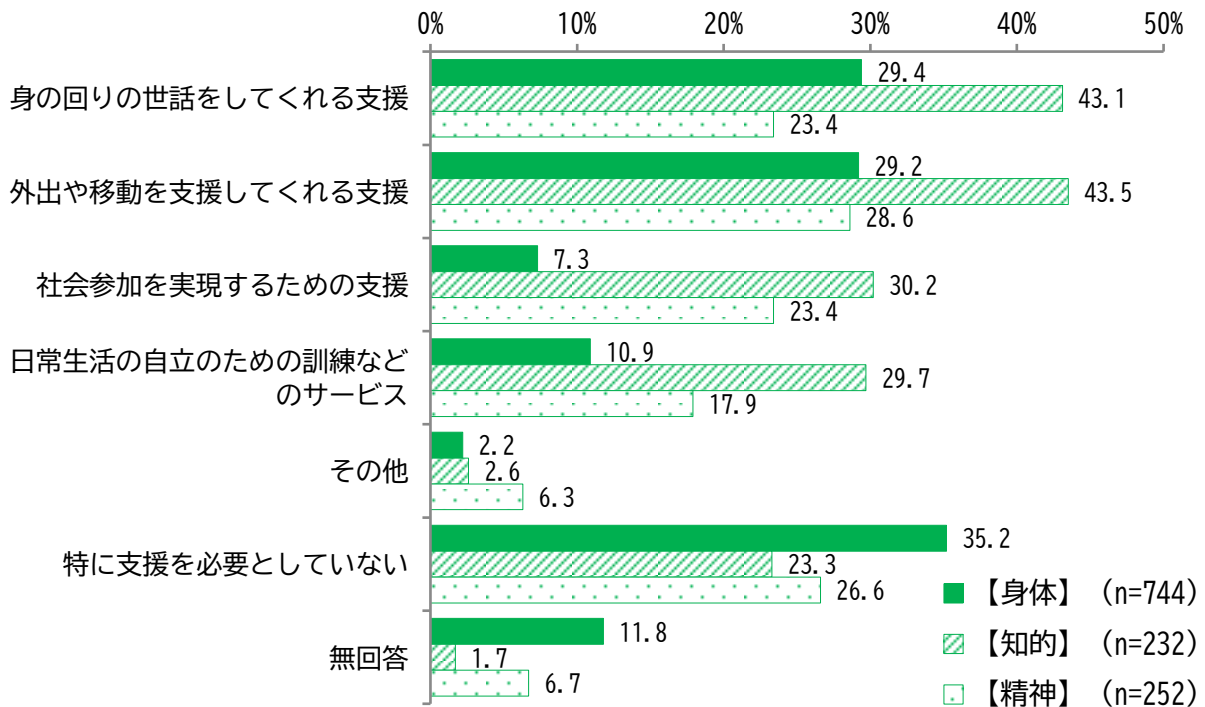
➤ 【身体】では「一人暮らしに不安がある」(38.3%)、【知的】では「親や家族の高齢化に備えたい」(70.3%)、【精神】では「一人暮らしに不安がある」「家事や身の回りのことを手伝ってほしい」(ともに50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。



7-2 日常生活に必要な支援やサービス……………

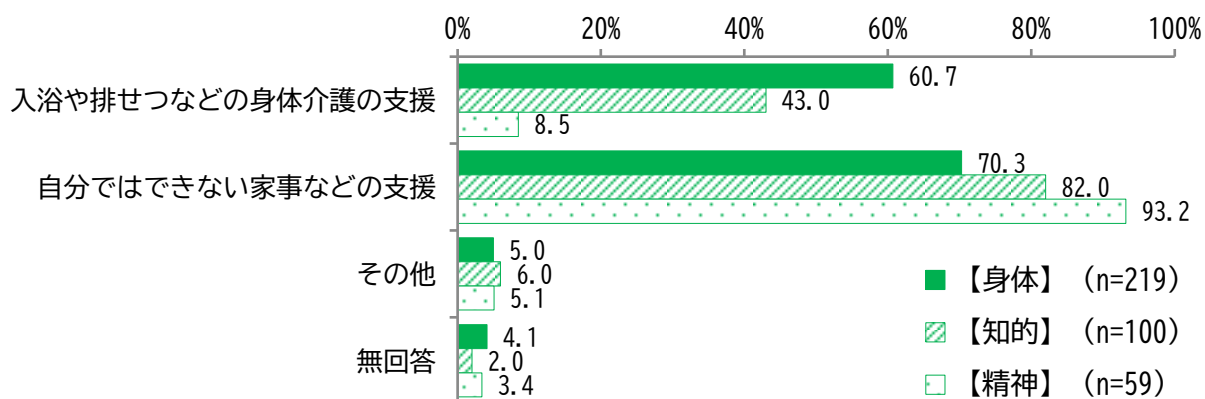
問 あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どんな支援やサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

- ▶ 何らかの支援やサービスが必要だと思う人の割合(全体から「特に支援を必要としていない」と無回答を除いた割合)は、【身体】で 53.0%、【知的】で 75.0%、【精神】で 66.7%となっています。
- ▶ 必要だと思う支援は、【身体】では「身の回りの世話をしてくれる支援」(29.4%)、【知的】では「外出や移動を支援してくれる支援」(43.5%)、【精神】では「外出や移動を支援してくれる支援」(28.6%)がそれぞれ最も高くなっています。



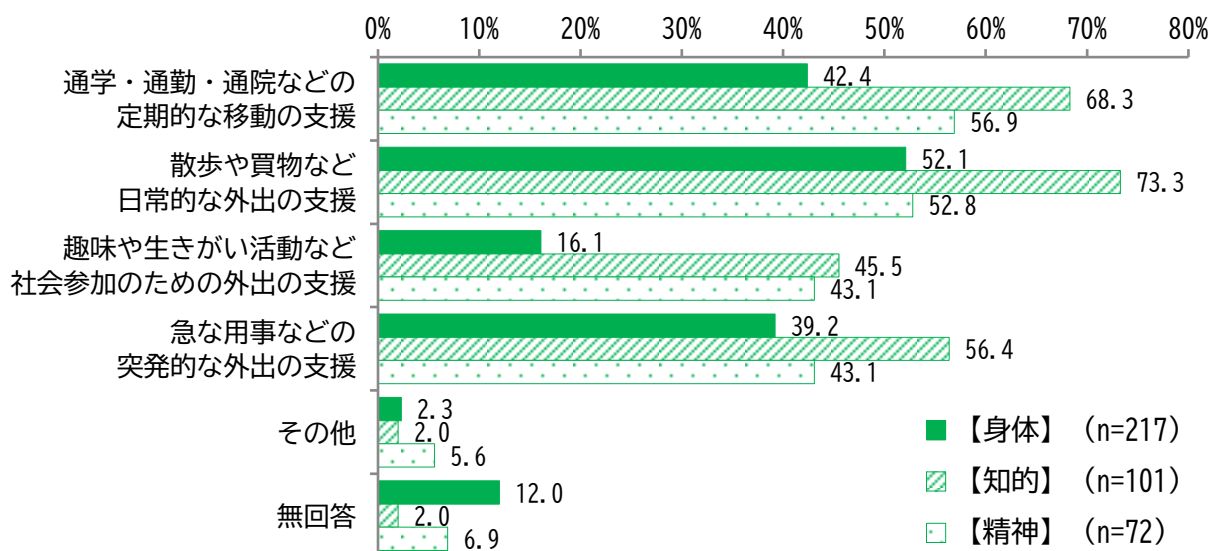
問「あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どんな支援やサービスが必要だと思いますか。」で「身の回りの世話をしてくれる支援」に○をつけた方のみ
 問 どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

➤ 必要な「身の回りの世話をしてくれる支援」は、いずれの障がい区分においても「自分ではできない家事などの支援」が7割以上で最も高くなっています。



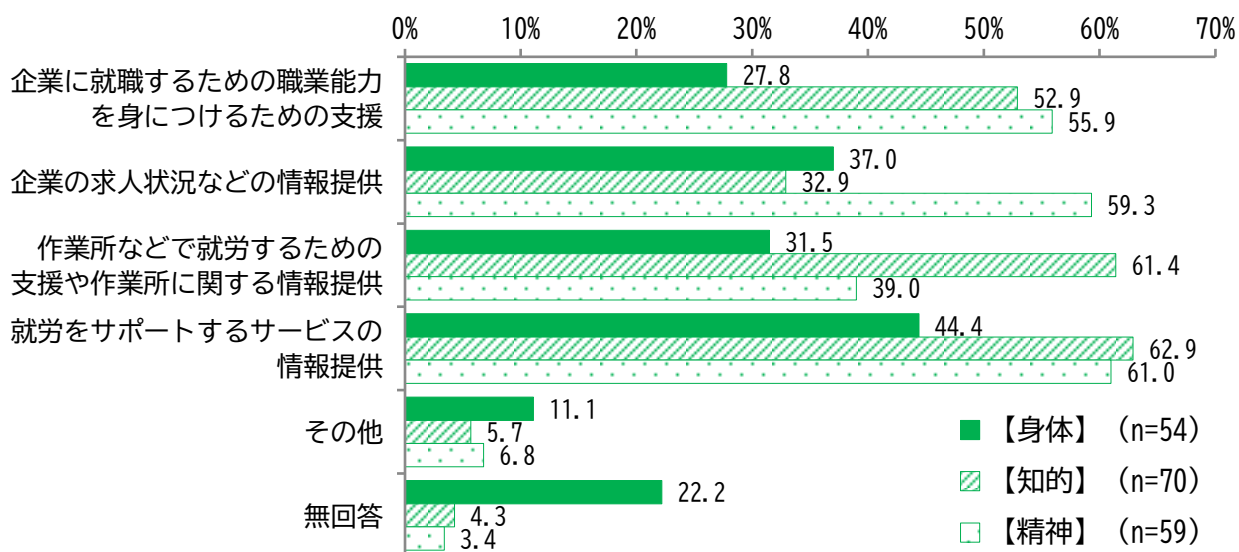
問「あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どんな支援やサービスが必要だと思いますか。」で「外出や移動を支援してくれる支援」に○をつけた方のみ
 問 どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

➤ 必要な「外出や移動を支援してくれる支援」は、【身体】【知的】では「散歩や買物など日常的な外出の支援」、【精神】では「通学・通勤・通院などの定期的な移動の支援」(56.9%)がそれぞれ最も高くなっています。



問「あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どんな支援やサービスが必要だと思いますか。」で「社会参加を実現するための支援」に○をつけた方のみ
 問 どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

➤ 必要な「社会参加を実現するための支援」は、いずれの障がい区分においても「就労をサポートするサービスの情報提供」が最も高くなっています。

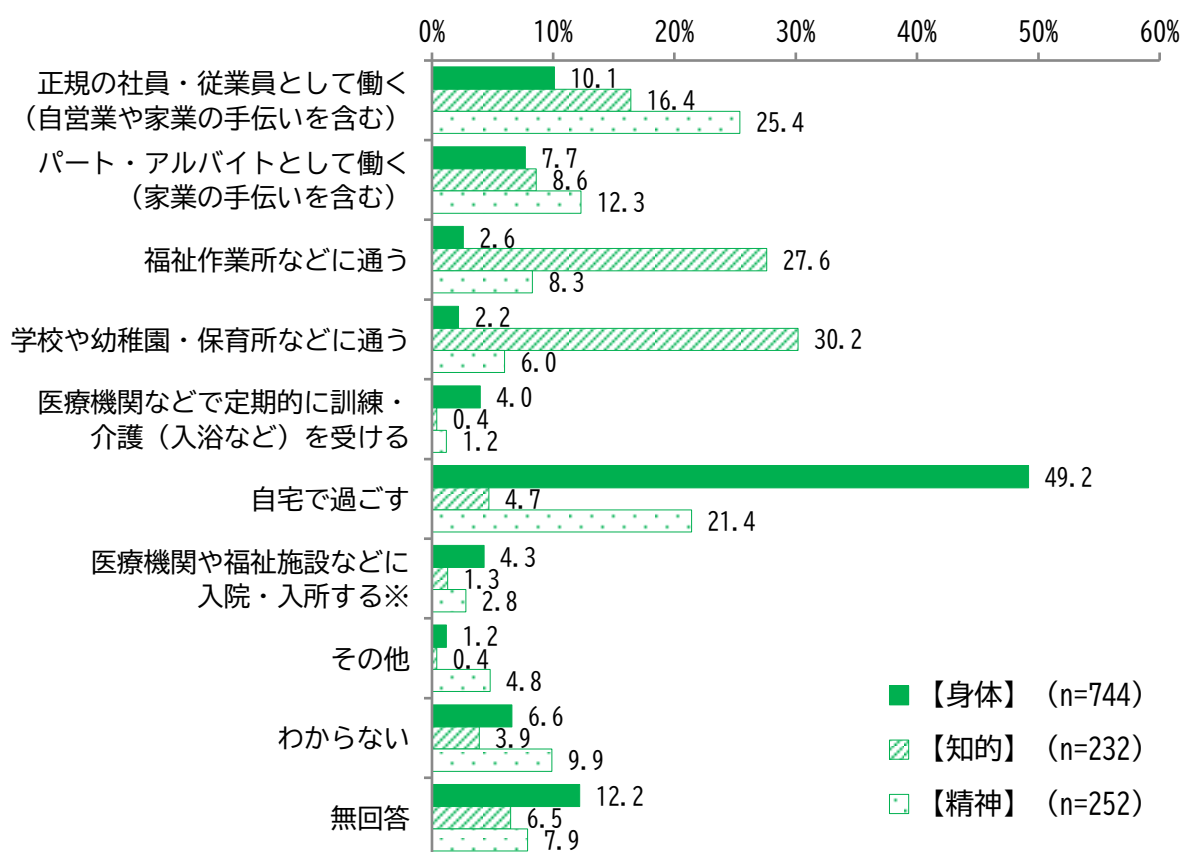


8 日中の過ごし方と働くために必要な環境について

8-1 今後希望する日中の過ごし方……………

問 あなたは、今後、日中どのように過ごしたいですか。(1つに○)【身体・知的・精神】

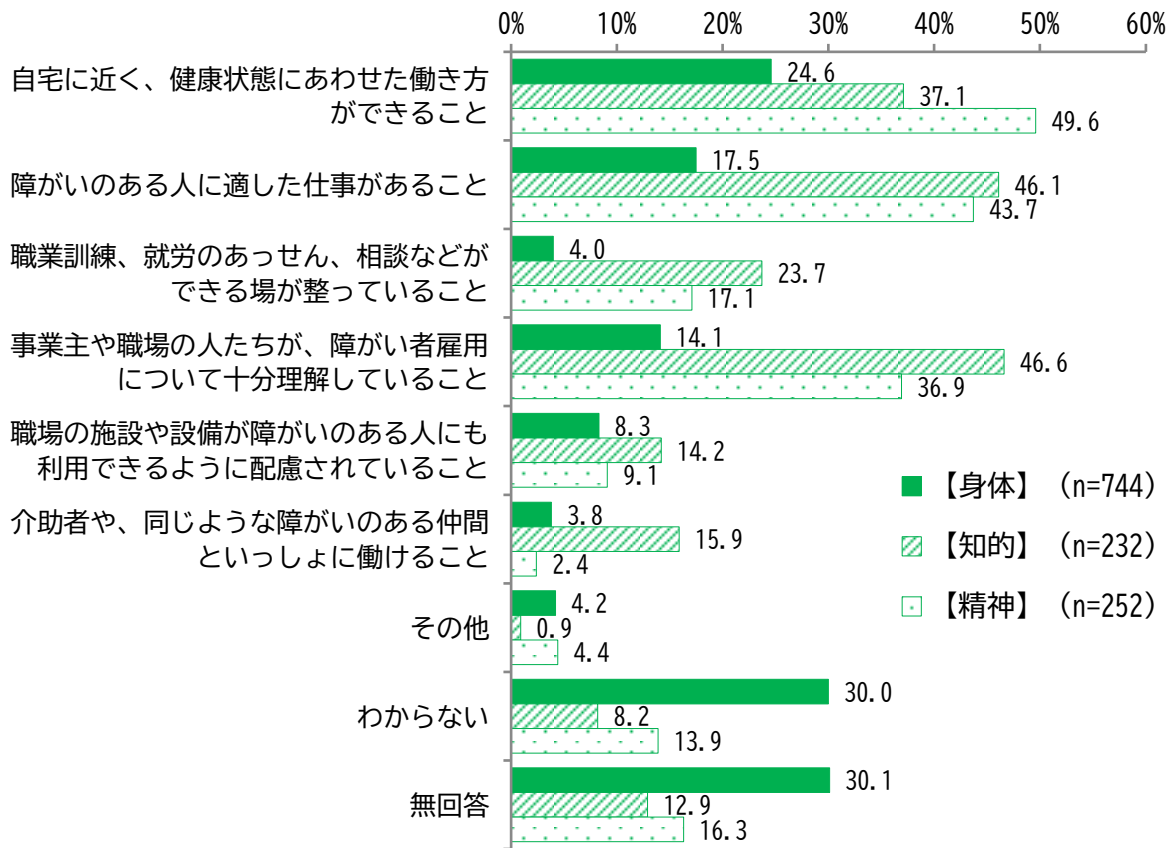
➤ 【身体】では「自宅で過ごす」(49.2%)、【知的】では「学校や幼稚園・保育所などに通う」(30.2%)、【精神】では「正規の社員・従業員として働く(自営業や家業の手伝いを含む)」(25.4%)がそれぞれ最も高くなっています。



8-2 働くために必要な環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 あなたが（未成年の方は将来）働くために、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。（主にあてはまるもの3つまで○）【身体・知的・精神】

➤ 【身体】では「わからない」（30.0%）、【知的】では「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」（46.6%）、【精神】では「自宅に近く、健康状態にあわせた働き方ができること」（49.6%）がそれぞれ最も高くなっています。

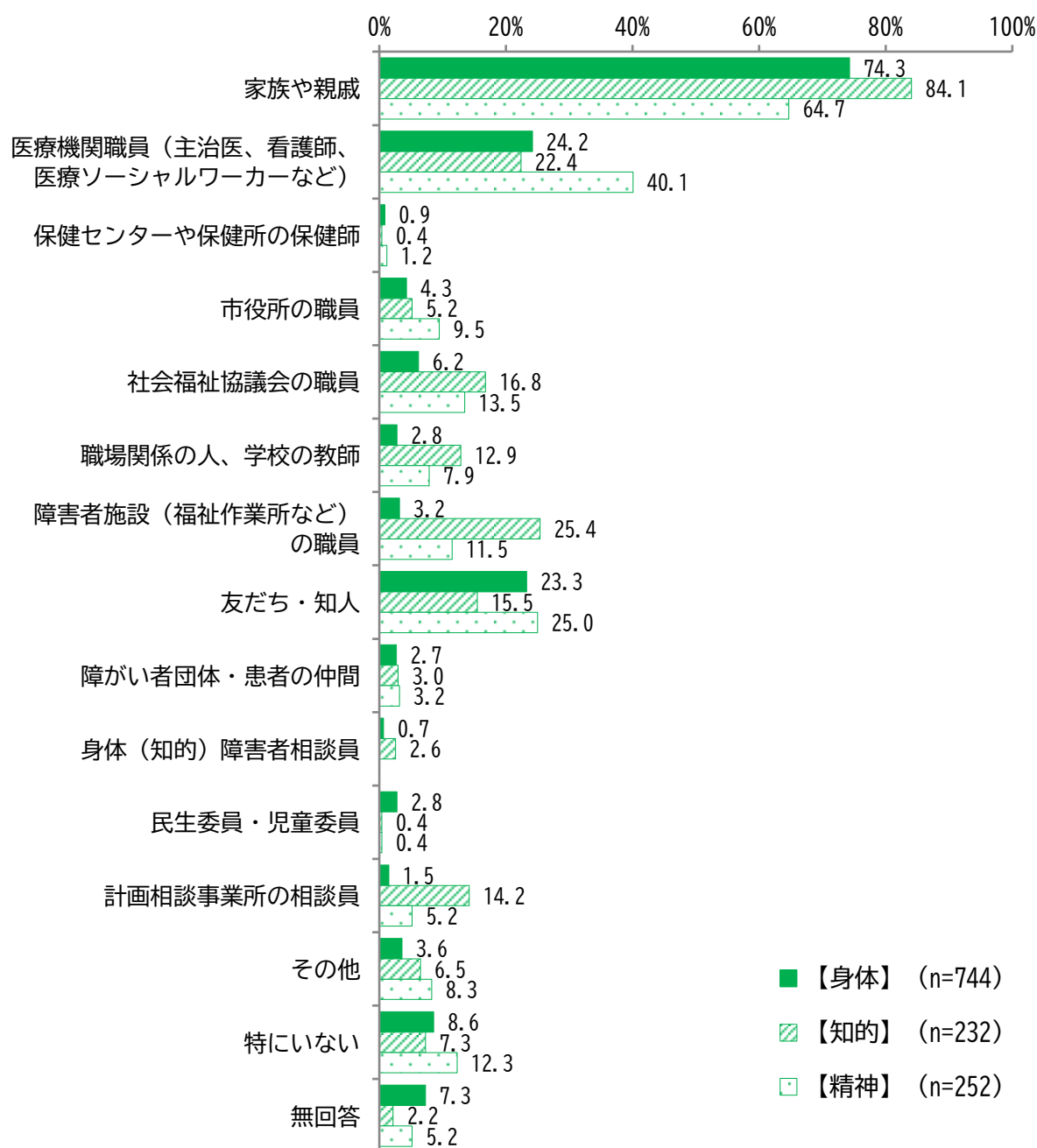


9 相談ごとについて

9-1 悩みごとの相談相手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 あなたには、悩みごとや心配ごとを相談できる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「家族や親戚」が6割以上で最も高く、次いで【身体】では「医療機関職員」(24.2%)、【知的】では「障害者施設の職員」(25.4%)、【精神】では「医療機関職員」(40.1%)がそれぞれ高くなっています。

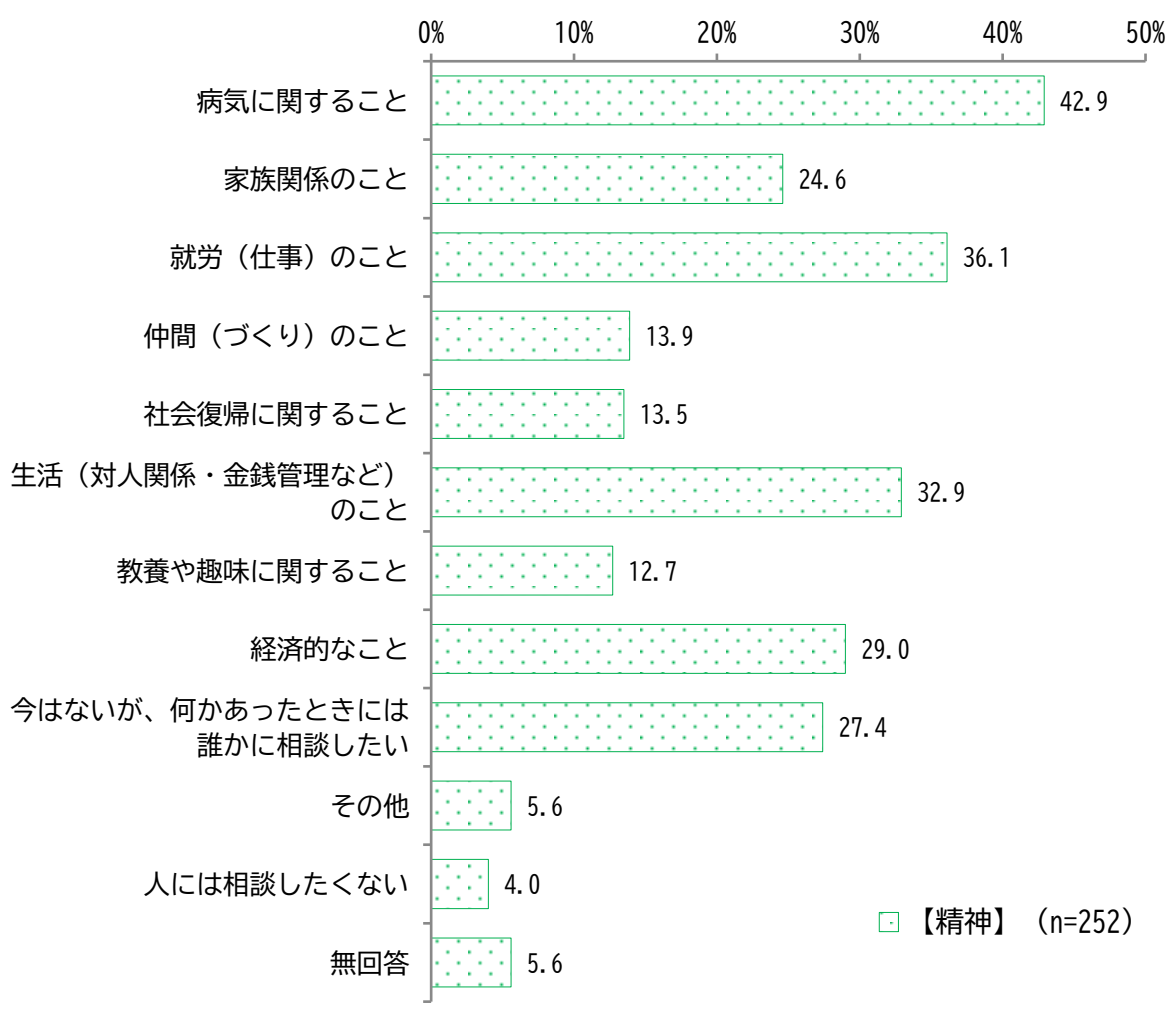


※【精神】では「身体 (知的) 障害者相談員」の選択肢はなし。

9-2 相談したいと思うこと……………

問 あなたが相談したいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)【精神】

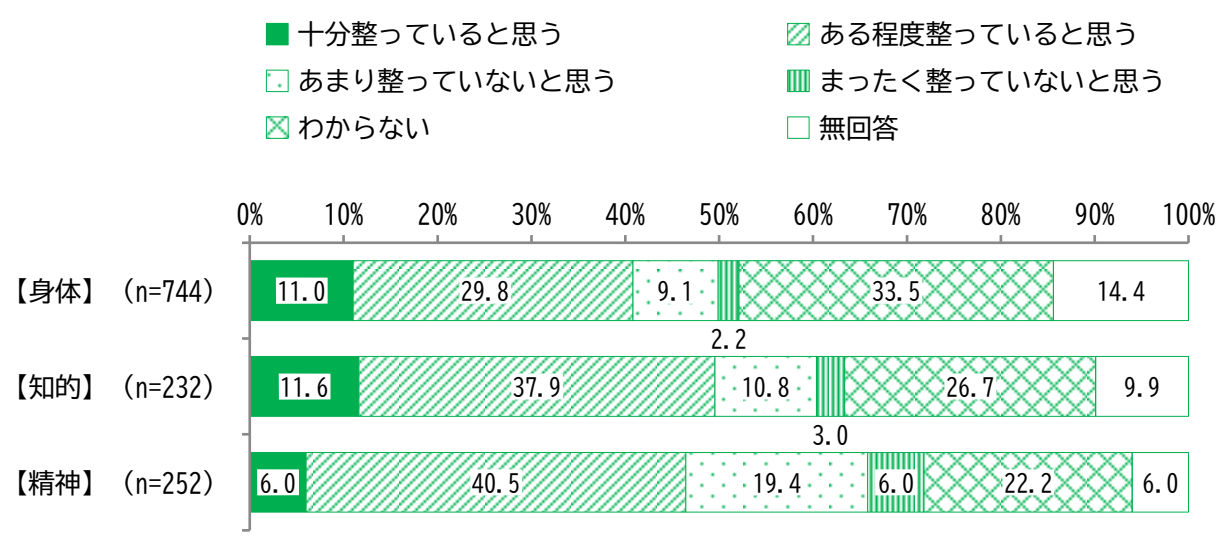
➤ 相談したいと思うことは、【精神】では「病気に関すること」(42.9%)が最も高く、次いで「就労(仕事)のこと」(36.1%)、「生活(対人関係・金銭管理など)のこと」(32.9%)が高くなっています。



9-3 相談体制の整備について……………

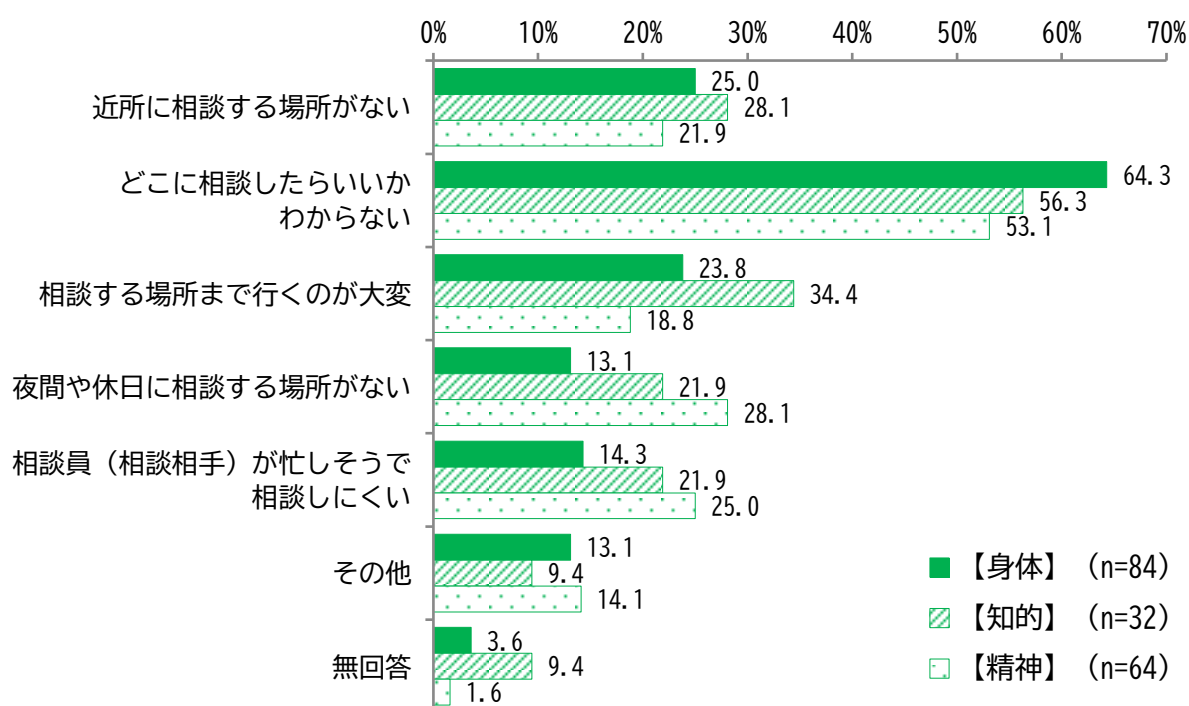
問 困っていることについて相談しやすい体制が整っていると思いますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

- 【身体】では「わからない」(33.5%)が最も高く、【知的】【精神】では「ある程度整っていると思う」が4割前後で最も高くなっています。
- 『整っていると思う』(「十分整っていると思う」「ある程度整っていると思う」の計)は【身体】で40.8%、【知的】で49.5%、【精神】で46.5%となっています。一方、『整っていないと思う』(「まったく整っていないと思う」「あまり整っていないと思う」の計)は【身体】で11.3%、【知的】で13.8%、【精神】で25.4%となっており、いずれの障がい区分においても『整っていると思う』が『整っていないと思う』を大きく上回っています。



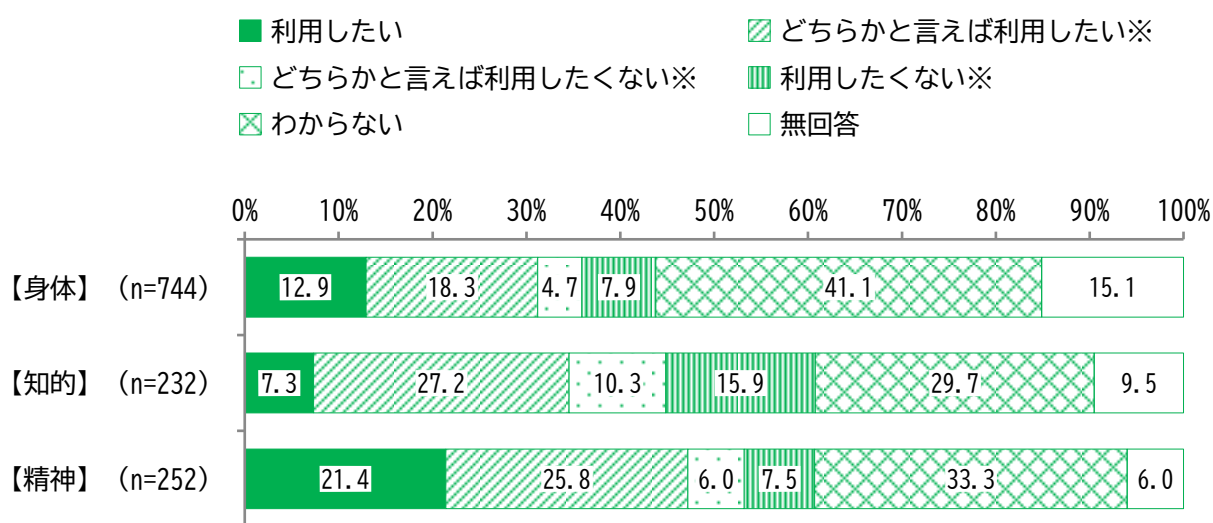
問「困っていることについて相談しやすい体制が整っていると思いますか。」で「あまり整っていないと思う」、「まったく整っていないと思う」に○をつけた方のみ
 問 相談しやすい体制が整っていないと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「どこに相談したらいいかわからない」が5割以上で最も高く、次いで【身体】では「近所に相談する場所がない」(25.0%)、【知的】では「相談する場所まで行くのが大変」(34.4%)、【精神】では「夜間や休日に相談する場所がない」(28.1%)がそれぞれ高くなっています。



問 今後、オンラインの相談や支援サービスがあれば、それを利用したいと思いますか。
 (家族や介助者の助けを借りての利用を含む) (1つに○) 【身体・知的・精神】

- いずれの障がい区分においても「わからない」が最も高く、次いで「どちらかと言えば利用したい」が高くなっています。
- 『利用したい』(「利用したい」「どちらかと言えば利用したい」の計)は【身体】で31.2%、【知的】で34.5%、【精神】で47.2%となっています。一方、『利用したくない』(「利用したくない」「どちらかと言えば利用したくない」の計)は【身体】で12.6%、【知的】で26.2%、【精神】で13.5%となっており、いずれの障がい区分においても『利用したい』が『利用したくない』を上回っています。

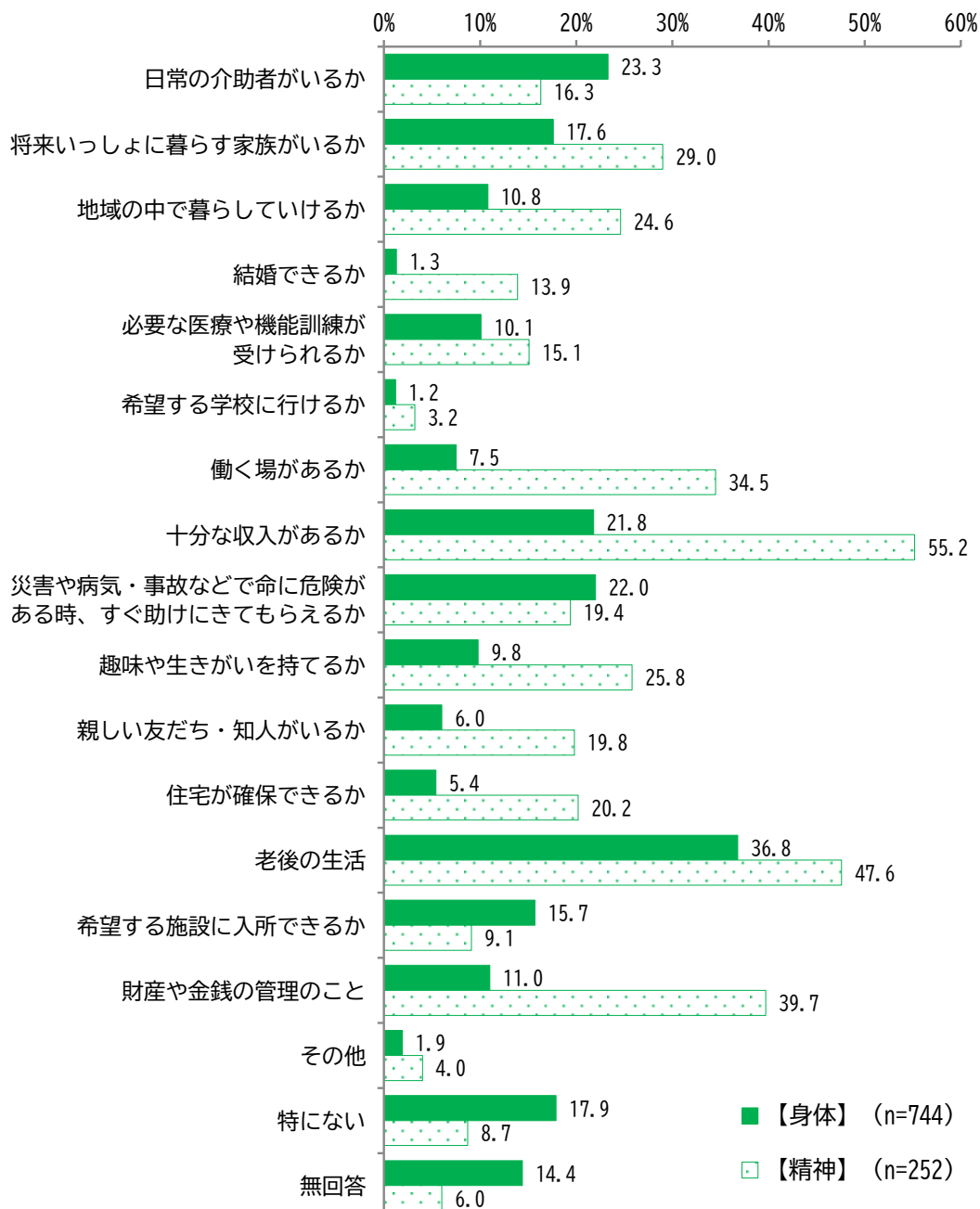


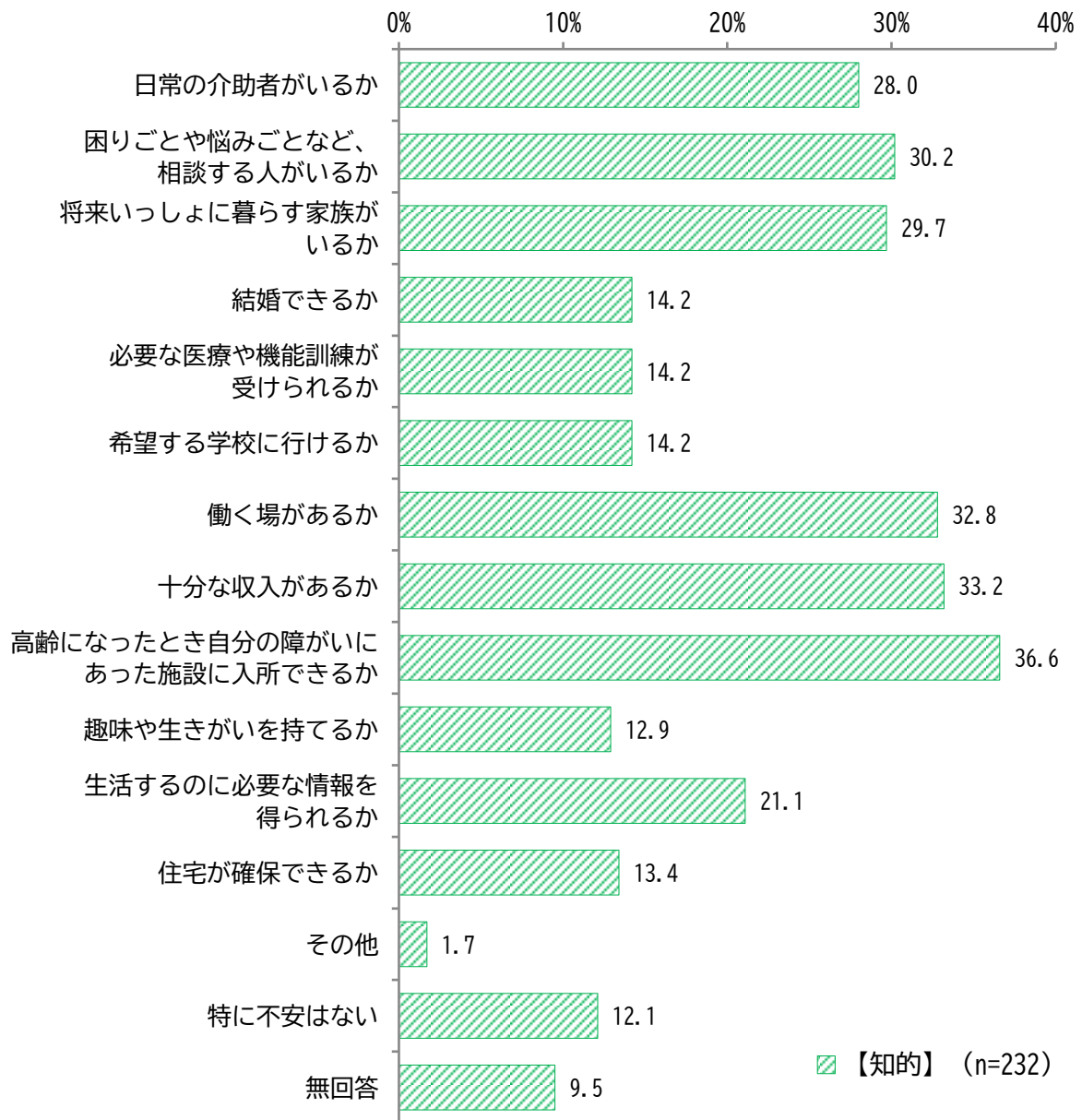
※【知的】では「どちらかと言えば利用したい」は「条件があれば利用したい」、「どちらかと言えば利用したくない」は「あまり利用したいとは思わない」、「利用したくない」は「利用しない」。

9-4 将来のことで特に不安に感じていること……………

問 将来のことで、特に不安に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
【身体・知的・精神】

- 【身体】では「老後の生活」(36.8%)が最も高く、次いで「日常の介助者がいるか」(23.3%)、「災害や病気・事故などで命に危険がある時、すぐ助けにきてもらえるか」(22.0%)が高くなっています。
- 【知的】では「高齢になったとき自分の障がいにあった施設に入所できるか」(36.6%)が最も高く、次いで「十分な収入があるか」(33.2%)、「働く場があるか」(32.8%)が高くなっています。
- 【精神】では「十分な収入があるか」(55.2%)が最も高く、次いで「老後の生活」(47.6%)、「財産や金銭の管理のこと」(39.7%)が高くなっています。



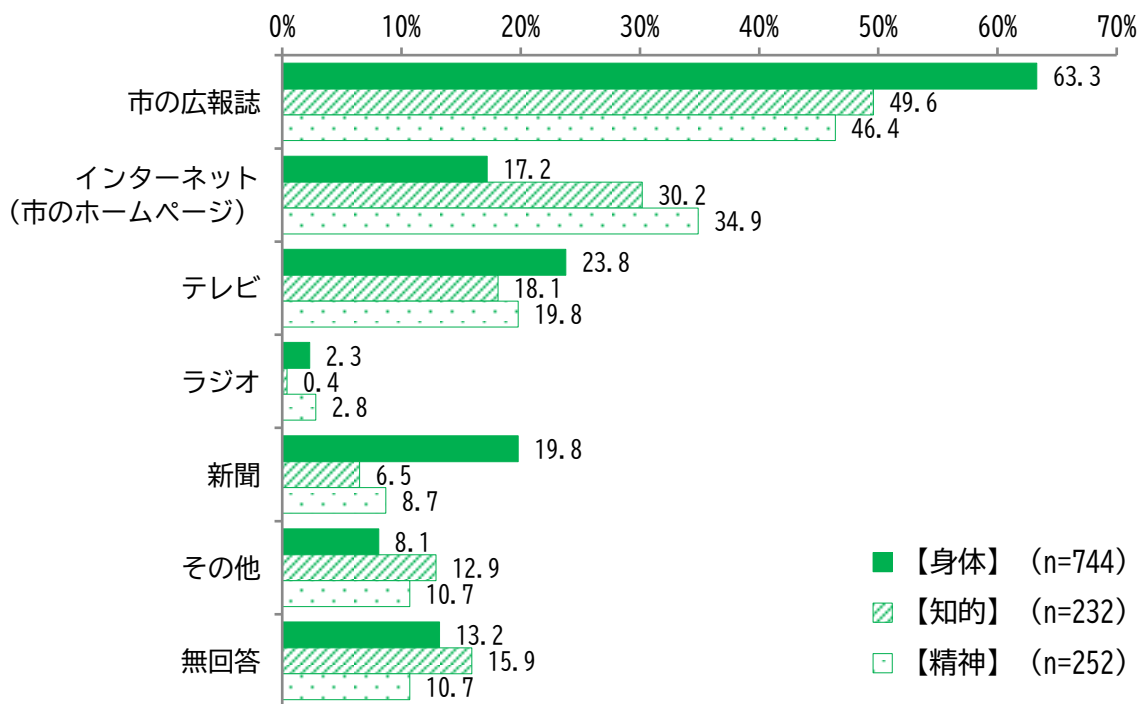


10 情報収集とコミュニケーション手段について

10-1 市政情報の収集方法

問 あなたは、どのような方法で市政についての情報を得ますか。(主にあてはまるもの3つまで○)【身体・知的・精神】

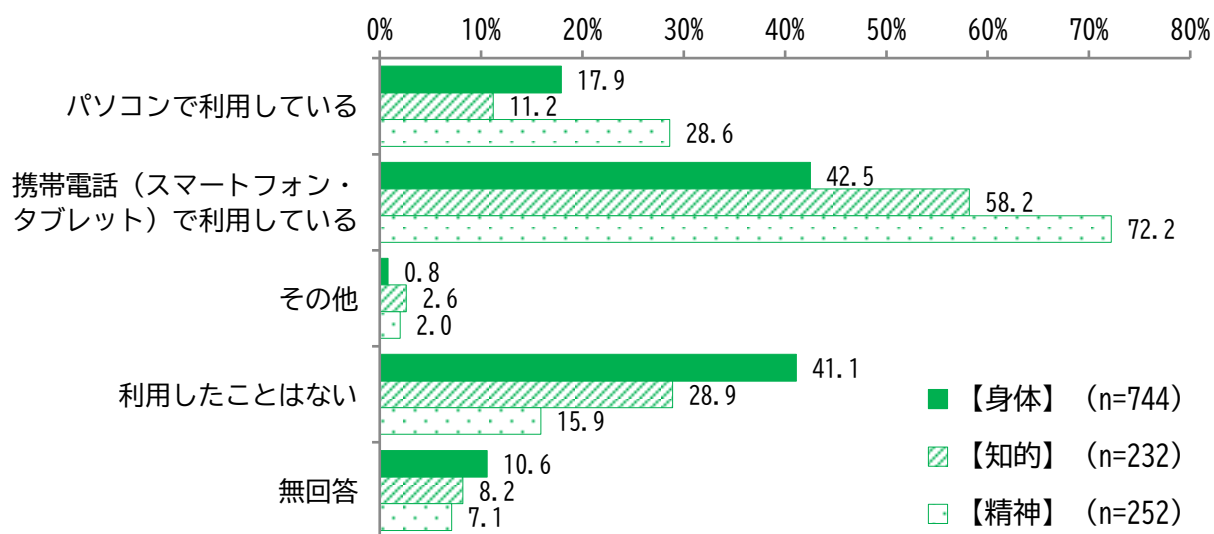
➤ いずれの障がい区分においても「市の広報誌」が最も高く、次いで【身体】では「テレビ」(23.8%)、【知的】【精神】では「インターネット(市のホームページ)」が高くなっています。



10-2 インターネットの利用状況

問 あなたは、家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

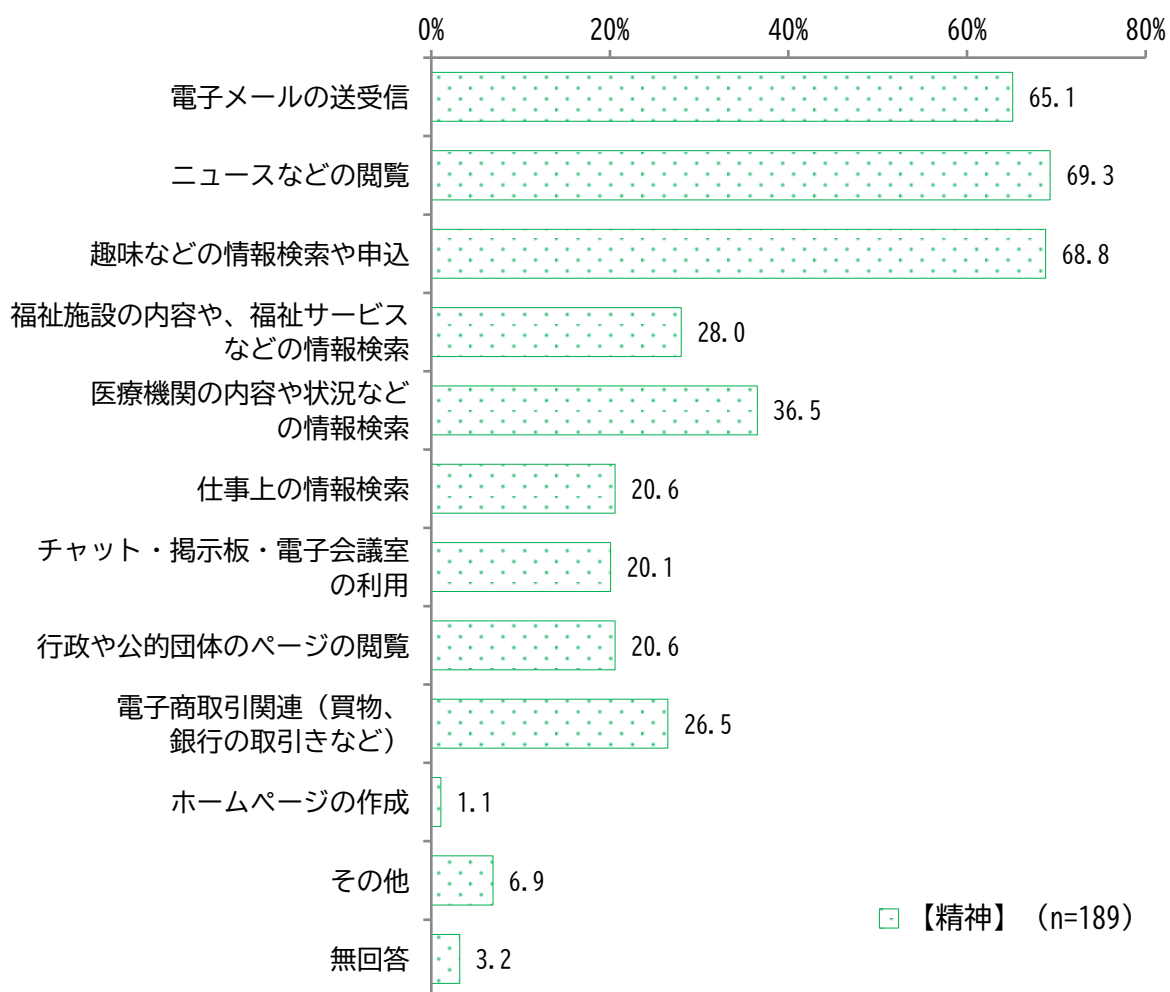
- いずれの障がい区分においても「携帯電話（スマートフォン・タブレット）で利用している」が最も高くなっています。
- 利用することがある人の割合(全体から「利用したことはない」と無回答を除いた割合)は、【身体】で48.3%、【知的】で62.9%、【精神】で77.0%となっています。



問「あなたは、家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。」で「パソコンで利用している」、「携帯電話（スマートフォン・タブレット）で利用している」に○をつけた方のみ

問 インターネットはどのように利用していますか。（あてはまるものすべてに○）【精神】

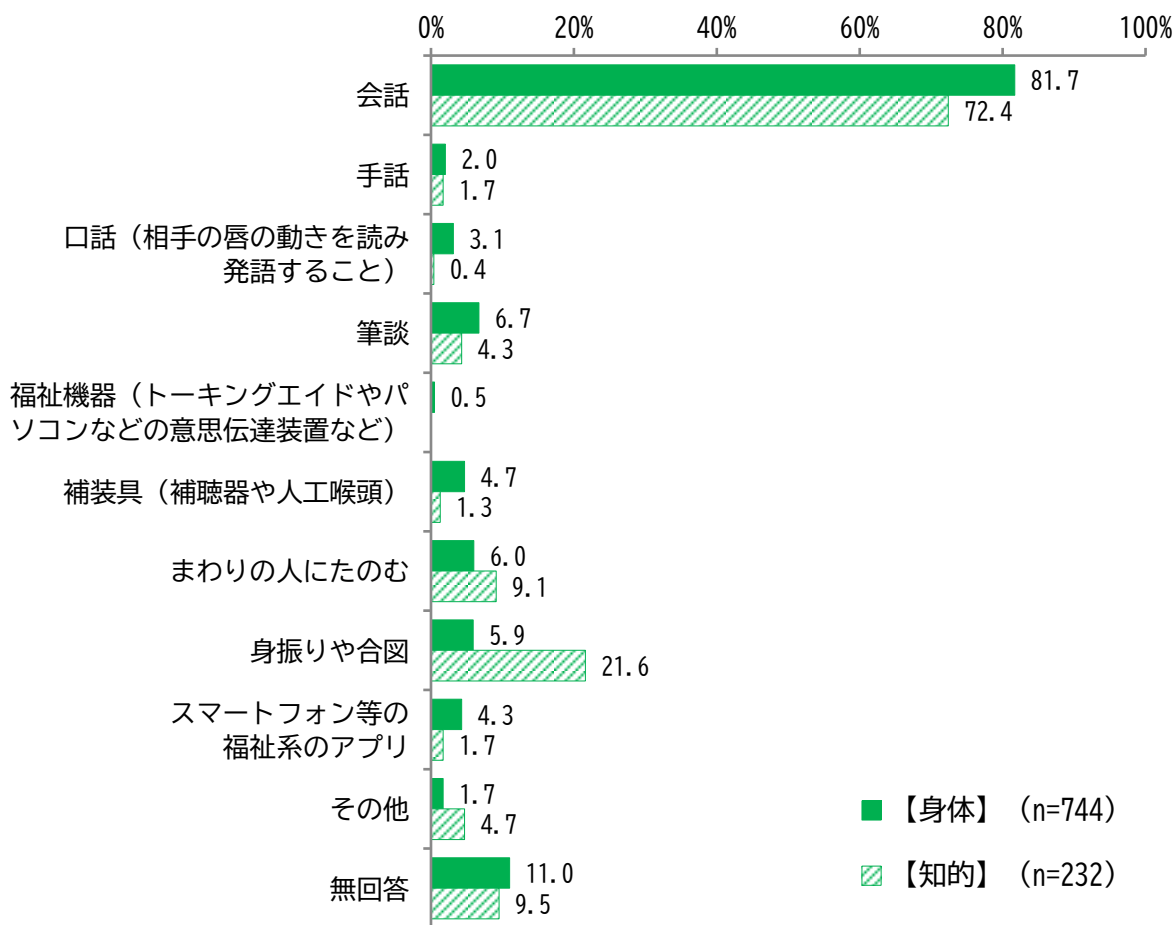
▶ インターネットの利用内容は、【精神】では「ニュースなどの閲覧」（69.3%）が最も高く、次いで「趣味などの情報検索や申込」（68.8%）、「電子メールの送受信」（65.1%）、「医療機関の内容や状況などの情報検索」（36.5%）が高くなっています。



10-3 意思疎通の状況について……………

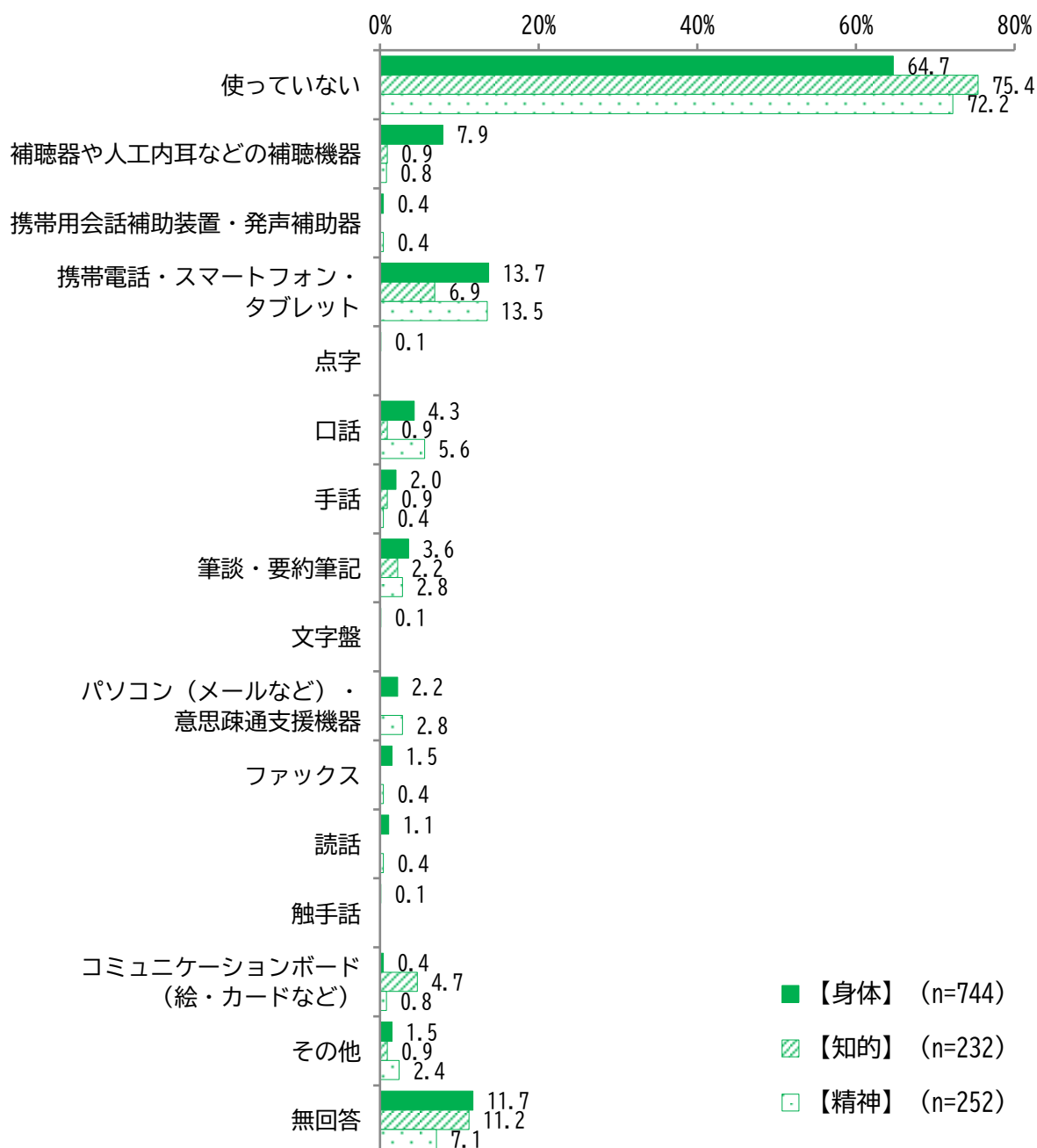
問 あなたは自分の思っていることを相手に伝えたり、相手の思っていることを理解するとき、どのような手段を使いますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的】

➤ 【身体】【知的】ともに「会話」が7割以上で最も高く、次いで【身体】では「筆談」(6.7%)、【知的】では「身振りや合図」(21.6%)がそれぞれ高くなっています。



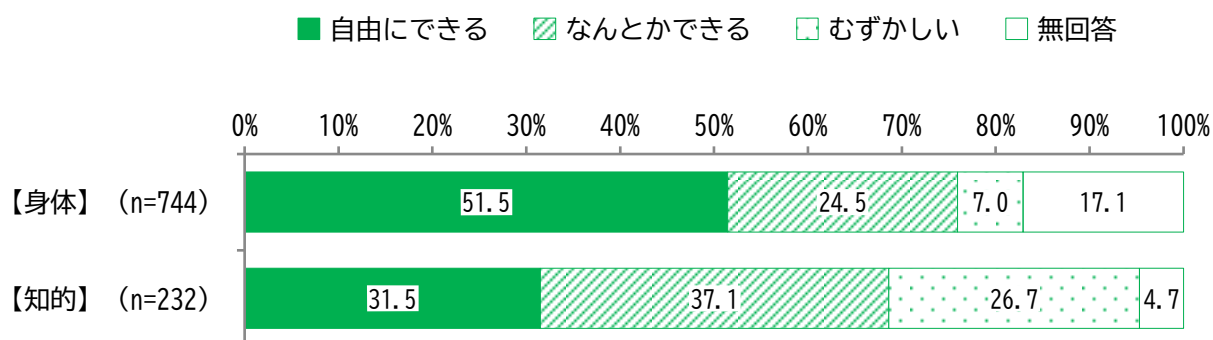
問 あなたは、意思の伝達を図る場合、特別な技術や用具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

- いずれの障がい区分においても「使っていない」が6割以上で最も高く、何らかの特別な技術や用具を使っている人の割合(全体から「使っていない」と無回答を除いた割合)は、【身体】で23.6%、【知的】で13.4%、【精神】で20.7%となっています。
- 使っている特別な技術や用具は、【身体】では「携帯電話など」(13.7%)、「補聴器や人工内耳などの補聴機器」(7.9%)、「口話」(4.3%)、【知的】では「携帯電話など」(6.9%)、「コミュニケーションボード」(4.7%)、「筆談・要約筆記」(2.2%)、【精神】では「携帯電話など」(13.5%)、「口話」(5.6%)、「筆談・要約筆記」「パソコン・意思疎通支援機器」(ともに2.8%)の順でそれぞれ高くなっています。



問 日常のコミュニケーションはスムーズにできますか。(1つに○)【身体・知的】

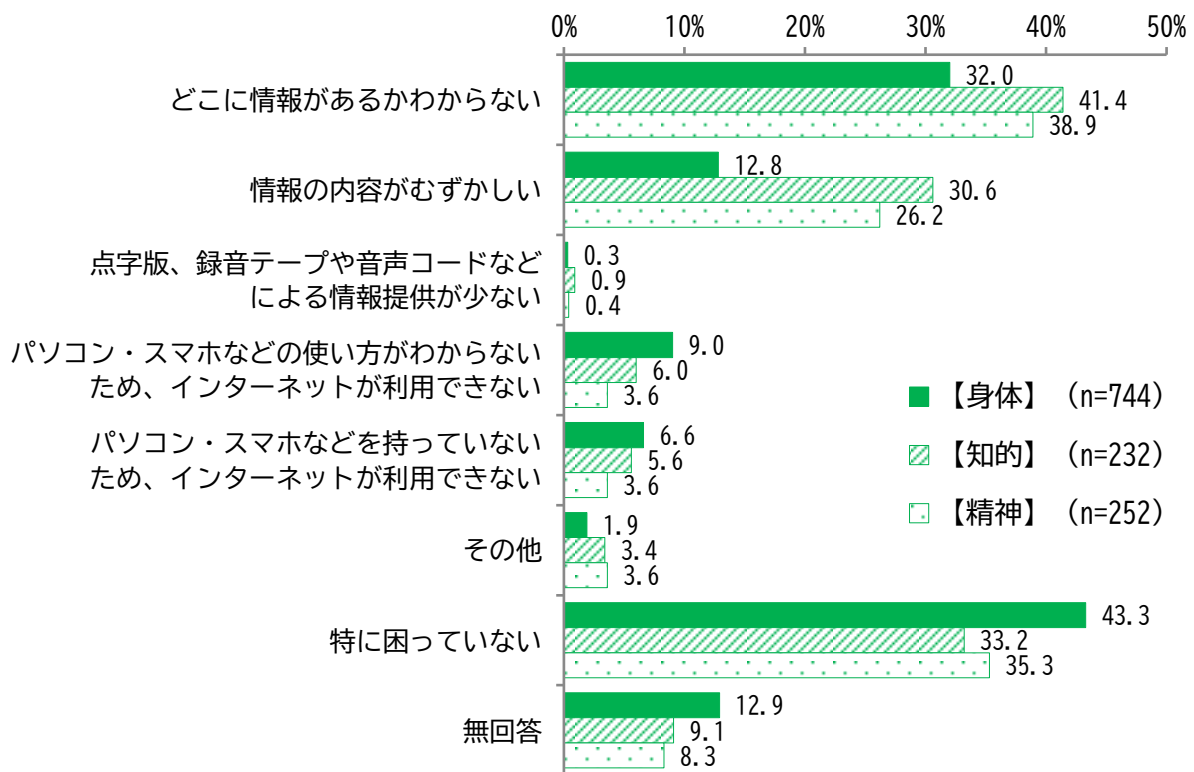
➤ 【身体】では「自由にできる」(51.5%)、【知的】では「なんとかできる」(37.1%)が最も高く、『できる』(「自由にできる」「なんとかできる」の計)は【身体】で76.0%、【知的】で68.6%となっています。また、「むずかしい」は【身体】で7.0%、【知的】で26.7%となっています。



10-4 福祉に関する情報入手について困っていること……………

問 福祉に関する情報の入手についてあなたが困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

- 困っていることがある人の割合(全体から「特に困っていない」と無回答を除いた割合)は、【身体】で43.8%、【知的】で57.7%、【精神】で56.4%となっています。
- 困っていることでは、いずれの障がい区分においても「どこに情報があるかわからない」「情報の内容がむずかしい」の順で高くなっています。

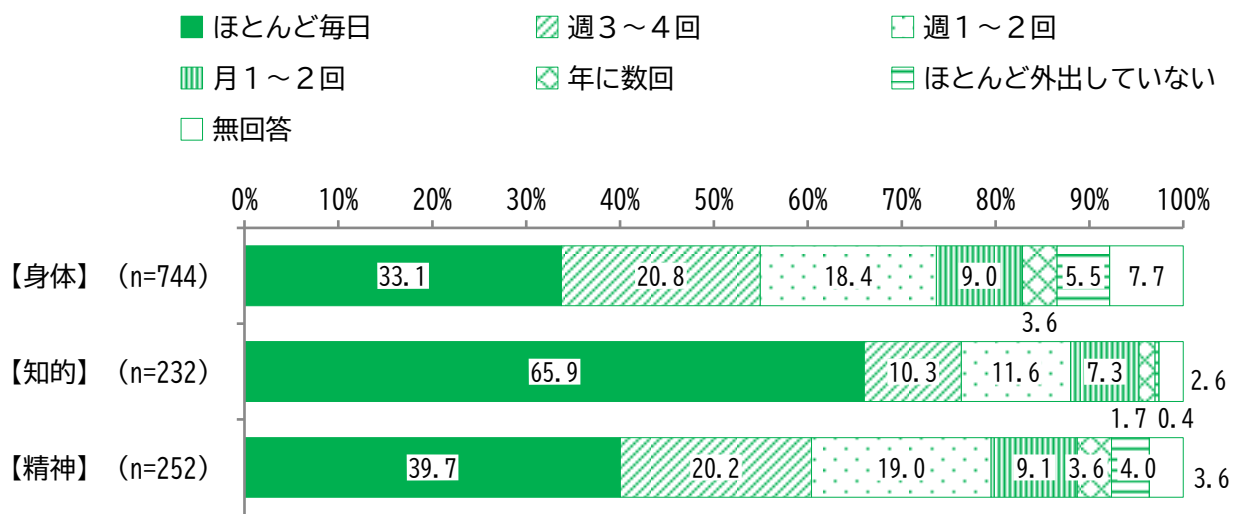


11 外出の状況について

11-1 外出の頻度

問 あなたは、過去1年間にどれくらい外出しましたか。(1つに○)【身体・知的・精神】

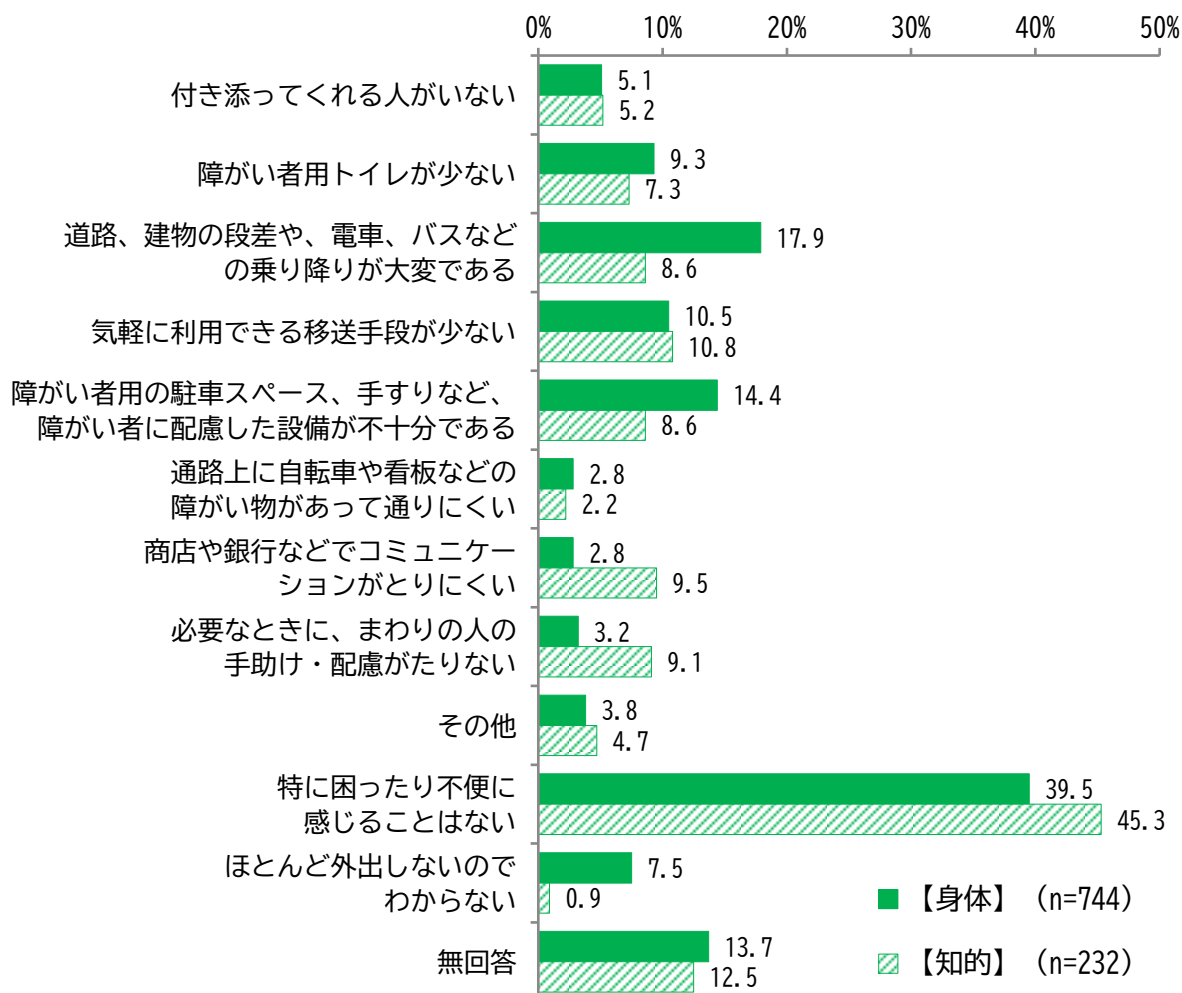
- いずれの障がい区分においても「ほとんど毎日」が最も高く、【身体】で33.1%、【知的】で65.9%、【精神】で39.7%となっています。
- 「ほとんど外出していない」は、【身体】で5.5%、【知的】で0.4%、【精神】で4.0%となっています。

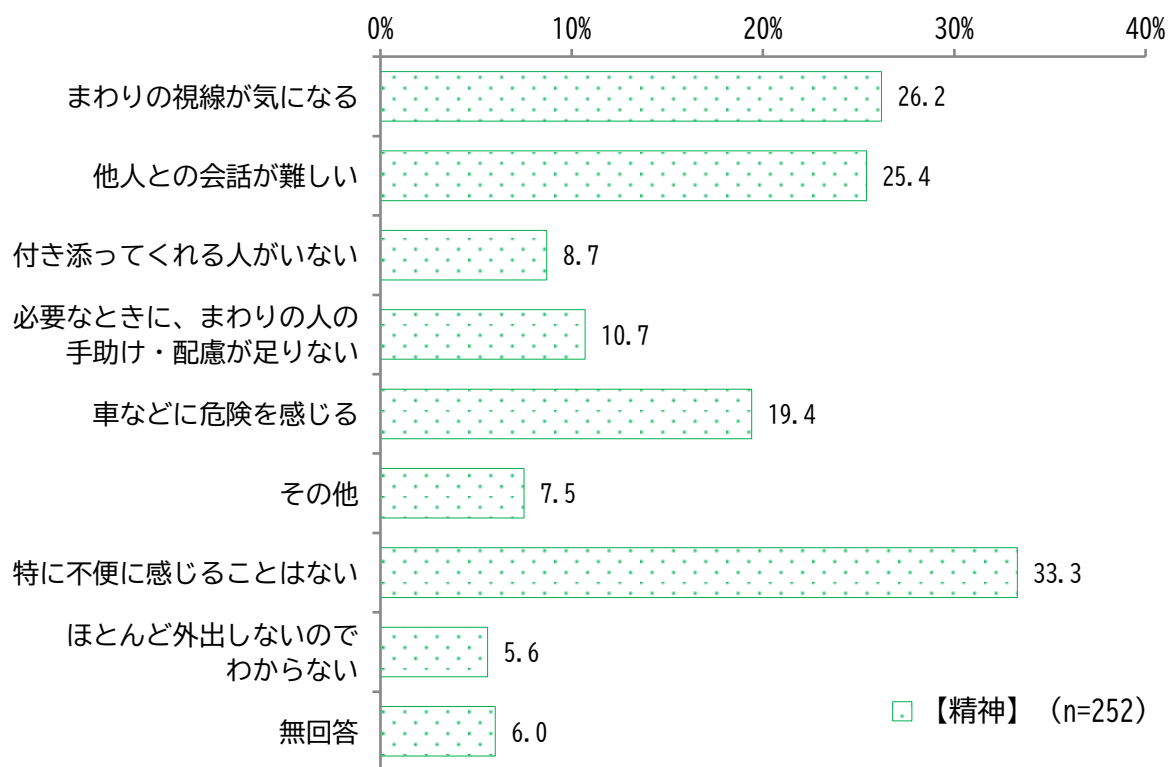


11-2 外出の際に困ったり不便に感じること……………

問 外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)
【身体・知的・精神】

- ▶ いずれの障がい区分においても「特に（困ったり）不便に感じることはない」が最も高く、困ったり不便に感じる人がいる人の割合（全体から「特に（困ったり）不便に感じることはない」「ほとんど外出しないのでわからない」と無回答を除いた割合）は、【身体】で39.3%、【知的】で41.3%、【精神】で55.1%となっています。
- ▶ 困ったり不便に感じることでは、【身体】では「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」（17.9%）、【知的】では「気軽に利用できる移送手段が少ない」（10.8%）、【精神】では「まわりの視線が気になる」（26.2%）がそれぞれ最も高くなっています。

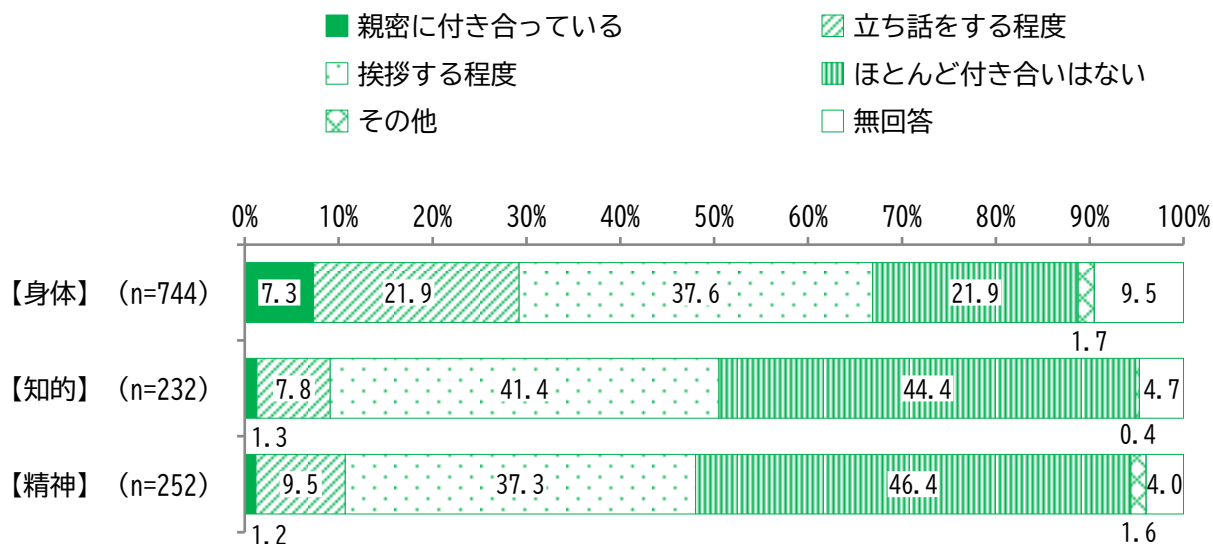




11-3 近所付き合いの程度について

問 あなたは、ご近所とどの程度お付き合いをしていますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

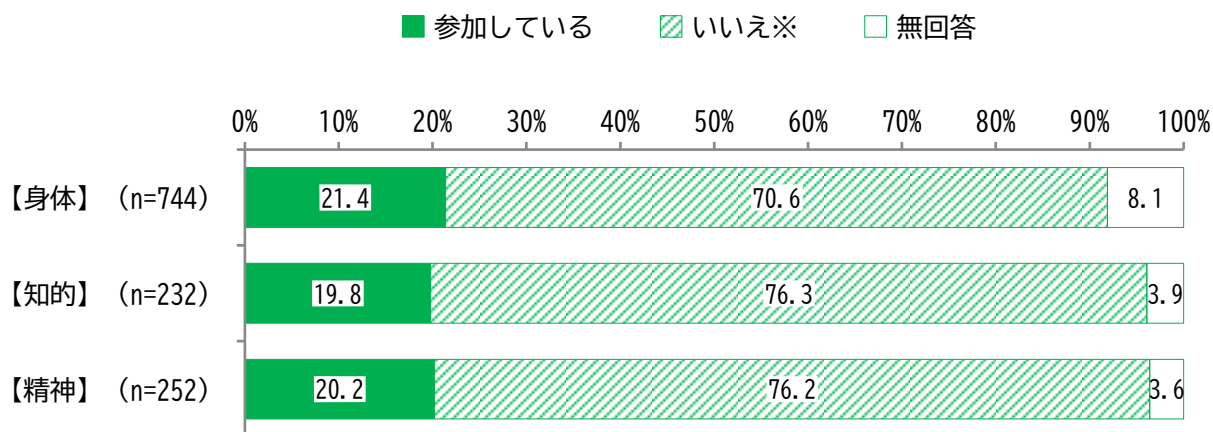
➤ 【身体】では「挨拶する程度」(37.6%)、【知的】【精神】では「ほとんど付き合いはない」が4割以上でそれぞれ最も高くなっています。



11-4 趣味や地域の活動への参加状況

問 あなたは現在、趣味や地域の活動に参加していますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

➤ いずれの障がい区分においても「いいえ」が7割以上で、「参加している」が約2割となっています。

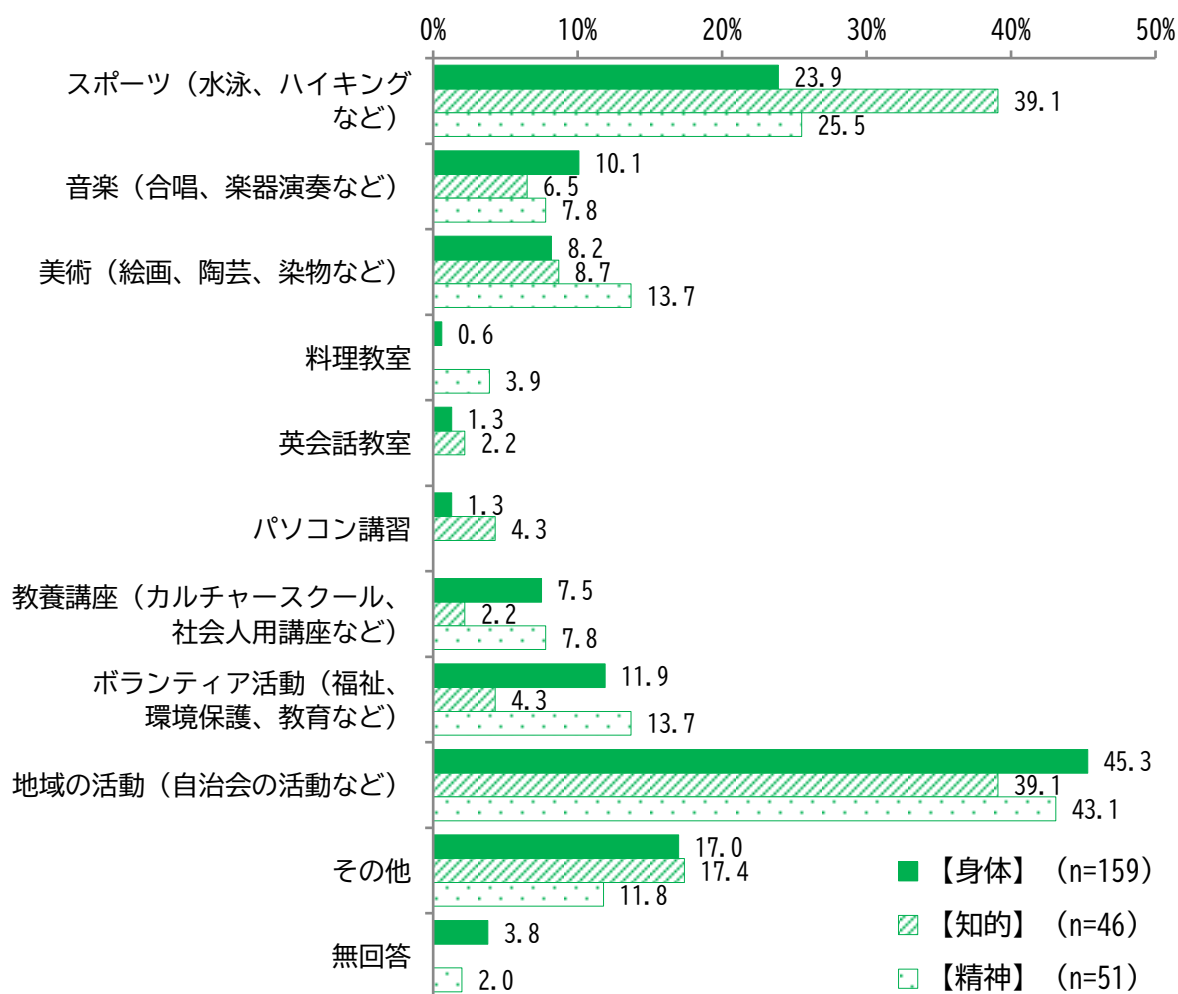


※【知的】では「いいえ」は「参加していない」。

問「あなたは現在、趣味や地域の活動に参加していますか。」で「参加している」に○をつけた方のみ

問 現在、参加している活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

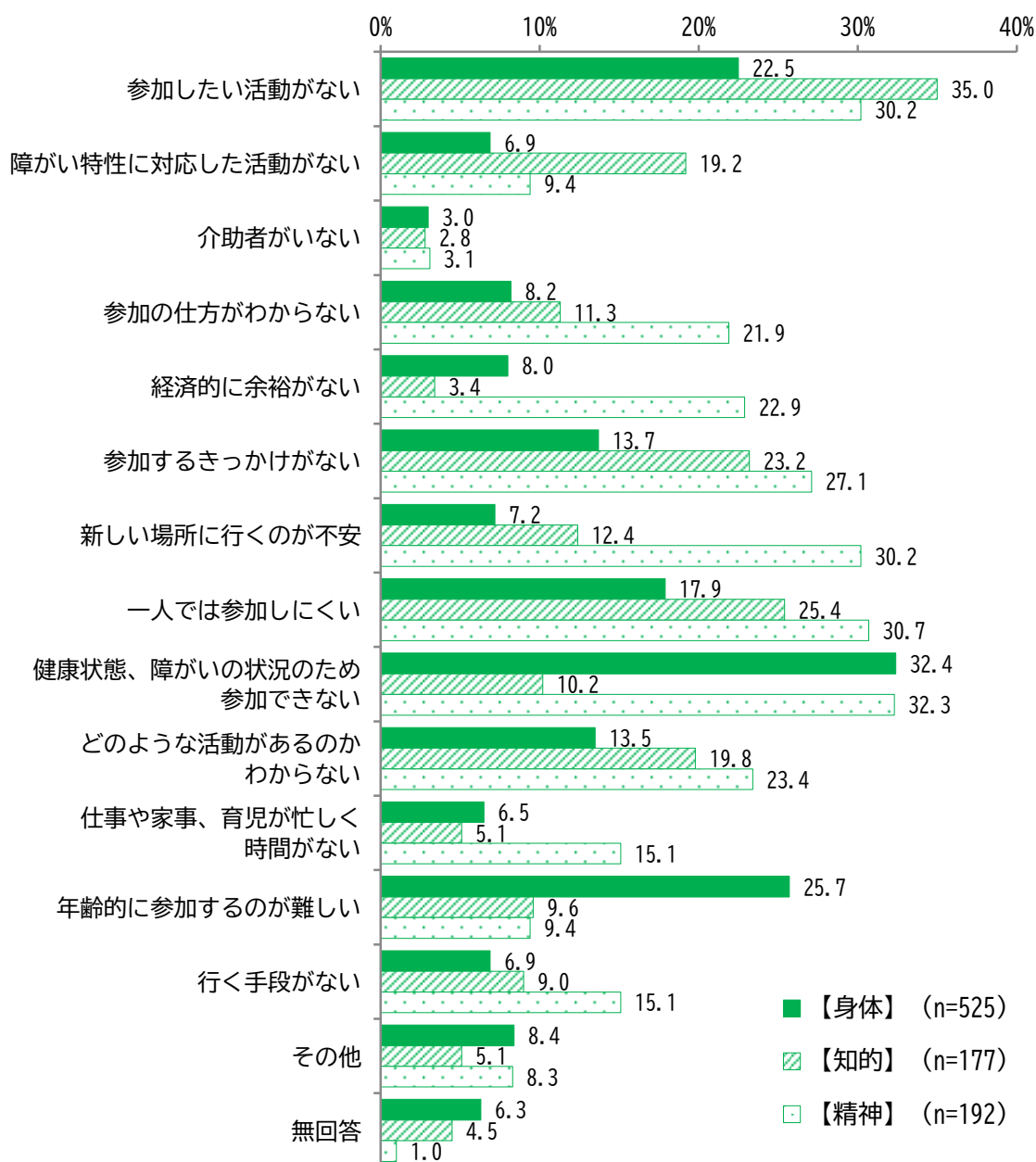
➤ 【身体】【精神】では「地域の活動（自治会の活動など）」が4割以上で、【知的】では「地域の活動」「スポーツ（水泳、ハイキングなど）」（ともに39.1%）がそれぞれ最も高くなっています。



問「あなたは現在、趣味や地域の活動に参加していますか。」で「いいえ（参加していない）」に○をつけた方のみ

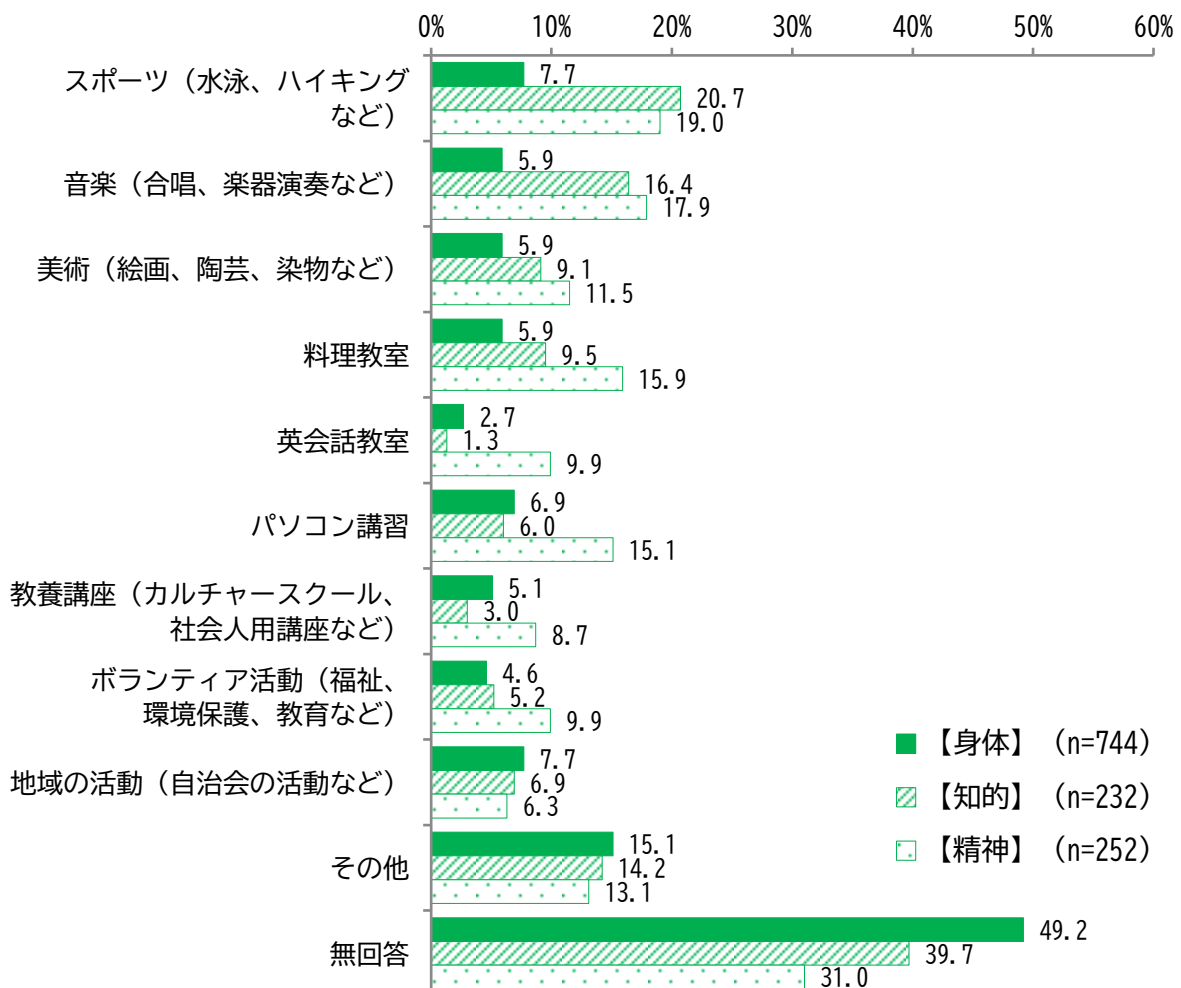
問 参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【身体・知的・精神】

- 【身体】では「健康状態、障がいの状況のため参加できない」（32.4%）が最も高く、次いで「年齢的に参加するのが難しい」（25.7%）、「参加したい活動がない」（22.5%）が高くなっています。
- 【知的】では「参加したい活動がない」（35.0%）が最も高く、次いで「一人では参加しにくい」（25.4%）、「参加するきっかけがない」（23.2%）が高くなっています。
- 【精神】では「健康状態、障がいの状況のため参加できない」（32.3%）が最も高く、次いで「一人では参加しにくい」（30.7%）、「参加したい活動がない」「新しい場所に行くのが不安」（ともに30.2%）が高くなっています。



問 あなたが今後、参加したい活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

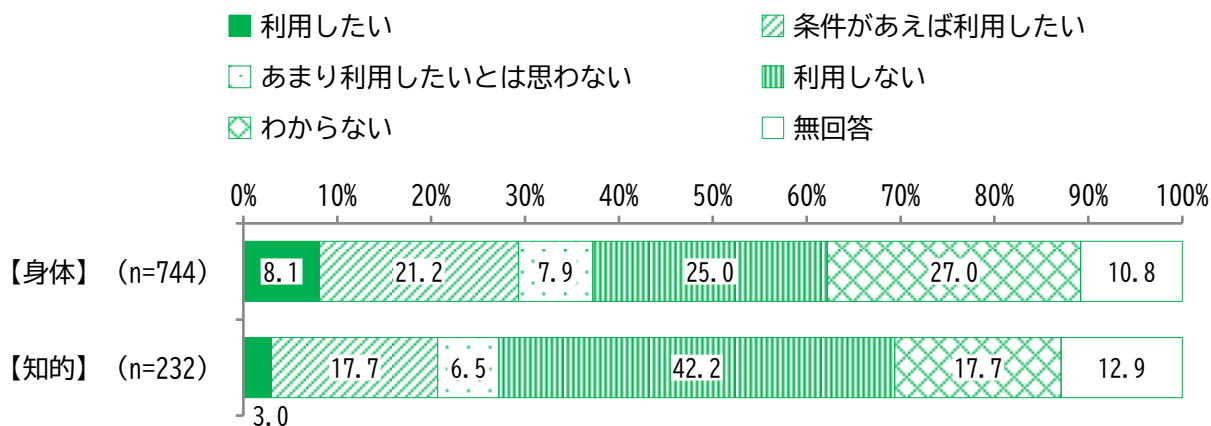
- ▶ 参加したい活動がある人の割合(全体から無回答を除いた割合)は、【身体】で50.8%、【知的】で60.3%、【精神】で69.0%となっています。
- ▶ 参加したい活動は、【身体】では「その他」(15.1%)が最も高く、次いで「スポーツ(水泳、ハイキングなど)」「地域の活動(自治会の活動など)」(ともに7.7%)、「パソコン講習」(6.9%)が高くなっています。【知的】では「スポーツ」(20.7%)が最も高く、次いで「音楽(合唱、楽器演奏など)」(16.4%)、「その他」(14.2%)、「料理教室」(9.5%)が高くなっています。【精神】では「スポーツ」(19.0%)が最も高く、次いで「音楽(合唱、楽器演奏など)」(17.9%)、「料理教室」(15.9%)、「パソコン講習」(15.1%)が高くなっています。



11-5 福祉タクシーの利用意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 福祉タクシー（タクシー会社などが行っている車いすリフト付車両・寝台付車両による移送）のサービスを利用したいと思いますか。（1つに○）【身体・知的】

- 【身体】では「わからない」（27.0%）、【知的】では「利用しない」（42.2%）が最も高くなっています。
- 『利用したい』（「利用したい」「条件があれば利用したい」の計）は【身体】で29.3%、【知的】で20.7%となっています。一方、『利用したいと思わない』（「利用しない」「あまり利用したいと思わない」の計）は【身体】で32.9%、【知的】で48.7%となっており、ともに『利用したい』が『利用したいと思わない』を下回っています。

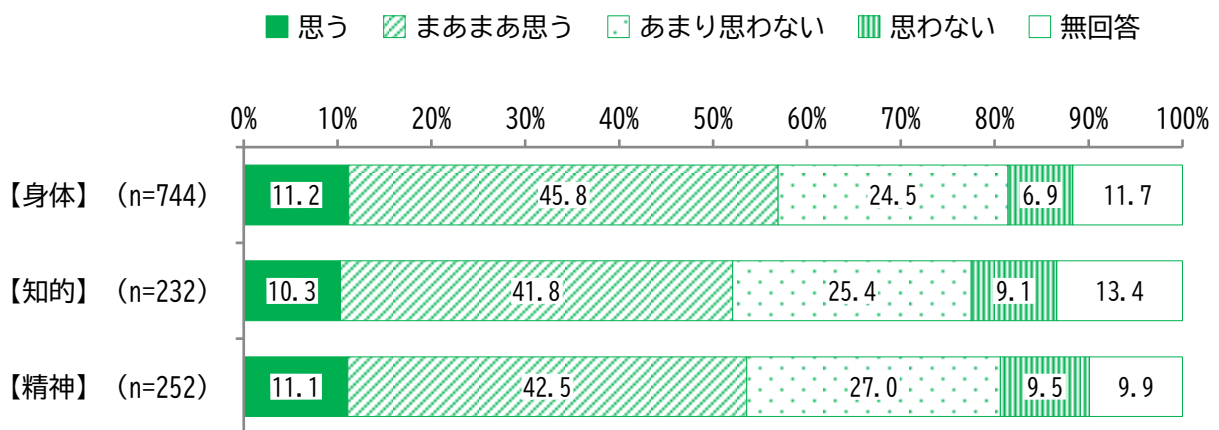


12 まちづくりについて

12-1 瑞穂市は障がい者にとって暮らしやすいまちか ……………

問 障がいのある人にとって、瑞穂市は暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

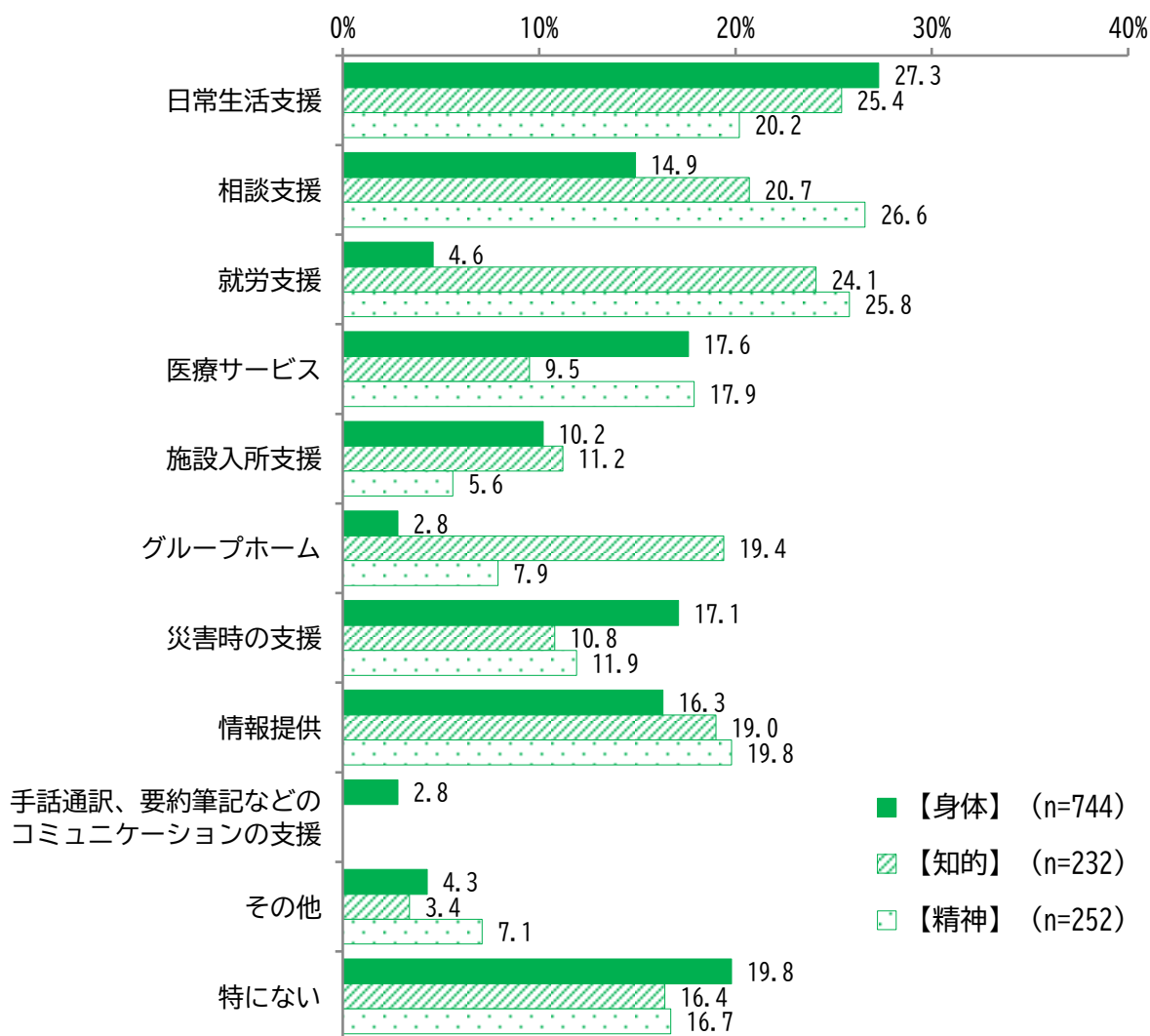
- いずれの障がい区分においても「まあまあ思う」が4割以上で最も高くなっています。
- 『暮らしやすいまちだと思う』(「思う」「まあまあ思う」の計)は【身体】で57.0%、【知的】で52.1%、【精神】で53.6%となっています。一方、『暮らしやすいまちだと思わない』(「思わない」「あまり思わない」の計)は【身体】で31.4%、【知的】で34.5%、【精神】で36.5%となっています。



12-2 暮らしやすくなるためにさらに充実してほしいこと……………

問 あなたが、暮らしやすくなるために、さらに充実してほしいことはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまで○)【身体・知的・精神】

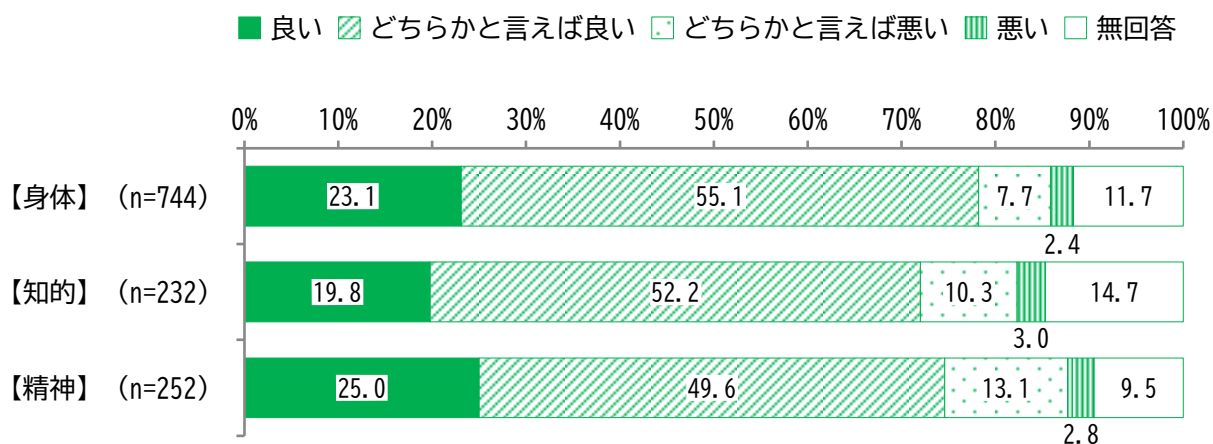
- 【身体】では「日常生活支援」(27.3%)が最も高く、次いで「医療サービス」(17.6%)、「災害時の支援」(17.1%)、「情報提供」(16.3%)が高くなっています。
- 【知的】では「日常生活支援」(25.4%)が最も高く、次いで「就労支援」(24.1%)、「相談支援」(20.7%)、「グループホーム」(19.4%)が高くなっています。
- 【精神】では「相談支援」(26.6%)が最も高く、次いで「就労支援」(25.8%)、「日常生活支援」(20.2%)、「情報提供」(19.8%)が高くなっています。



12-3 市の窓口対応への評価

問 あなたは、瑞穂市の公共施設・機関の窓口などでの対応についてどのように思われますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

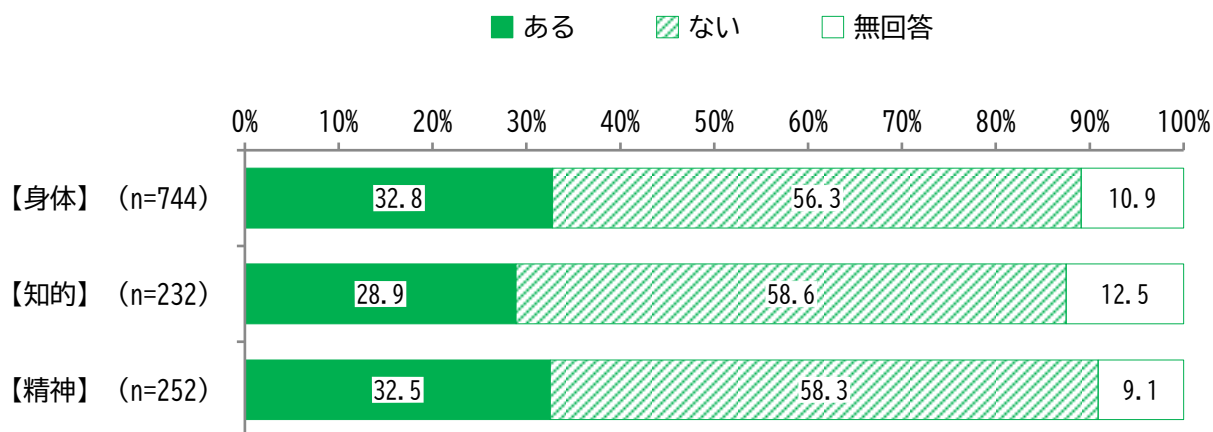
- いずれの障がい区分においても「どちらかと言えば良い」が約5割で最も高くなっています。
- 『良い』(「良い」「どちらかと言えば良い」の計)は【身体】で78.2%、【知的】で72.0%、【精神】で74.6%となっています。一方、『悪い』(「悪い」「どちらかと言えば悪い」の計)は【身体】で10.1%、【知的】で13.3%、【精神】で15.9%となっています。



12-4 知らない人から手助けされた経験の有無

問 あなたは、今まで外出先で困ったことがあった時に、知らない方から手助けや配慮をもらった経験がありますか。(1つに○)【身体・知的・精神】

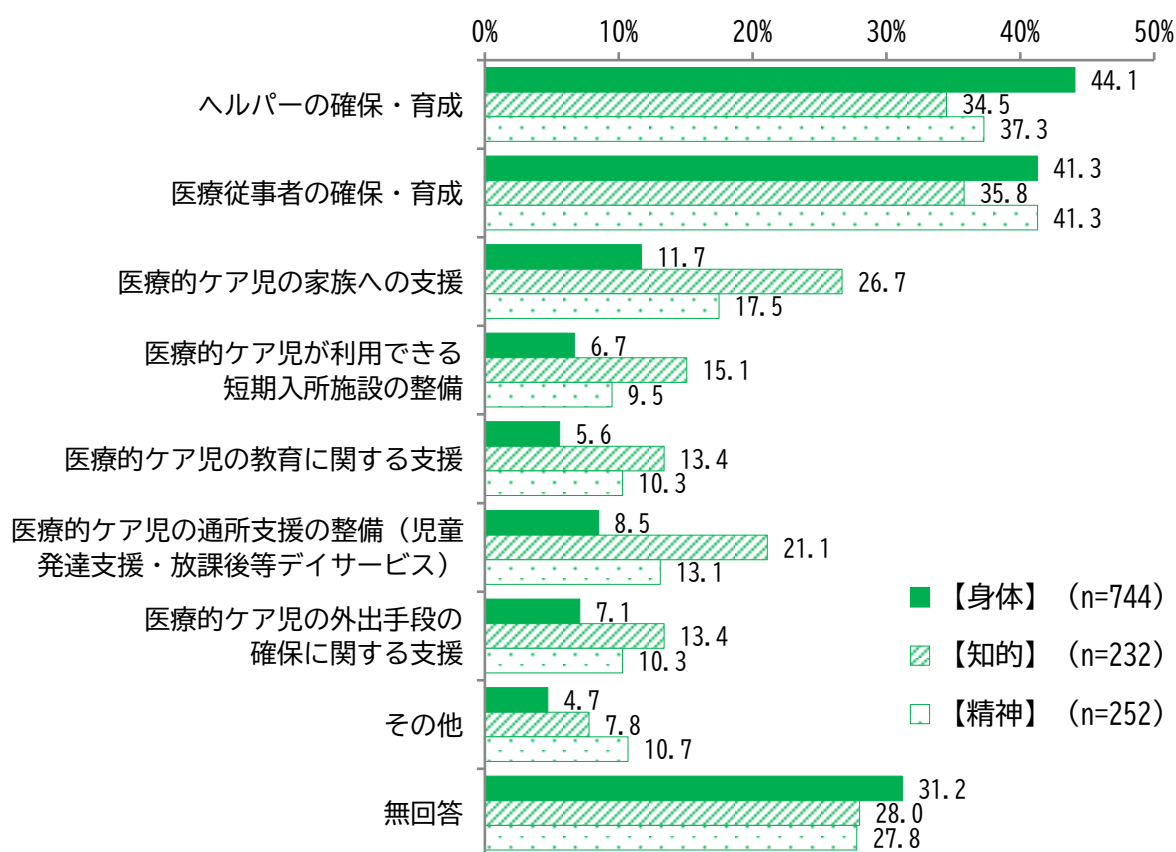
- いずれの障がい区分においても「ない」が約6割となっており、「ある」は【身体】で32.8%、【知的】で28.9%、【精神】で32.5%となっています。



12-5 医療的ケアに関して必要な支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・

問 医療的ケアに関して、どのような支援の充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)【身体・知的・精神】

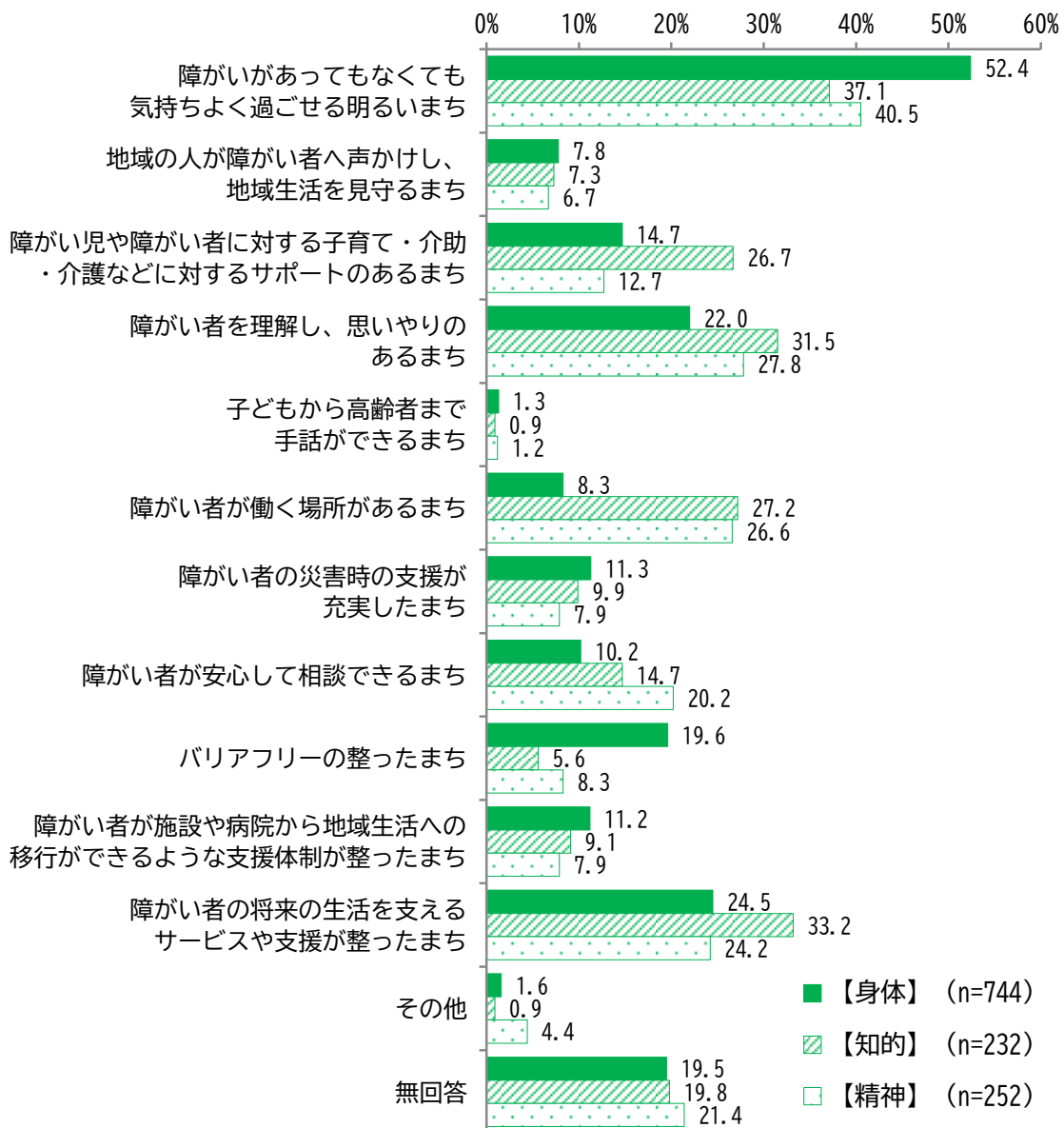
- 【身体】では「ヘルパーの確保・育成」(44.1%)が最も高く、次いで「医療従事者の確保・育成」(41.3%)、「医療的ケア児の家族への支援」(11.7%)、「医療的ケア児の通所支援の整備」(8.5%)が高くなっています。
- 【知的】では「医療従事者の確保・育成」(35.8%)が最も高く、次いで「ヘルパーの確保・育成」(34.5%)、「医療的ケア児の家族への支援」(26.7%)、「医療的ケア児の通所支援の整備」(21.1%)が高くなっています。
- 【精神】では「医療従事者の確保・育成」(41.3%)が最も高く、次いで「ヘルパーの確保・育成」(37.3%)、「医療的ケア児の家族への支援」(17.5%)、「医療的ケア児の通所支援の整備」(13.1%)が高くなっています。



12-6 障がい者が暮らしやすくなるために望ましい市の姿・・・・・・・・・・・・・・・・

問 障がいのある人が暮らしやすくなるために、瑞穂市がどんなまちになればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)【身体・知的・精神】

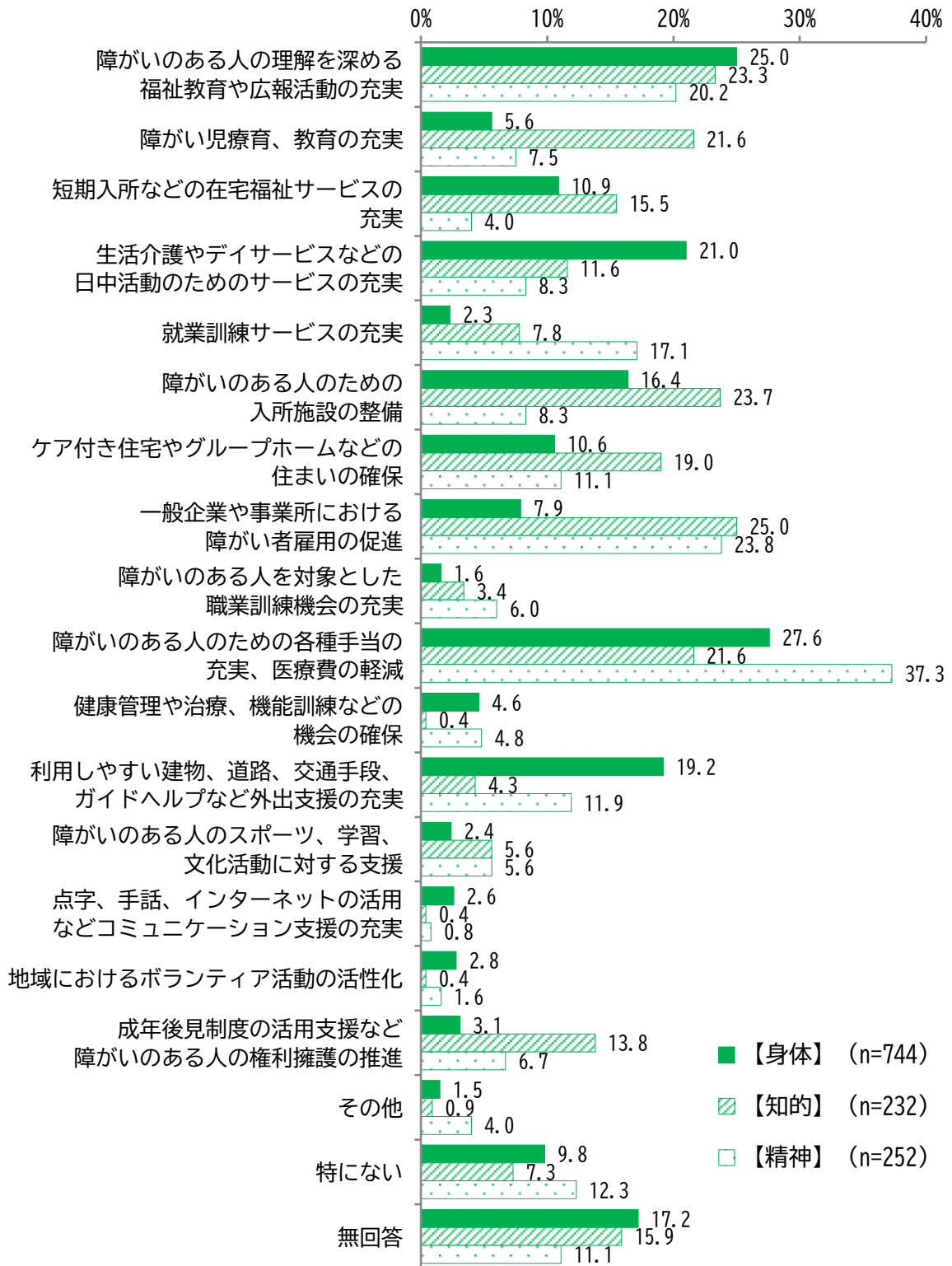
➤ いずれの障がい区分においても「障がいがあってもなくても気持ちよく過ごせる明るいまち」が最も高く、次いで【身体】では「障がい者の将来の生活を支えるサービスや支援が整ったまち」(24.5%)、「障がい者を理解し、思いやりのあるまち」(22.0%)、「バリアフリーの整ったまち」(19.6%)、【知的】では「障がい者の将来の生活を支えるサービスや支援が整ったまち」(33.2%)、「障がい者を理解し、思いやりのあるまち」(31.5%)、「障がい者が働く場所があるまち」(27.2%)、【精神】では「障がい者を理解し、思いやりのあるまち」(27.8%)、「障がい者が働く場所があるまち」(26.6%)、「障がい者の将来の生活を支えるサービスや支援が整ったまち」(24.2%)がそれぞれ高くなっています。



12-7 市が障がい者施策を充実させるために注力すべきこと ……………

問 あなたは、今後、瑞穂市が障がい者施策を充実させるため、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまで○)【身体・知的・精神】

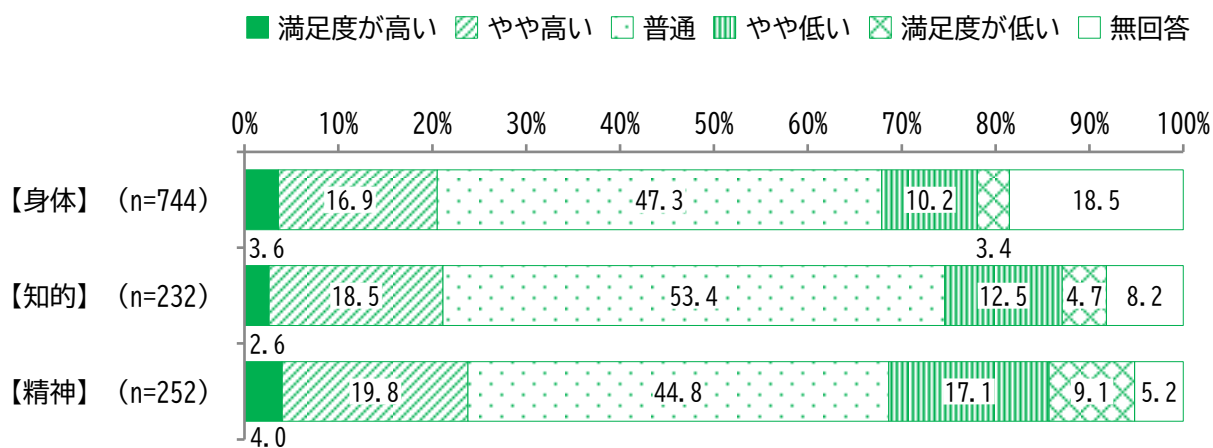
- 【身体】では「障がいのある人のための各種手当の充実、医療費の軽減」(27.6%)が最も高く、次いで「障がいのある人の理解を深める福祉教育や広報活動の充実」(25.0%)、「生活介護やデイサービスなどの日中活動のためのサービスの充実」(21.0%)、「利用しやすい建物、道路、交通手段、ガイドヘルプなど外出支援の充実」(19.2%)が高くなっています。
- 【知的】では「一般企業や事業所における障がい者雇用の促進」(25.0%)が最も高く、次いで「障がいのある人ための入所施設の整備」(23.7%)、「障がいのある人の理解を深める福祉教育や広報活動の充実」(23.3%)、「障がい児療育、教育の充実」「障がいのある人ための各種手当の充実、医療費の軽減」(ともに21.6%)が高くなっています。
- 【精神】では「障がいのある人ための各種手当の充実、医療費の軽減」(37.3%)が最も高く、次いで「一般企業や事業所における障がい者雇用の促進」(23.8%)、「障がいのある人の理解を深める福祉教育や広報活動の充実」(20.2%)、「就業訓練サービスの充実」(17.1%)が高くなっています。



12-8 障がい者支援への総合満足度

問 障がい者支援への満足度について総合的に判断してあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)【身体・知的・精神】

- いずれの障がい区分においても「普通」が4割以上で最も高くなっています。
- 『満足度が低い』(「満足度が低い」「やや低い」の計)は【身体】で13.6%、【知的】で17.2%、【精神】で26.2%となっています。一方、『満足度が高い』(「満足度が高い」「やや高い」の計)は【身体】で20.5%、【知的】で21.1%、【精神】で23.8%となっており、【身体】【知的】では『満足度が高い』が『満足度が低い』を上回り、【精神】では『満足度が低い』が『満足度が高い』を上回っています。



12-9 市の障がい者施策に対する意見・要望等（自由回答）

問 最後に、瑞穂市の障がい者施策について、ご意見・ご要望や困っていること等がありましたらご自由にお書きください。【身体・知的・精神】

- ▶ 市の障がい者施策について、計 249 人の方からご意見・ご要望等をいただきました。目次に合わせて分類した各件数は、以下の通りです。
- ▶ 次ページ以降に、自由意見の全文を掲載しています（一部誤字脱字等の修正や、個人を特定する表現の削除を行っています）。

回答分類	件数
1 自身の障がいの状態などについて	9
2 医療機関への通院・入院の状況などについて	22
3 日常生活について	3
4 就労・就学状況などについて	7
5 サービスの利用状況について	22
6 今後のサービスの利用について	16
7 今後の生活と必要な支援について	27
8 日中の過ごし方と働くために必要な環境について	6
9 相談ごとについて	19
10 情報収集とコミュニケーション手段について	15
11 外出の状況について	39
12 まちづくりについて	37
13 その他	27

1 自身の障がいの状態などについて

- ・当人（妻）が身体不自由のため、夫が代筆しました。右の上肢・下肢不自由、言語障がい（失語症）のため、対応に苦慮しております。【身体】
- ・ここに書いてあるのは、全て病気のせいです。病気に震えがあるのですが、震えがあるとまったく何もできないのです。震えでとても困っています。【身体】
- ・基本的に呼吸器の障がいなので、このアンケート内容は当てはまらないものが多いです。【身体】
- ・元気な時は歩けます。体調が悪くなると歩けません。特に外出時に食事をすると歩けなくなるので、車いすを買いました。しかし、家族への負担も大きいので、電動車いすがほしいと思っています。職員の人によって買いましょうと言ってくださる人と知らないと言う人がいるので、一人ひとりの体の状況をちゃんと知って答えてほしい。不安で頼めません。【身体】
- ・全国的に知的障がい者の施設で色々な悪いニュースが入ってきます。言葉のない障がい者に対し、何をしても喋らないのでばれない、その感覚がエスカレートして麻痺しどんどん対応が酷くなる話を聞くにつれ、しかし、最後まで見ることは不可能なので何かがあっても親は目をつむり陰で泣くしかありません。人口の割合からしても障がいのある人々は数%、やはり数の力でしょうか。なかなか少数の者達には光が当たりません。大きな事業も必要ですが、もう少し隅に隠れてしまっている人達にも目を向けてもらえるとういのにと思います。【知的】
- ・1人になったら暮らしていけません。【知的】
- ・私の障がいは外見からはまったくわかりません。ヘルプマークも見える所へは付けていません。発作が起こった時がいつも不安です。あと、苦手が多く、他のことはできるので変な人と思われると思います。何とか人生が終わるまで、自分を大切に生きていくことを一生懸命やっています。【精神】
- ・自分の病気のせいで家族に迷惑をかけていること。家庭内の物が盗まれていること。【精神】
- ・手帳が1級だったのに、なぜ2級になったのかわからない。【精神】

2 医療機関への通院・入院の状況などについて

- ・内部障がいに対して、近くにかかることができる総合病院がない。自動車の運転が難しくなった時に、バス→電車→バスと公共交通機関を乗り継がなくてはならない。【身体】
- ・主な病院への交通手段。【身体】
- ・瑞穂市に総合病院がなく、治療のために市外の総合病院へ通っています。安心して生活するためにも、瑞穂市に総合病院を作っていただきたいと思います。【身体】
- ・94歳、一人暮らしなのでよろしくお願ひします。医療タクシーチケットは大変助かっております。ありがとうございます。【身体】
- ・今は車で行っているが、岐阜市民病院までの交通機関がない。【身体】

- ・足が不自由ですが、少しでも良くなりたいと常に思っています。せめて現状維持のためにも、近くの整形外科の病院で足のマッサージ・整体等を安く受けられたら嬉しいです。または、整体院等で使用できるマッサージ券みたいなものを配布していただけたら幸せです。【身体】
- ・瑞穂市に総合病院を作してほしい。【身体】
- ・本年度から高齢者通院タクシー乗車券をいただき、眼科・歯科と通院に利用できてとても助かっています。ありがとうございます、感謝しています。義肢作りなどのタクシーにも使えたらいいのになとも思います。【身体】
- ・障がいのある方にアンケート調査ありがとうございます。現在は通院して、お薬や注射で治療を受けています。主人も高齢で、この先の通院等が不安です。【身体】
- ・各種申請に診断書の提出を求められることが多く、申請書ごとに1枚の提出が求められる。診断書の内容はほぼ同じにも関わらず、提出する書類ごとに診断書を書いてもらう必要がある。診断を一本化してほしい。1か月に1回の診療のため、病院に提出し次回の診察で受領となれば2か月を要し、市からの申請書のタイミングによっては受診日の翌日に届き、次回の診断で提出、次回の診察で受領となり約3か月を要することもある。期限によっては休暇を取り、障がい児を連れて行く必要もある。以上を踏まえて診断書を一本化していただき、早期に申請書の発送を願いたい。【身体】
- ・瑞穂市から岐阜市民病院、ハートセンターへのタクシー支援。【身体】
- ・障がい者であれば、条件なしでタクシーチケットを配ってほしい。通院の時に困る。【身体】
- ・岐阜市民病院に通院するのに、バス・電車の便が必要な時間がない。【身体】
- ・高齢者に対する医療等、ありがたいと思っております。感謝です。【身体】
- ・通院チケットは助かっていますが、1回の使用枚数をもう少し多く使えるようにしてほしい。片道4000円ぐらい使えれば、岐阜市の病院へ通院するのにとても嬉しいです。親に長生きしてもらうためには医療費がかかります。一日でも長生きしてほしいので、お金があまりかからないようお願いしたいと思います。【身体】
- ・療育手帳ではB2判定で障がいとしては軽いかもかもしれませんが、多い時で1か月に3つの医院に通っています。時間も労力も大変ですが、交通費もかかり金銭的にも負担がかかります。市内に病院があればな、補助金（我が家はありません）があればな、直接行けるバスがあればなと思っています（例えば市役所←→市外病院）。【知的】
- ・重度医療で無料になるのはすごく助かります。【精神】
- ・現在は遠くの医療機関でも何とか通院できているが、夏の温度上昇など、現在通院中の所でも通院日を見送る時がある。服薬をしているため薬がなくなると症状悪化につながりかねないので、なるべく近い所で通える医療機関があればありがたい。医師はもっと勉強してほしい。本屋さんに売っている一般者向けの知識すら持ち合わせていない。何のために近くにクリニック等があるのか意味がわからない。【精神】
- ・病院を増やしてほしい（心療内科）。【精神】
- ・市内の病院があれば、近くでお世話になりたい。交通がもっと便利になってほしい。【精神】

- ・病院へ通院する時、今は親の車があるがタクシーを無料か安く利用できたらと思います。【精神】
- ・福祉医療費受給者証で医療費が無料で大変助かっております。現在のところ困っていることはないのですが、将来の生活（老後）は心配しているので、また相談します。【精神】

3 日常生活について

- ・今のところ1人で日々の生活ができていますので、先のことが読めていないようでアンケートの回答が難しかったです。でも、色んなことが勉強になりました。【身体】
- ・一年一年変化があると思います。今のところ頑張りすぎないように毎日過ごしています。【身体】
- ・ごみ捨てに困っています。【身体】

4 就労・就学状況などについて

- ・現在、体への負担になるため1日6時間×週5で勤務していますが、やや収入が少ないです。その場合、どのような機関・場所に相談したらよいのかわからないので、広報誌などで情報開示してほしいです。【身体】
- ・子の保育園を探す時、加配要員が取れないことから諦めた過去があり、幼児課でその場合はどうしたらと聞いたけど、その後の入園につながらなかった。障がい児を持った親に対し、わかりやすいロードマップの用意がほしかった。【身体】
- ・4月から市役所で働いています。福祉についても学ぶことが多く、もっと私なりにも支援できたらと思いました。【身体】
- ・我が家の場合は学校にもとても協力をいただいて、色々工夫をしていただくことで市内の小学校に通うことができていますが、特別支援学校が遠方にしかないことで親御さんの負担の多い家庭もあるのかなと思います。放課後等デイサービスの情報が上手く集められず、身体の子が行けるような所は穂積にはなさそうと思い利用していないのですが、若いご家族がたくさん瑞穂市に流入してきているので、放課後等デイサービスも増えたらいいと思います。手続きに度々伺いますが、窓口の方は皆さん丁寧でありがたいです。補装具の手続きがややこしくて、何度もお邪魔したりしています。成長して、親亡き後のことを心配しています。共生型や色々なサービスモデルの中から、瑞穂市に合った施策を検討いただければと思います。【身体】
- ・愛知県等の施策では障がい手当が充実していたので、検討してもらえたら幸いです。在住手当など、重度な方（IQ35以下等）を対象にしたものだけでなく、障がいにより収入が低くなりがちの方への補助があるというイメージです。いつも懸命に思いやりを持って力を尽くしていただいて、ありがとうございます。【身体】
- ・収入が増えるようにしてほしい。【精神】

- ・お金がない。B型作業所の工賃と年金で、1人で家で生活していくのは無理に近い。B型作業所で精一杯です。どうしたらいいですか。【精神】

5 サービスの利用状況について

- ・私は岐阜市にある施設でデイサービスを受けているので、瑞穂市のことは実感としてわかりません。【身体】
- ・特別養護老人ホームの入所の空きがない。100人以上が待機中。介護者、看護者のモラル、品格の向上、底上げが必要。誰でも彼でも資格を取ればなれる職業であっては困る。【身体】
- ・非課税なので老人の施設に入れられない。【身体】
- ・2か月ごとに日常生活用具の給付をしていただいております。都度、福祉生活課の方には親切に対応していただき、安心感があります。一方で、障がい者向けのサービス、福祉内容についてはまったく把握できておらず、どのような情報がどのように発信・提供されているかわかっていません。障がい者や高齢者など、社会的弱者が安心できる街であるととてもありがたいです。【身体】
- ・私は在宅酸素です。冬場の寒い時だけ週3回の入浴の介助をお願いしましたがダメでした。他の市は在宅酸素の入浴の介助があるのに、瑞穂市は拒否されました。酸素のロープがありドアが閉められず、寒い思いをしています。冬場だけとお願いしましたが無理と言われて、介護保険は何のためかと疑問です。【身体】
- ・リハビリの設備が患者の私にとって精一杯の力添えで、とてもありがたいです。普段の薬で血圧、脈拍など全て正常です。ありがたいです。【身体】
- ・施設に入所しているので、記入欄に該当する項目が少なく失礼しました。いずれ家に帰って生活したいので、よろしく願います。【身体】
- ・瑞穂市には良い施設があります。【身体】
- ・1人当たりの介護者の不足。長続きしない介護者（職員）、ベテランの人の不足につながる。介護者（入所者）に対する差別（心遣いの廃止）。施設内の節約が多すぎる（ルクス等）。個人の特典ができないように配慮願います。今後、少しでも改善できますようお願いいたします。【身体】
- ・市内に障がいのある人が入居できる施設がないので、市外に行かざるを得ないです。【身体】
- ・現在、巣南サービス付き高齢者向け住宅に入居中。【身体】
- ・福祉車両の貸し出しは大変ありがたいです。【身体】
- ・主人も認知症ですがデイサービスに行かないので、三度の食事や風呂など老老介護で、私も心臓が悪くえらい。色々ありがとうございます。【身体】
- ・グループホームに入所されている方から、子ども達への食事内容が写真とは違って、体重を減らすため（健康のためかは？）量が少ない、お腹をへらしているという話を耳にしました。【知的】

- ・児童発達支援所が少ない。大きい病院がない。岐阜市と比べると、通所するための日数を出してもらえない。支援学校が遠く、他の地域の支援学校の選択もできない。保育園に通わせようとしたら、週2回の利用しか認められなかった。放課後等デイサービスを利用していると支援級に通っている軽度のお子さんが多く感じられ、支援学校に通っている重度の子は手がかかるとなると他の施設を利用してくださいなどと言われる。何のための福祉なのか。本当に支援が必要な子のためには、そのように対応してもらえないのか。ただ預かるだけの施設になっているのではないかと思います。【知的】
- ・放課後等デイサービスや総合的に診てもらえる大きな病院がないのが不便です（放課後等デイサービスは数が少ない）。【知的】
- ・緊急時、1人で家に置いておけない。近くで預かってくれる所が瑞穂市はない。どこも人手不足。お迎え時間に家にいなければいけない親。【知的】
- ・児童発達支援を利用していますが、利用できる日数が少ないです。他の地域の方が多く日数を貰えているのが羨ましく思います。【知的】
- ・現在、放課後等デイサービスを月10日利用しています。他の地方自治体では同じような障がい（B2）の子でも月10日以上の利用日数があり、放課後等デイサービスを利用する日数が多くすごく助かっているという話を聞きました。瑞穂市も利用日数が増えればいいなどこれまでに何度か感じたことがあります。瑞穂市には発達外来がある医療機関がなく、現在は1時間弱かけて松波総合病院（笠松）まで通っています。満足できる医療機関が近くにないなどこれまでずっと感じているので、そういった場所があれば情報提供をしてほしいです。【知的】
- ・10年以上前に主人が亡くなり、数年前に長男も結婚し（県外）ほぼ1人での子育て。介護していた義母も今年見送り、とうとう2人っきり。市内には入れるグループホームは見つからず、北方町のグループホームに入所しました。住所は近いですが、やっぱり同じ市内で入所してほしかったと思います。近所づきあいも将来のためにしっかりやってきましたが、今になっては地元の人に「○○ちゃんいなくて寂しいな」と言われています。やはり同じ土地で一緒に暮らすのがベストかもしれませんが、障がい者の大人は大変です。せめて瑞穂市内のグループホームなら、散歩している友達に会えたのにな、と思います。瑞穂市内に小規模でもよいのでグループホームができるといいな。【知的】
- ・送迎付きの放課後等デイサービスがまだ少ない時で、低学年の時に利用できなかった。学童保育は合わず、それ以外で放課後に利用できる施設がほしかった。【精神】
- ・グループホームの数が少ない。公共交通手段が少ない（車がないと生活できない）。みずほバスの充実。職業相談の場が少ない。【精神】

6 今後のサービスの利用について

- ・まだ自分でやれることはやりますので、大変になった時は世話になるかも。【身体】
- ・もっと公立の老人ホームを作ってほしい。老人ホームの金額が高くて入所できない。【身体】

- ・岐阜アソシア、名古屋ライトハウスなどの視覚障がい施設が身近にほしいものです。コミュニティバスを利用する時、行き先の字が小さくわからない。音声案内も音量が低すぎてわかりにくい。歩道が狭く、傾斜や凸凹が多いため躓き、危険を感じる。【身体】
- ・よくわかりませんが、年金の少ない人は施設・デイに行きたくても困ることがあるので、もう少し援助があるとよいと思います。遺族年金のない国民保険の人はどうしたらよいのかという人が多いのでは。【身体】
- ・いつも思うことは、介護認定のやり方が各市町村によってあまりに差があること。市によってはすごく甘くて、介護度が高くついていたりすることがよく見受けられます。全体的に瑞穂市は厳しいとよく聞きます。やはり、病状に合わせて理解をして判定してもらいたいと思います。【身体】
- ・入所施設やグループホームが少ない。福祉作業所とグループホームの連携がある施設がほしい。【知的】
- ・訪問入浴など、夏は汗も多いので利用できる回数を増やしてほしいです。身体が大きくなってくると、家のお風呂に入れるのも介助者がいないと難しいので、訪問入浴が難しければヘルパーなどが使えると助かります。障がい児が大人になった時に、親亡き後でも安心して暮らしていけるグループホームなどが少なく不安なので、肢体不自由でも入居できる施設などが整えば助かります。障がい児の親は、皆さん将来に不安を抱えています。【知的】
- ・親亡き後、暮らす場所に困ります。グループホームがほたるの里しかなく、そこが合わない他に家の近くにはなく、市としても短期入所で親から離れる練習をする場所づくりを考慮していただけると心強いです。福祉に携わる仕事をしてくださる方も長く勤めていただきたいので(人員の入れ替えが多いと知的障がい者は環境の変化で不穏になる)、スタッフさんへの負担増ややる気消失にならないよう賃金等を含めサポートもお願いしたいです。【知的】
- ・市内にグループホームが少ないので、入っているホームが自宅から遠い。増えるよう対応してもらいたい。自閉症専門の病院が市内にない(メンタルクリニックはあっても自閉症対応ではない)。近所に差別的な人がいる。学校は卒業しているが、在学中は障がい理解のある教員が担任になるとは言い難く、逆に能力の不足している教員を担任にするなど色々問題が多かった。やる気と能力のある教員は岐阜市に引き抜かれていき、そうでない人が長く残っていた。長く障がい者より高齢者が福祉の中心であり、障がい者のために予算や場所の提供が行われることに反対する上の人が出たため、瑞穂市の障がい者対策は遅れている。【知的】
- ・グループホームを作ってほしい。【知的】
- ・瑞穂市内にも放課後等デイサービスの事業所がもっとできるとありがたいです。でも、相談支援事業所が社会福祉協議会からあんに変わりましたが、とても親身にしてくださいありがたいです。【知的】
- ・障がい児が使用できるショートステイがまったくないので、シングルで2人の障がい児を育てている私は倒れることもできない。必要な人が必要な時にすぐ利用できる何かがあると、安心して育児ができます。【精神】
- ・現在、グループホームを探しているので、数が増えるとありがたいです。【精神】

- ・家族の意見ですが、土・日・祝日などに単発で送迎付きのデイサービスの趣味活動ができる場があれば助かります。B型作業所の工賃が安すぎるのと、配偶者がいるというだけで利用料が9300円もかかるのが負担です（障がい者でも最低賃金はほしいです）。障がい者の家族の心のケアをしてもらえるような施策があると嬉しいです。「ふなぶせ」などの電話相談を利用したことはありますが、ただ聞いてもらえるだけという感じなので活用できませんでした。【精神】
- ・バスの数が少ない。病院・買い物への送迎サービスがほしいです。【精神】
- ・車に乗れないので、車で移動できるようなサービスがあればよいと思う。タクシーは料金が高いので、利用するのはお金がかかります。困っています。【精神】

7 今後の生活と必要な支援について

- ・看護、介護度の高い施設（老人ホーム等）の費用は結構高額です。また、車いすや手すり、杖などのレンタル料は医療費控除の対象外です。もう少し国の補助金が上がれば助かります。【身体】
- ・日々の生活の中で、趣味や教養の充実を手助けしてほしい。施設より施設員があればよいと思う。【身体】
- ・施設入所するとオムツ等助成対象外になるが、瑞穂市に籍があるなら対象にしてもらいたい。【身体】
- ・瑞穂市身体障害者福祉協会に入会しているが、会員は減少の一途であります。県の協会行事などに瑞穂市は行政の関与がありません（他地区協会では行政が積極的に関与しています）。瑞穂市では移動手段の支援もありませんし、避けているように思われます。福祉協会は大きな災害が発生した場合には、連絡手段となるのではと思います。瑞穂市には、2000名はいるであろう身体障がい者への大きな災害時のサポート手段は見当たりません。協会の体制整備に行政も関与されてはいかがでしょう（個人情報を守る盾にして、具体的な行動を取らないのはサボタージュでしょう）。他の市町ごとの協会の実情は把握されていますか。以前、ある福祉課長さんの時に、全障がい者に対して協会の存在を伝達されたことがありました（その後はありません）。その際には一挙に40名ほどの入会者がありました。【身体】
- ・聴覚障がい者です。難聴です。補聴器がないと日常の生活ができません。左の耳は耳かけ式の補聴器で、右の耳は耳あな式の補聴器を使っています。耳あな式の補聴器の助成金は限られた人にしか出ないということですが、昔とは違い補聴器の性能がすごく高くなり、耳あな式の補聴器は難聴者にとってとても有効な機械となってきました。行政の方は補聴器を使われたことがないのでわからないと思われます。一度、補聴器の店で高性能の補聴器（耳あな式）について説明を受けることが必要と思います。耳あな式の補聴器に対する認識をガラッと変える必要があります。私の要望は、耳あな式の補聴器にも助成金を出していただきたいということです。耳あな式の補聴器は片耳で12～13万円しますが、とてもよく聞こえるのです。どうか、耳あな式にも補助金を出すよう、出せるようお願いいたします。【身体】

- ・私は目が不自由ですが、バス、スパ等でお金を入れる穴があるのですが入れる場所がわかりづらいので、入れる場所を明るい色にできないかと思います。【身体】
- ・付き添って面倒を見てくれている人のこと。仕事を辞めて面倒を見てくれている人のことを考え、他の市町村では手当が少し出ているようです。瑞穂市はなぜ出ない。議員さんの手当を少なくして出してほしい。障がい者のことをもう少し考えて。選挙の前だけ言っているだけでは。【身体】
- ・障がい者に対して金銭的な援助がほしい。【身体】
- ・地域で使用できる振興券の発行。【身体】
- ・自分の子どもが難聴だが、75 デシベルで障害者手帳はないので補聴器購入の際は3割負担です。岐阜市、大垣市、各務原市は1割負担なので、瑞穂市もお願いします。75 デシベルでも、聾学校へ行くほど生活には困ります。なので、1割負担でお願いします。【身体】
- ・介助者1人に少しでも援助してほしいと思っています。【身体】
- ・何回も言うが、今の世の中、子どもばかりが恩恵を受けている。老人は置き去り状態です。また、介護をする50代・60代の負担（仕事を休んだり、金銭面でも）をもっと考え、平等に給付金を回してほしい。保育料、給食費、医療費、おむつ代など無償で、若者・子育て世代は思っている以上に生活が潤っています。老人は年金だけの生活。寒くてもエアコンをつけず我慢していることをもっと考えてください。平等な世の中に、そして老人にも人権があることを忘れないでください。【身体】
- ・大腸がん検診の案内に「検体は1つでも可」の旨の注意書きをしていただきたいです（病院の受付で不愉快な思いをしました）。独居障がい者では検体の採取が困難であり、遠方の私が病院に付き添える日は限られており2日分の検体を準備できませんでした。皆さんが「当たり前」と思うことができない者（家族）も存在することをご理解いただきたいです。「2日法」なら「2日分の検体を持ってくるのが当然」という考えから変えていってください。大げさな対策よりも、小さくてお金もかからない対策に目を向けてほしいです。【身体】
- ・自分の持家なので自宅で過ごしたいので、食事の配達、洗濯の支援、買い物支援など、自宅で生活できる支援があるとよいと思います。【身体】
- ・もう少し障がい者に1か月ずつお金をくれるようにしてほしい。【知的】
- ・親亡き後も、それまでの生活が変わることなく続けていけるように支援していただきたい。親が亡くなって突然環境が変わってしまうような不幸ではなく、それまでにある程度見通しが立つような生活訓練の場があるとよいと思う。また、作業所だけでなく、障がい者も余暇が楽しめるような場があるとよい。【知的】
- ・差別、偏見について。障がい者とおおよそ関わりのない方々は、「どう接するべきか」自体がわからない方が多いと思っております。そういう方々にまず知ってもらわないことには、関わっていないのですから「差別はない」と言い切れません。障がい者同士ではなく、健常者の方々との関わりがほしいと思いました。【知的】
- ・今は自宅に住んでいますが、いつかは入所施設かグループホームにお世話になると思います。安心して住める所が増えるとありがたいです。短期入所施設もこれから利用したいので、選択肢が多くなるとよいです。【知的】

- ・私は精神障がい重症になり、作業所等、家から出かけるのが苦しいです。家にいると幻聴等、日々苦しく怖いです。毎日いつでもとは言わないですが、以前のようなクラブがほしいです。舟伏に2か所見学に行きましたが、出かけるには遠いです。ぜひ、瑞穂市に障がい者がふれあえる場所をお願いします。現在、瑞穂市のピア相談へ3か月おき、老人福祉センターさわやかクラブへ2か月おきに出かけています。親の付き添いがあるので安心。【精神】
- ・障がい者を支える介護者・家族のケアがまったくと言っていいほど瑞穂市はないと思う。同じ境遇の人が同じ場所につながる場が必要。孤立している。【精神】
- ・結局は最低限の援助でよいと思う。ただ、その最低限を上げてほしい。どうあがいても最後は自分が努力するかしないかだから、自分次第だと思っている。【精神】
- ・障がい者なら平等に障害年金を支給してほしい。【精神】
- ・食品など、運転ができない人へのサポートが充実してくれると生活しやすいです。【精神】
- ・茜部にふなぶせ南さんがいるのですが、瑞穂にもあると嬉しいです。【精神】
- ・重度の障がいの方への手当やサービスは充実していると思います。ただ、軽度の方への手当はまったくない。軽度であっても生きづらさを感じており、配慮するために工夫したり費用がかかる。お金の面でのサポートがほしい。在宅で生活を続けたいと思うと、お金のサポートがほしい。軽度でも支援してほしい。見捨てないでほしい。【精神】
- ・経済的に支援してくれる制度がもっとあればいいと思う。一人暮らしだと体調が悪くなると働けないし、外にも出られないからお金がなくて、家賃も光熱費も払えないです。みんながみんな頼れる人がいる訳ではないので、何とかしてほしいです。【精神】
- ・障害を持っていても子育てをしっかりとできるようになりたい。精神の障害の方や発達障害の方がある方は人に相談を自分からすることがなかなか難しい人が多いと思うから、市や国が積極的にそういう家庭の様子をうかがい、家事・育児ができていないかをうかがっていた方が子ども達もいいと思う。自分が過去に経験して、親がうつ病でほったらかしにされている子どもがきっと今も近くにいるんだろうなと思うと、心苦しい。【精神】

8 日中の過ごし方と働くために必要な環境について

- ・障がい者が収入を十分得るためには制限があり、障害年金が貰えない場合、十分に収入が安定しないので今後不安しかない。【身体】
- ・B型に2回入所し別に1か所見学したが、社会福祉協議会が運営するB型は2か所とも不適切な対応があった（1か所は北方）。また、問題を報告しても障がい者である私の意見は受け入れられず、施設の意見が優先された。障がい者施設がオープンでないので、問題が公にならない。市役所の仕事を障がい者に提供すべき。受付は車いすでもできる。できるところから始める。【精神】
- ・障がい者が働けるように施設を増やしてほしい。菓子の製造にしてもビスケット類の難しい物を作るのではなく、もう少し優しい作業のできる所を教えてください。缶、ビンの仕分け作業ばかりでは飽きてしまう。【精神】

- ・瑞穂市内で働ける居場所、相談できる窓口を作ってほしい。障がいでも一般の企業で正社員として働きたい。働きやすい職場を作ってほしい。【精神】
- ・モニタリングで支援者の方が在宅ワークが人気だと言ってみえたので、在宅ワークができる事業所を増やしてほしい。【精神】
- ・A・B型作業所がどちらも少ない。障がい者へのアウトリーチがない。市や社会福祉協議会が自宅まで来ない。困りごとや問題をどうやって汲み上げているかわからない。【精神】

9 相談ごとについて

- ・相談窓口をよく知りたい。【身体】
- ・重い障がいの方をよく知らないため、あまり参考にならないかもしれません。助けてほしい時に声が上げられること、聞いてくれる場所があること、親身に対応してくれる人がいることが、市の財産になる気がします。【身体】
- ・昼は1人なので、災害時に助けてもらえるのかが不安（視覚障がいでは1人では移動できない）。同居している子どもが朝から夜遅くまで仕事で家にいないため、何かあった時に自分で助けを求める（119番、110番通報など）必要があるが、視覚障がいや高齢のためできるかどうか不安。できれば見守りのシステムを利用したいが、どこに相談すればよいのかわかりません。【身体】
- ・電話での相談窓口の充実、便利さ。【身体】
- ・借家住まいで年金だけなので家賃が苦痛ですが、引越しもできないので相談したいと思いますがどうにもならないので諦めています。【身体】
- ・相談しやすい時間がほしい。土・日にも窓口があると嬉しいです。老人も住みやすくしてほしい。子どもも大切だが、老人も大切にしてほしい。【身体】
- ・親切に相談を聞いてくださる姿はありがたいことです。【身体】
- ・身体的な障がいでも外から見た時に理解できる場合は、相手も気づいてくれると思います。しかし、見てもわからない場合、それ以外の障がいの場合は気づいてもらえず、こちらから声をかける必要があります。声をかけることがまずできない、自分で困っていることを上手く説明できない、立ち尽くすことしかできない、そういう場合は支援を受けることまでつながらないのです。相談したくてもできない、そういう現状があるということを知ってほしいです。通学しているうちは守られているのでよいですが、例えば行政に相談したい、働き方など社会へ出ていく時、困りごとを説明できなければ進みません。どうか、市役所等の窓口の方に丁寧に聴く姿勢を持っていただきたい。そして、商店の方々へとその対応を広げて行っていただきたいです。相談しやすい環境がまず必要であると思っています。【知的】
- ・困った時に民生委員に相談したいと思いますが、民生委員が誰かわかりません。【知的】
- ・市役所の人への対応があまり良くない。災害時の避難の仕方がよくわからない。【知的】

- ・もっと近い所で療育手帳の更新などができるとありがたい。病院も、困ったことや悩みごとを相談できる所があれば知りたい。手帳を取るため定期的に通わなければいけないのですが、ただ近況報告をしているだけで何のアドバイスもないので、正直通う意味がまったくない。【知的】
- ・実生活はかなり家族に委ねられている感じがあります。相談等ではきょうだい児ケアも大切だと思います。【知的】
- ・「障がい」という言葉には、身体的な目に見える障がいもあれば、目には見えないメンタル的な障がいもあります。顔つきや行動で障がいを決めつける周囲の冷たい視線が、自信のない人にとっては恐怖でしかありません。ひきこもりや不登校にも本人にはかわからない事情や理由があるように、「障がい」にも症状・病名は様々です。何を主として「障がい」と決めるのか、診断名がついていれば認めざるを得ないのか、うちの息子のように幼少期のいじめにより発達遅れ・言葉が発せなくなり、知的と区別されて就学時から診断書が不要だったので知的で支援級に入級させました。そんな息子も来春、中学校生活最後の1年です。保育所の頃、仲の良い子と遊んでいると、その子の母親が「うちの子も同じだと思われないから遊ばせないで」と言ったように、世間はまだ偏見の目で見えています。優しい子が、いじめられても泣かないと周りには理解されない環境で苦労してきました。「障がい」を「生涯」だと思っている人が、一人でもいなくなることを望んでいます。困った時に困った人が行政の窓口で安心して相談ができるように、相手（人）を見て態度を変えず対応してくれる相談員を窓口配置して下さることを期待しています。孤独な人を増やさないよう明るい未来を。【知的】
- ・社会福祉連絡協議会の人障がい者に対する指導の仕方に問題があると思います。健常者に言うことと同じことを言われても、もう顔も見たくないので、この人が自分の担当になったら本当に困る。成年後見人制度はお金がかかるので、お金のない人は頼むことができない。【知的】
- ・親としての意見です。発達特性のある未満児の一時預かり場所の提供、支援先の紹介を市の相談窓口でしてほしいです。以前、子どもが1か月半健診で引っかかり、加えて子育てに悩んで相談窓口で相談したことがありました。その時は、療育センターや心理士さんとの話し合いが決まっているのであれば、できることはないんですと言われて終わりました。結果、療育センターに通うまではトータルで4か月以上かかり、その間はとても辛かったです。小学生になった今は沢山の相談場所や支援先があり問題はありますが、未満児の頃は本当に少なかったです。なので、1か月半健診に引っかかった子を対象に、一時預かりしてもらえる場所、支援先の紹介をしてもらえたらと思います。【知的】
- ・まず、話す場が市役所にしかない。夜に調子が悪い時（1人の時など）、話す場がない。夜中が一番困る。相談しても何も解決しない（法律がとって何もしてくれない）。【精神】
- ・障がいがあることにまだ気づいていない時、でも何かがおかしいと困った時、市役所の窓口にご相談に伺いました。とても親身に話を聞いてはくださったのですが、良いアドバイスをいただけず前進するのに時間がかかりました。その後、医療機関にかかったところ、すぐにどうすればよいのか道が開けて今に至ります。今は困っていないのですが、

当時困り果てていた時、もう少し良いアドバイスがほしかったです。話を聞いてもらうだけで安心できる部分がありますが、当時はそうではなく前進したい気持ちでいっぱいでした。専門性のある方が市役所にもいらっしゃるとありがたいです。【精神】

- ・私は精神疾患持ちですが、希死念慮が発生した際に気軽に連絡できる場所がほしい。精神疾患は見た目でもわかりにくいので何かと困っている。【精神】
- ・今は主人が手伝ってくれているが、主人がいなくなったらと考えると心配になる。【精神】

10 情報収集とコミュニケーション手段について

- ・岐阜県障がい者福祉の手引は、内容が多すぎて自分が適応するかわからない。教えてもらえるとありがたいです。【身体】
- ・役場に行っても、どういう支援があるのか教えてもらえない。【身体】
- ・手話のわからない人には要約筆記が必要だと考えています。もっと要約筆記というものに力を入れてほしいです。聴覚障がい者＝手話ではありません。【身体】
- ・私自身、瑞穂市の障がい者施策の内容をよく理解できていないので、内容がわかるホームページや紙の一覧のようなものを作ってほしい。【身体】
- ・高性能の補聴器を購入しましたが、まだまだ聞き取れないことが多いため他の人の通訳が必要です。一定額の助成金ではなく、状況等に応じた助成金をお願いしたいと思います。職場で長く元気に働くために、最も高性能の補聴器を必要とします。【身体】
- ・どのような制度があって利用できるのかわからない。医療的ケア児のサポートをより充実させてほしい。手続きに行くたびに同じことを記入しなければいけないのが、少し手間に感じる。手帳があるので、手帳やマイナンバーなどで手続きできたら嬉しい。色々対応していただきいつも感謝しています。ありがとうございます。【身体】
- ・障がい者への支援の内容を詳しく知りたい。支援・サービスにどのようなものがあるのか知りたい。【身体】
- ・全盲のため、点字の案内があればよい。【身体】
- ・本人は「探す」行為自体が難しいです。もう少しわかりやすく（見つけやすく）していただくと助かります。補聴器の補助をもっと若年層へ広げてください。社会福祉協議会の方に大変お世話になって、とても助かっています。共に考えてくれて、専門的情報も貰えてありがたいです。この社会福祉協議会さんの存在も、長い間知りませんでした。広く認知されると助かる方が多いかなと思います。【知的】
- ・平成30年1月発行の障がいがあるかたたちの障がい福祉のてびき（瑞穂市）を持っています。改訂版があるなら周知していただきたいし、ないなら最新版が知りたいです。補助は自己申請が多いため、どのようなサービスがあるか知るのにこのような冊子は助かります。福祉生活課へは届出など窓口に行く機会もあるので、近くに置いてくださったり、掲示のお知らせがあると嬉しいです。【知的】

- ・市の施策とは関係ないかもしれませんが、自閉症の息子でも通院できる医療機関の情報がわかると嬉しいです。風邪を引いたりしても、人の目が気になり普通の医療機関に行きづらいです。【知的】
- ・情報の内容が難しすぎてわかりません。誰にでもわかりやすい言葉での発信を希望します。【知的】
- ・現在、福祉においては配慮をいただいております、ありがたく思っております。今後、将来どうしたらいいのか、展望が見えない部分があります。将来の生活のモデルや提案などがわかりやすく見えたらいと思うことはあります。【知的】
- ・この用紙の1ページ目に書いてある「どの障がいの方も共通のサービスが受けられるようになりました」とは、いつからそうなったのですか。案内など貰っていませんし、初めて知りました。アナウンスをもっとしてください。郵送してほしいです。【精神】
- ・情報の提供がなく全て自分達で調べ行動しなくてはならず、不安なことが多いです。申請しないと利用できない制度も、どこまで利用できているのかわかりません。【精神】

11 外出の状況について

- ・歩道の整備がされていない、途中でなくなる。コミュニティバス停に縁石があり、降車時に踏んで躓き、転倒の危険を経験した。交差点はスクランブルにしてほしい。【身体】
- ・駅前付近における時間帯駐車場の増加等。送迎の車が多く歩きにくい、車を一時停めにくい。郵便局から西への道路、旧道路からのカーブ、南北から東方へ向かう指示標識がわかりにくいし走りにくい。その道のみ改善されたように見え、つまりは道が細くなり渋滞に陥っている。駅前の改善について考慮していただきたい。【身体】
- ・市内バスが少なく、何かにつけて不便。【身体】
- ・みずほバスの時刻が少ないので、もっと増えてほしいです。【身体】
- ・歩道が狭い所やない所が多い。駅周辺に車が多く、歩行が危険です。【身体】
- ・道路の段差、穴ぼこ、溝、白線をはっきり、白い柵。【身体】
- ・穂積駅の駐輪場の更新がもっと簡単になればよい。大垣駅の駐輪場は無料で6か月更新。そこまでは難しいと思うので、せめて更新を簡単（期間の延長など）にするか、料金をもう少し安くしてもらってもよいかと思えます。【身体】
- ・足がないと不便なので、みずほバス（十九条古橋線）と岐阜バスも時刻表がたくさん増えてほしい。駅やバス、市役所の福祉課に情報の字幕を付けてほしい。【身体】
- ・前ページにも記入し大昔の巣南町の頃から訴え続けているが、鷺田橋の通り抜けができないことについてはなぜ対応ができないのか。理解不能。今回も当内容について記入したが期待は薄い。何とかしてほしい。【身体】
- ・夫が80歳であり、高齢のため今後の交通手段が心配である。【身体】
- ・福祉タクシーを考えてほしいです。近くのバス停は、歩いて15分~20分ぐらいかかります。私が歩くのと主人が歩くのではあまりに違いすぎますので、主人には途中で待ってもらわなければならない状態です。このような訳ですから、タクシーがほしいなど考

えています。タクシーがあったら主人にも迷惑をかけなくても済むのではないのかなと思っていますので、よろしくお願いします。【身体】

- ・平和堂へ行くのに押し車を引いて行きたいのに、道路の歩道が平らではなく、排水溝がガタガタで横断歩道橋は使えないし困っています。【身体】
- ・コミュニティバスに、高額だが自動タラップ（スロープ）付きの車両があれば。道路（地面）とバスのステップ（床）部分との段差をつないで、障がい者だけでなく老人や幼児、ベビーカーの親子連れも楽に乗り降りできる（後口乗降（プリペイドカード式乗車券））。三輪（四輪）のアシスト付き自転車や電動モビリティの購入支援。【身体】
- ・私は身体障がいの2級になって、初めてタクシー券が貰えるようになりました。生活が大変な中で自転車に乗れなくなって少ししか歩けないので、どこに行くにも（近い所も）おかげ様で大変助かっております。病院や郵便局・銀行、美容院など行きたい所、行かないといけない所が沢山あります。タクシーで片道1000円くらいの姉の家にも行きたいです。私の住んでいる所から市役所まで片道1000円くらいかかります。1000円の券が病院だけでなく、他の所にも使えるともっと助かります。市の予算が取れましたら、これからもお出かけをしたいと思いますのでタクシー券をよろしくお願いします。【身体】
- ・今のところは何も困っていることはないですが、将来心配です。みずほバスも良いと思いますが、大野町のデマンドタクシー（あいのりくん）のように、自宅に迎えに来ていただけることが希望です（停留所が大変ですが）。将来、「足」に一番困ると思います。公共施設、医者、美容室、食事処など。【身体】
- ・タクシー助成はありがたいと思います。【身体】
- ・粗大ごみの戸別収集と同様に、新聞・段ボールの戸別収集もしてほしいです。車を運転しないので、収集場所へ運ぶことが困難です。段ボールは小さく切って可燃ごみの袋に入れて出しています。新聞は遠方に住んでいる親族が、半年に1回程度、収集場所へ運んでくれています。みずほバスの運賃を値上げしてでも、本数を増やしてほしいです。【身体】
- ・これからどんどん高齢化社会。車いす駐車場が少ない上に、お年寄りが平気でその駐車場に停めて杖も持たずに歩いて行く。お年寄りの人はそこに停めていいと思っている人が多いと思う。若い人たちに、歳を取っても動けるうちは車いす駐車場には停めてはいけないという教育をすべきだ。他の地域（県）でおもいやり駐車場と大きく書いてあった。そこには1台も駐車していなかった。何回か地域福祉高齢課に行ったことがあるが、職員さんの態度が何か悪い（一部の人だと思うが）。障がい者だからなのかと思ってしまう。専門の知識を持った方ばかりだと思うのですが、ありえないです。職員から教育してほしい。【身体】
- ・車道と歩道の境目に小さいが段差がある。車いすにとっては大きな段差なので、なるべくなくすようにしてほしい。斜面にすることも一つの方法。補聴器について、耳かけ式と耳あな式とありますが、補助金は耳かけ式のみ出ます。しかし、昔とはまったく違ってきて、耳あな式の方が性能は良い。個人個人に合わせて耳の形に合わせて作るので、耳かけ式よりよく聞こえます。耳あな式にも補助金が出るようにしてほしい。【身体】

- ・公共交通機関が利用しにくいので、利用しやすくなるよう検討してください。車を利用できなくなった時のような市のサービスがあるのかわからないので、わかりやすくしてほしい。【身体】
- ・みずほバスを無料にしてほしいです。【身体】
- ・タクシーチケット。【身体】
- ・これは前から言っていることですが、タクシー券や通院券が少ない。岐阜や大垣へ利用する場合、すぐなくなる。追加で券を出してもらえるとありがたい。【身体】
- ・歳を取ったので、今は外出は一切しません。【身体】
- ・高齢者のバス・タクシー移動時の補填。自動車免許返納後の補填。高齢者の障がい者住宅。【身体】
- ・問 46（あなたが、暮らしやすくなるために、さらに充実してほしいことはどのようなことですか）にも書きましたが、障がい者用トイレや駐車場所の拡充をしてほしいです。【身体】
- ・障がい者用のプールなどで歩行訓練がしたい。以前、市役所の広報を見てプールに歩行訓練をしに行ったが、設備や支援員がいなと言われて断られた。【身体】
- ・私の考えでは、生津とかになると私 1 人では行けないので庁舎が今の場所からあまり遠くならないように、できたら十六銀行の車の場所に持ってきてほしいです。【身体】
- ・歩道はもう少し（できる限り）拡幅して、自転車と歩行者、目の不自由な方など、障がいのある方に合ったインフラ整備をしてほしい。24 時間対応の相談できる公共施設を作してほしい（精神科専門も含む）。【知的】
- ・問題が難しかったです。歩くのが大変なのでバス停を増やしてほしい。夜の習い事等の時に危ないので、街灯を増やしてほしい。【知的】
- ・問 40（外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか）に書きましたが、例えばショッピングモールで駐車する際に、おもいやり駐車場の利用証があると安心できるのにと感じることがあります。うちは発達障がい B2 なので軽度ですし、重度の方が優先して利用する場所だと認識しております。ただ、B2 でも医師から利用証の必要性が認められた方に限っては、交付されるとありがたいと思いました。うちの場合は言っても急に飛び出したりして危険で、本人のことも心配ですが他のドライバーに迷惑がかかるのが気がかりです。身障者の駐車場はスペースも広く、乗降の時も車に当たる心配もなく建物に面しているので、車の方に飛び出すリスクが少ないからです。特にゲート式はとてもよいです。カラフルタウンでは利用させてもらっています。イオンなどは無理でした。【知的】
- ・車の運転が怖いのでタクシーを割引してください。できれば無料にしてください。それ以外は何も不満はありません。【精神】
- ・とにかく歩道が整備されておらず歩きにくい。また、バスの至便も良くなく、運転免許や車の所有がないと暮らしにくい。救急搬送されても帰る手立てがタクシーしかなく、とても遠い。総合病院が市にはない。市の職員さんがとても優しい。【精神】
- ・交通費が高い。税金が高い。【精神】
- ・本巣縦貫道の市役所前（横）の歩道など、狭い箇所があるので整備してほしい。障がい者のバリアフリーだけでなく、ベビーカーなども通れる状況でない。【精神】

- ・バスを減らさないでほしいです。よろしく願いいたします。【精神】
- ・薬を飲んでいるため自動車の運転ができません。バスによって生活しております。バスの運行がなかなか大変なのはわかりますが、穂積駅から最低1時間に1本はバスの運行があるとありがたいです。タクシーの障がい者割引もありがたいです。瑞穂市に精神科のデイサービスをやっている医療機関がないことです。【精神】
- ・誰でも高齢になったら使う押し車や車いすのタイヤがスムーズに動くように、歩道と車道との段差をできるだけなくしてほしい。要望いたします。【精神】
- ・バスを増やしてほしい。【精神】

12 まちづくりについて

- ・公共の建物を新築する際は、ユニバーサルデザインを目指してほしい。例えば、現存する総合センターで言うならば、1階の床は滑りにくい材質にする、点字ブロックは床材に合わせたモノトーンにするのではなく黄色であるべき、1階フロアの照明はもっと明るく、各部屋の札はドアにも大きな字で表示する等。できる限り歩道の整備をお願いしたい。歩道があっても、狭くて斜めになっていて歩きづらい。また、狭い歩道内に街路樹があって、これは邪魔でしかない。【身体】
- ・バス停などに、散歩中でも休憩できる椅子やベンチなどを置いてほしい。【身体】
- ・バリアフリー、トイレ。【身体】
- ・難しいことと思うが、安心して生活したいので役所の指導をよろしく願いしたい。【身体】
- ・住みやすい瑞穂市にするために、現時点で何をすべきかをよく考えたい。人口が増加している現時点はよいが、今こそやっておくべきことをよく考え対処していただきたい。5万人以上の人口がありながら、警察がないのは情けない。10年以上前から申し上げていますが、後に必ず後悔する時が来ると思います。市民の生命、財産を守るためにも。従って、高校、病院も設立する必要があるか。1日も早く対処する方策を願う。【身体】
- ・瑞穂市の福祉政策に満足しています。ありがとうございます。【身体】
- ・私の最近の経験です。タクシーの運転手さんから障害者手帳と高齢者対応のタクシー補助券が併用できるはずだと教えられ、市役所を訪れました。案内所から始まり、あちらへ行け、ここではないと担当窓口を回ったあげく諦めました。説明書を読んで思ったのは、行政が少しでもハードルを作って付与しないようにしている。歩くのに不便で車が使えない者に、タクシーを大いに活用してもらおうなどは考えられていないということでした。100円バスの停留所までも近くはないのです。障がいがあっても高齢でも、明るく生き生きと活動できるように行政からも支援していただきたいと考えます。【身体】
- ・障がい者施策についての知識が行き渡っていないと思います。障がい者だけでなく、老人にも優しい市になってほしいです。【身体】
- ・北方町で30年以上生活していました。現在、本田団地にお世話になっており駅も近いですが、近くにスーパーがあればいいなと思う時はあります。デイサービスにもお世話になっております。【身体】

- ・現在はまだ身体が動くので1人で生活ができていますが、60、70と歳を取ってくると状況が変わってくるので、何年かに1回くらいはアンケートを取ってほしい。優先席や優先駐車場・トイレなど、心ない健常者が使用したりして使用したい時に使用できないことが多々ある。障がい者でも、もっと外出しやすくなってほしい。地震や災害などが起きた際は1人でどうしたらいいかわからなくなりそうで、かなり不安です。障がい者が避難しやすい所はあるのでしょうか。【身体】
- ・住みやすい街です。【身体】
- ・市民の多数が理解できている施策がないと思う。市民全員が理解できるシンプルな施策を展開してほしい。岐阜市等と比べると瑞穂市の介護に対する手厚さは、非常に手薄い状態である。限られた予算とは言え、無駄に使っている予算は絶対あるはずなので、良く見直して全体のバランスを考えてほしい。【身体】
- ・現時点で5歳、就学前のため大きな困りごとはなく過ごすことができています。乳幼児健診で丁寧に関わってくださり、支援につなげていただいたおかげです。その節は本当にありがとうございました。【知的】
- ・親亡き後も、子どもが安心、安全、安定した生活が送れる市にしてください。【知的】
- ・障がい者が経済面、生活面ともに自立して生活できる取り組みをお願いしたいです。【知的】
- ・ホームページがわかりにくい。市役所の担当部署の勉強不足を感じる。何度も上司に聞きに行くなどして理解していないため、説明がわかりにくい。【知的】
- ・施策について目的は何ですか。【知的】
- ・生まれ育った所から遠くの施設へ入所することはダメです。友達がいる子も老後は楽しく生活してもらいたい。市の土地を有効に利用してほしい。【知的】
- ・手続きを簡素化してほしい。市役所へ出向くのも大変です。【知的】
- ・親が年齢を重ねるにしたがって実感することは「親亡き後の行く末」であり、避けて通ることのできないこの現実を直視しなければなりません。公的体制の中でプランが進められ、そうした居場所が形となって具現化するなら、親として取り組むべき一端の覚悟もできています。福祉の拠点について、瑞穂市により一層の充実を図っていただけたら幸いです。【知的】（2件）
- ・今、障がいのある子たちは軽度・重度に関係なく、すぐ特別支援学校へ通学を促されている感じがする。それではまるで街に障がいのある子はいないも同然、育てている親さえいないと思われてしまっているような気がする。小さいうちからもっと混同にして、障がいのある子もない子も同じ環境下で過ごす時間を増やさないと、意識として障がいのある人への理解や認識は育たないと思います。区別がされすぎていて、逆に共存していくのが難しい街になっていきかねない。障がいのある人への理解のない街で暮らすのは悲しいことだと思います。【知的】
- ・障がい者の自立支援を基本に、各種支援を世代ごとに整理して行っていく。【知的】
- ・瑞穂市かどうかはわからないが、子ども食堂、就労継続支援A型・B型などは補助金目当てで、利用者の本当の健康で文化的で幸福な生活の充実に至っていないケースも多々あると聞く。本当の健康で文化的で幸福な生活の充実に至るためには、どんな方法があるのか考えてもらいたいです。【精神】

- ・行政職員の方にはいつもお世話になっています。【精神】
- ・市民の生活を理解して、苦にならない楽しい社会支援ができる施策を、人々の意見を尊重して運営してほしいです。【精神】
- ・暖かくなると夜にすごいバイク音がする。個人でバイクを夜にふかして、すごい音を立てて楽しんでいる人がいたら取り締まってほしい。あと、いつだったか忘れましたがドローンが雲を引いていたのを1回だけ見たことがあるのですが、田んぼの上なら農家さんかなと思うけど住宅密集地で何かを散布するのはおかしくないですか。関係ないですが、思い出してしまい怖かったですすみません。【精神】
- ・国政の方の問題になるので、市にはありません。【精神】
- ・市の職員は、もっと障がいへの理解を深めてほしい。【精神】
- ・そもそも、相談に行っても障がいへの理解・知識がなさすぎる。話が進まないの疲れ。こっちがおかしい人扱いされて終わるので、障がい者窓口にいる人間をどうにかしてほしい。【精神】
- ・私は一人暮らしで末っ子です。歳の順にいくと1人残ってしまいます。兄は先々施設を考えてと言っています（長崎）。私は大きい音やたくさん話し声や、休憩を入れて15～25分しか人と話せません。このまま瑞穂市で暮らしたいです。施設だと月10万以上かかってしまって入れる所ありません。瑞穂市民の老後のため、瑞穂市が建てる施設というのは無理でしょうか。ご検討くださいませ。【精神】
- ・書類はノンペーパーへ移行すべきである。資源の保護・保存をしなければならない。情報の保護をしてほしい。人が多すぎるので、質を良くして量を減らし労力の省力化をしてほしい。【精神】
- ・障がい者に理解ある暮らしになってほしい。【精神】
- ・一つの仕事として捉えず、数字だけを見るのではなく、一人ひとりの障がい者とのつながり（心）を大切につなげていけることを願っています。1人の障がい者の人とどれだけ一緒に関わりを持てるのか・知ることができるのか、施策も大切なのですが形だけにならず作り上げてほしいです。【精神】
- ・福祉課に伺うと、いつもとても丁寧で親切な対応をしてくださり感謝しています。なかなかあんなに真摯な姿勢で向き合ってくれる役所もないと思います。いつも本当にありがとうございます。【精神】
- ・地域ぐるみでの偏見・差別、本人しか知りえない情報の漏洩への対策を厳守してほしい。【精神】
- ・障がい者ですが、社会に出たい気持ちはあります。いじめの後遺症によりなかなか難しいです。いじめが少なくなるようなまちづくりをしてほしいです。【精神】

13 その他

- ・アンケートの内容が多岐に渡りすぎているので回答に苦勞した。障がい者ごと及び年齢ごとに設問した方がよいのではないのでしょうか。もっと短いアンケートにしていただきたい。【身体】
- ・アンケートにしては長すぎる。もっと短くしたアンケートがよい。ただし、アンケートは賛成です。ありがとう。【身体】
- ・今後は紙ベースではなく、Web等で回答できるようになるとよいですね。【身体】
- ・いつも体を支えてくださる心優しい方々、今は感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。瑞穂市の皆様、お元気でお過ごしください。健康は唯一の宝だと思います。【身体】
- ・このようなアンケートで、精神なのか身体なのかわかりやすくしてもらえると助かる。【身体】
- ・このようなアンケート調査をして、更なる良い方向への施策を考えられることは意義深いことと思います。アンケートの結果をまとめることは大変だと思いますが、頑張ってください。【身体】
- ・私の家族は6人で、障がい者が4名います。アンケート用紙を4部送ってきたが、1部でよいと思います。市職員の皆さん、暇に任せて無駄な税金を使わないでください。【身体】
- ・障害者計画、障害福祉計画の「害」の字は、問53のように「がい」にするべき。もう少し気を遣ってください。【身体】
- ・当事者には諦めしかありません。【身体】
- ・よろしく願います。ありがとう。【身体】
- ・私は何も困っていない。【身体】
- ・特に思いつかない。【身体】
- ・あまりよくわからない。【身体】
- ・今後とも、今まで通りよろしく願います。【身体】
- ・マイナンバーカードなしで生活したい。【身体】
- ・このアンケートは子どもには難しい（ここだけ母代筆）。【知的】
- ・このアンケートは大人向けではないのでしょうか。子ども向けのアンケートも作るべき。【知的】
- ・ネットでのアンケートにした方がよいと思う。集計するのもすごく時間がかかるのに、なぜ今の時代に紙なのか。【知的】
- ・このアンケート調査の内容が難しいです。問が53個もあって多すぎる。来年はもうやりません。【知的】
- ・私の好きなものは文房具です。ママに「文房具を買っちゃダメ」と怒られても我慢できません。文房具が好きなのに、怒ってくるので困っています（文房具が好きなのはわかりますが、消しゴムを使い切ってから新しい物に変える。壊れてしまったりした場合は、新しい物に変えてもよい）。【知的】
- ・当事者は諦めしかありません。【精神】

- ・いつも本当にありがとうございます。【精神】
- ・障がいがあっても安心して暮らせる社会福祉づくりに取り組んでいただき、ありがとうございます。ただ、小学生を対象にしてアンケートに答えようと思うと、当てはまる内容があまりなく少し困りました。小中学生辺りに対応したアンケート内容があれば、もっと充実したものになったかと思います。【精神】
- ・わからないから意見はいいです。【精神】
- ・自分の家だけ安泰なら、他の家のことは知らないということでもいいのか。できないことでも無理にやらされるのか。ここに住んでいる限りは、できないことでも押しつけられてしまうのか。ここに住んでいる限りという考え方が、まかり通ってしまうのか。【精神】
- ・わからない。【精神】
- ・青か白かで色分けするのに、内容が同じなのは本当に無駄。書くのも疲れるからやめてください。【精神】

**第4期瑞穂市障がい者総合支援プラン
策定に関するアンケート調査
調査結果報告書
令和8年3月**

発行：瑞穂市役所 健康福祉部 福祉生活課
岐阜県瑞穂市別府1288番地